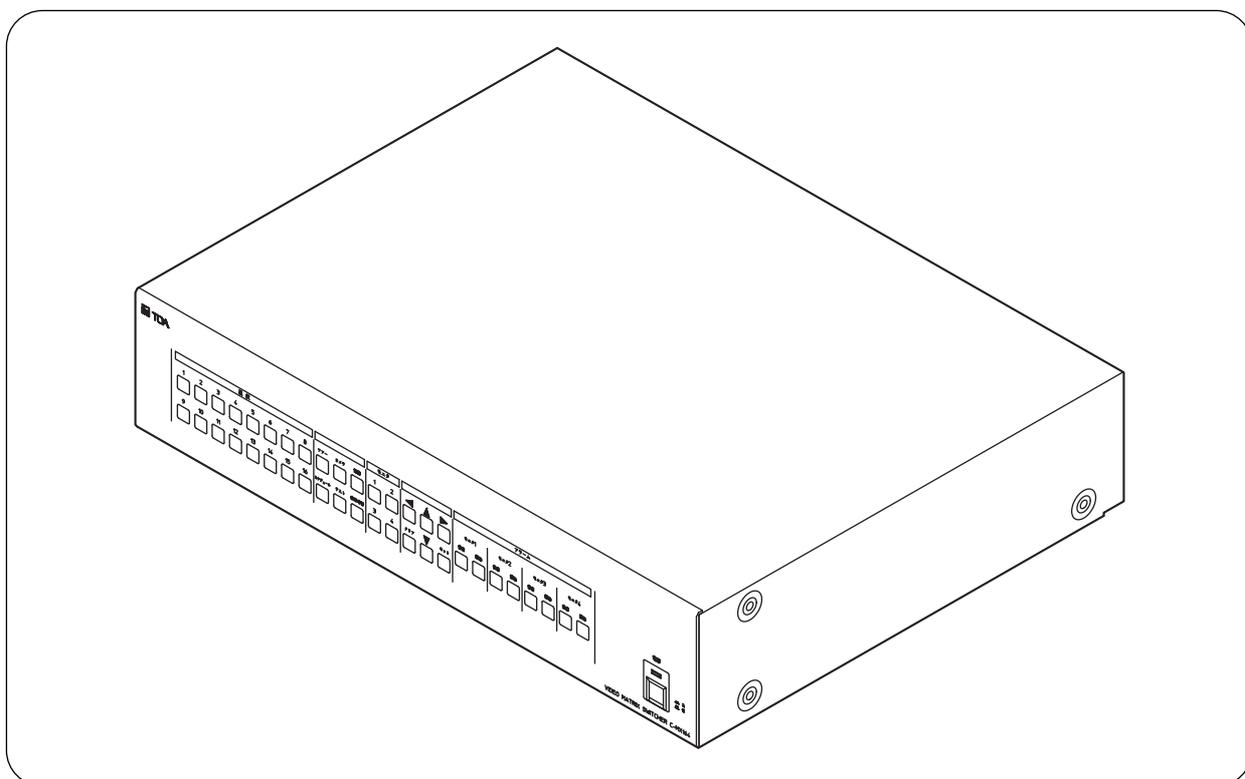




取扱説明書

16×4ビデオマトリクススイッチャ

C-MX164



このたびは、TOA 16×4ビデオマトリクススイッチャをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

安全上のご注意	6
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">システム概要・動作編</div>	
マトリクススイッチャとは？	8
システム構成	9
システムの概要	9
システムの機能の説明	
任意のモニタで任意のカメラの映像を見る	10
任意のモニタであらかじめ設定しておいた シーケンスパターンで映像を見る	10
通常時に各モニタに表示する映像を設定する	10
年月日、曜日、時間に応じて各モニタに表示する映像を変える	10
簡単な操作で複数のモニタの映像を同時に切り替える (一斉映像切り替え機能)	10
アラーム入力でアラーム動作を行う	11
動作履歴を確認する	11
本機の状態をパソコン画面で監視する	11
シーケンス機能の動作説明	
テストシーケンス	12
ツアーシーケンス	12
通常動作機能	13
スケジュール機能 (C-WN168 を使用するときのみ)	
スケジュール	13
スケジュールの設定	
通常パターンと指定時間帯による動作パターン	13
特定日の設定	15
一斉に映像を切り替える	15

アラーム入力による動作

アラーム入力	16
アラームタイトル	16
アラームモード	17
アラームタイプ	17
アラーム出力	18
アラーム入出力の関係	18
複数アラームの動作	
後優先	19
アラームシーケンス	19
アラーム保留	20
アラームマニュアル機能	21
アラームの追加機能 (C-WN168 を使用するときのみ)	
3つのアラームパターン	21
アラームのスケジュール機能	21
モニタのグルーピング機能	21

操作制限機能

モニタ・カメラ間の制限	23
-------------------	----

操作編

各部の名称とはたらき

前 面	24
後 面	25

操作の前に

電源を入れたときの状態	26
マニュアル操作にあたって	26
スイッチ操作は確実に	26

モニタを選択する

26

ツアークシーケンスを動作させる

27

カメラを選択する

27

短縮登録を利用して選択する

28

スケジュールに従った動作に戻す

28

テストシーケンスを動作させる	29
----------------------	----

表示を切り替える	29
----------------	----

アラームの解除と保留

アラームを解除する	30
アラームを保留する	31
アラーム保留を解除する	32
アラーム入力中のマニュアル操作	32

設置工事編

接続と設定の手順	33
----------------	----

接続のしかた

システム接続図	34
カメラの接続	
接続例	35
映像信号の同期について	35
TOA ワンケーブルカメラの接続	35
アラーム入出力端子の接続	
アラーム入力端子	36
アラーム出力端子	37
D-sub コネクタ付きケーブルの組み立てかた	38
パソコンの接続（パソコンから設定データをダウンロードするとき）	38
時刻合わせ端子の接続	39
モニタに日付／時刻を表示する	40

ラックマウントのしかた	40
-------------------	----

設定編

設定項目の一覧	41
---------------	----

設定の前に

設定の前に必要な作業	42
メニュー画面に入るには	42
メニュー画面の見かた	42
設定に使用するキー	42
設定時のご注意	43

メインメニューで設定項目を選択する	43
-------------------------	----

タイトル表示の設定をする	
タイトル表示位置を設定する	44
表示内容を設定する	45
カメラタイトルを設定する	46
アラームタイトルを設定する	48
タイトル文字を入力する	
タイトル設定画面の見かた	49
シフトキーの操作とカーソルの動き	49
入力できる文字	50
文字入力の基本操作	50
文字を修正するとき	51
タイトルにカタカナを入力するとき	51
タイトルに漢字を入力するとき	52
漢字コード表	53
接続するカメラの種類を設定する	54
モニタ、カメラ間の制限を設定する	55
アラーム時の動作内容を設定する	
複数アラーム時の動作を設定する	57
アラーム入力の設定をする	59
アラーム出力の設定をする	62
アラーム動作の設定をする	64
アラーム保留初期状態を設定する	66
アラーム自動復帰時間を設定する	68
シーケンスの設定をする	
ツアーシーケンスの設定をする	69
通常動作を設定する	72
通常動作復帰時間を設定する	74
時刻の設定をする	75
短縮の設定をする	78
動作履歴を確認する	81
故障かな？と思ったら	82
仕 様	85
付属品	85

安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号			行為を強制する記号	
				
分解禁止	禁止	接触禁止	強制	電源プラグを抜く



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 画面が映らないとき



電源プラグを抜く

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグにはさわらないでください。

感電の原因となります。



接触禁止

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜け

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。



禁止

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

使用するとき

上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止

定期的に内部の掃除をする

内部の掃除については、販売店にご相談ください。
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。



強制

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



強制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

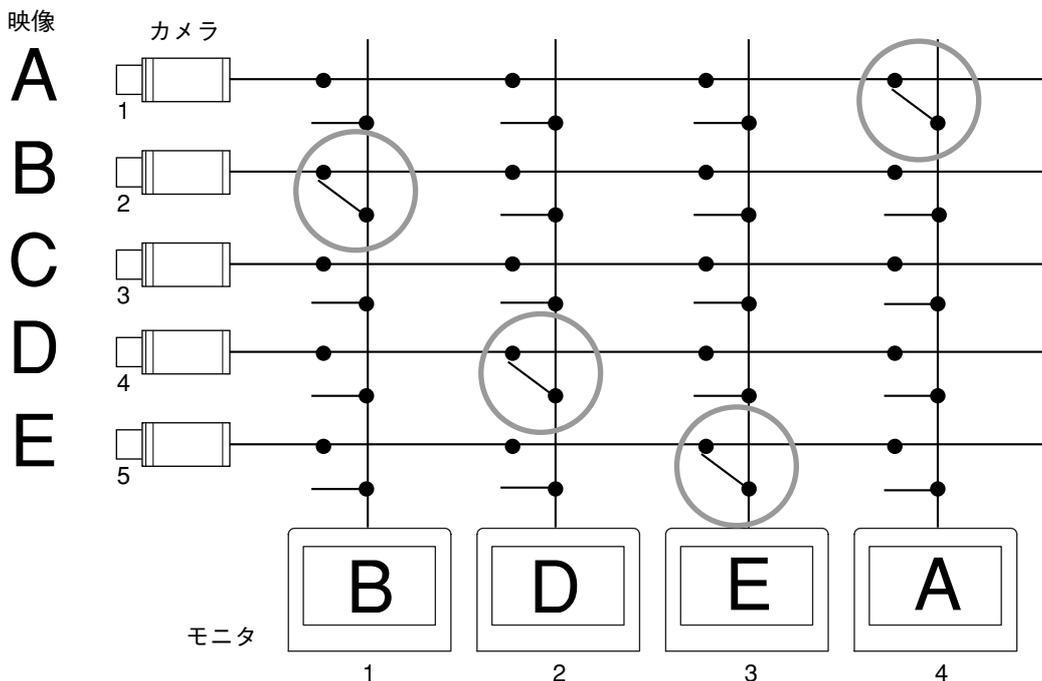
お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

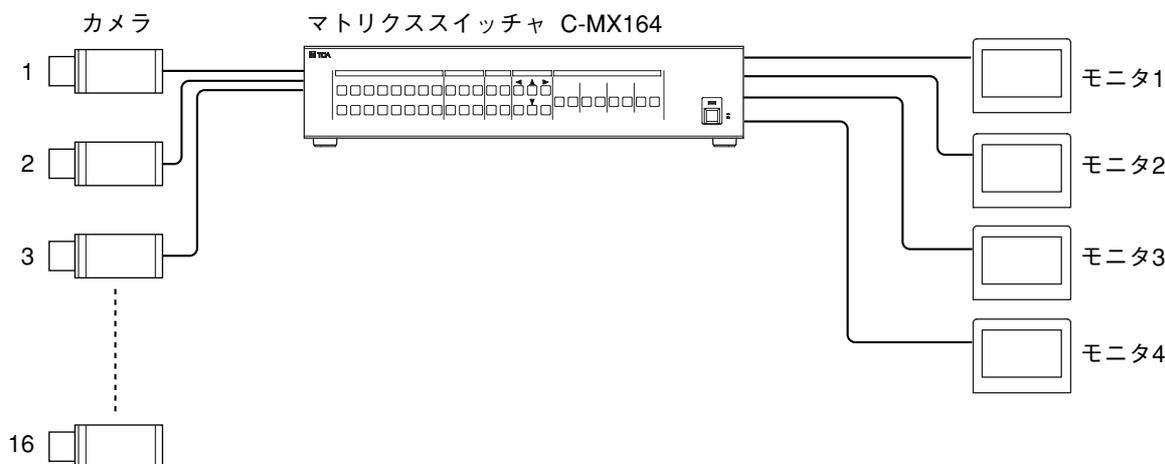
マトリクススイッチとは？

内部スイッチを開閉することにより、任意のカメラの映像を任意のモニタに送ることができる機能を持った装置です。



システム構成

カメラ、マトリクススイッチャ、モニタの簡単なシステム接続例です。



システムの概要

本機1台にカメラ16台とモニタ4台を接続でき、それぞれのモニタごとに独立して映像切り替えを行う機能を持った機器です。モニタに映るカメラ映像はあらかじめ設定された順番で自動的に切り替えることもできます。

時間、曜日により自動的に各モニタに映す映像を指定するスケジュール機能（別売の機能拡張ソフトC-WN168が必要）、アラーム入力機能、一斉映像切り替え機能などを持っています。

本機には32接点のアラーム入力、12接点のアラーム出力が装備されています。アラーム入力ごとにすべてのモニタの映像の状態を設定することができ、またアラーム入力ごとに通常アラーム、非常アラーム、リモートとその動作、優先度を設定できます。アラーム出力はモニタごとに対応するアラーム出力4つと、アラーム入力ごとに各出力をマトリクスで設定できる出力を8つ備えていますので、この出力を利用することにより、アラーム動作に連動して外部機器を制御することができます。

システムの機能・動作の設定は本機で行いますが、専用の機能拡張ソフトC-WN168（別売）を使用することにより、スケジュール機能、複数のアラームパターンの設定などの内蔵時計を使用した機能も設定できるようになります。

また、動作履歴機能を持っており、アラーム入力などの動作内容を最大100まで保存することができます。

システムの機能の説明

■ 任意のモニタで任意のカメラの映像を見る

前面パネルの各キーからモニタ番号、カメラ番号を指定することにより、任意のモニタに見たいカメラの映像を表示することができます。

接続したカメラ番号にカメラが接続されていないときはブルーバックが表示されます。

※ 操作のしかた ■ P. 26、27

■ 任意のモニタであらかじめ設定しておいたシーケンスパターンで映像を見る

シーケンスパターンとは映像切り替えの順番を決めたものです。

シーケンスパターンには、カメラ番号順に映像を切り替えるテストシーケンス（■ P. 12）と、シーケンスパターンが自由に組めるツアーシーケンス（■ P. 12）があります。

ツアーシーケンスは最大32のシーケンスパターンを登録しておくことができ、それを登録しておくことで任意のモニタにそのシーケンスパターンの切り替えを表示させることができます。ただし、前面キーの操作で表示できるのは、1～16の16パターンのみです。

※ 操作のしかた ■ P. 26、27

■ 通常時に各モニタに表示する映像を設定する

アラーム動作をしていない、また、前面キーによる手動操作もしていない状態（これを通常状態と呼びます）のときの各モニタの映像を指定することができます。（■ P. 13）

※ 設定のしかた ■ P. 72、操作のしかた ■ P. 28

■ 年月日、曜日、時間に応じて各モニタに表示する映像を変える

スケジュール機能（■ P. 13）を使用します。

※ この機能を使用するには機能拡張ソフト C-WN168 が必要です。（設定のしかた「機能拡張ソフト リファレンスマニュアル」P. 25）

※ 操作のしかた ■ P. 28

■ 簡単な操作で複数のモニタの映像を同時に切り替える（一斉映像切替機能）

短縮番号機能（■ P. 15）を使います。

この機能を使えば、簡単な操作で複数のモニタの映像をそれぞれあらかじめ設定されたカメラの映像に一斉に切り替えることができます。

※ 設定のしかた ■ P. 77、操作のしかた ■ P. 28

■ アラーム入力でアラーム動作を行う

本機は32のアラーム入力端子と12のアラーム出力端子を備えており、外部からのアラーム入力に応じて各モニタの動作を自由に変更することができます。アラームについてはアラームタイトル、アラームモード（アラームの優先権）、複数アラーム時の動作、アラーム保留機能、アラームマニュアル機能、アラーム出力など多彩な機能を備えています。

- アラーム入力ごとに各モニタに表示する映像を決める。(P. 16)
- アラーム入力の入ったモニタにアラームタイトルを表示する。(P. 16)
- アラーム入力ごとにアラーム自身の優先権を決める。(P. 17)
- アラームが複数入ったとき、そのアラームを切り替えてモニタに表示する。あるいは後優先で表示する。(P. 19)
- アラームが入力されても、すぐにはそのアラーム動作をさせず、保留しておく。また、保留していたアラームを動作させる。(P. 20)
- アラーム動作中に手動操作（画面切り替え操作など）を行う。(P. 21)
- アラーム入力に応じて各アラーム出力接点の状態を決める。(P. 18)

※ 接続のしかた P. 36、設定のしかた P. 57、操作のしかた P. 30

■ 動作履歴を確認する

本機は過去100件までのアラームなどの動作履歴情報を記憶しておくことができます。

動作履歴の情報はメニュー画面の中から確認することができます。(P. 81)

なお、機能拡張ソフトC-WN168を使用すれば、最大1000までの情報を呼び出すことができます。

ご注意

動作履歴の記憶は、本機に内蔵の二次電池（充放電電池）によりメモリをバックアップすることで行っています。したがって、機器の出荷時には、連続2時間以上通電しないと、この機能を使用することはできません。また、連続2時間以上の通電後、約2週間、機器を通電しないと、バックアップした動作履歴の内容が消失してしまいます。

■ 本機の状態をパソコン画面で監視する

機能拡張ソフトC-WN168を使用すると、本機の状態をパソコンの画面で監視することができます。

監視できる状態は各モニタに表示されているカメラの番号、各アラーム入出力接点の状態、本機に接続されている全カメラの状態（映像のあり、なし）です。

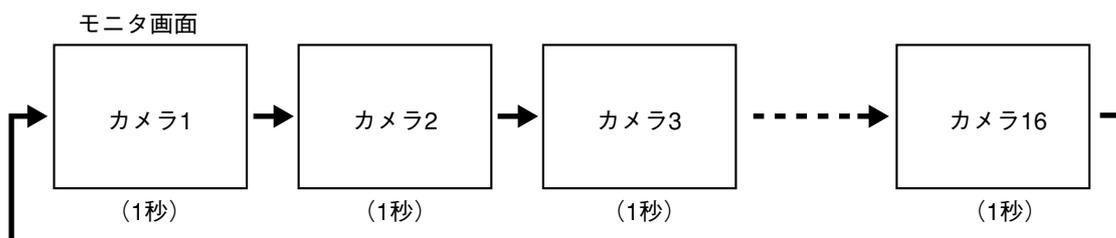
※ この機能を使用するには、機能拡張ソフトC-WN168が必要です。(操作のしかた P. 「機能拡張ソフトリファレンスマニュアル」 P. 67)

シーケンス機能の動作説明

シーケンス機能には、テストシーケンス、ツアーシーケンスがあります。

■ テストシーケンス

指定したモニターで監視できる映像をカメラ番号の小さい順にシーケンス（順次切り替え）していくモードをテストシーケンスと呼びます。設置、接続を行った後、カメラ映像が接続されているかどうかチェックするときなどに便利です。映像の切り替えのみを行うもので、映像切り替え時間は1秒固定です。



メモ

テストキーでテストシーケンスを起動させたときは、接続されていない、またはビデオロストしているカメラ番号の映像はスキップします。

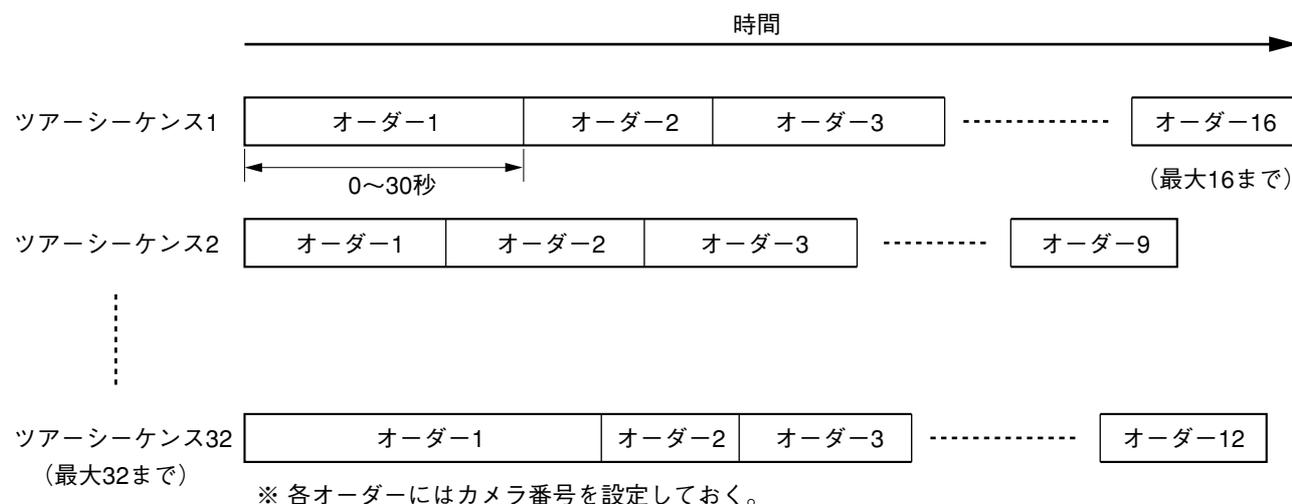
シーケンス設定の「通常動作」（P. 72）で何も設定されていないとき（工場出荷状態）に「通常動作」で起動させるテストシーケンスは、すべてのカメラ番号の映像を表示します。接続されていない、またはビデオロストしているカメラの映像は、ブルーバックになります。

■ ツアーシーケンス

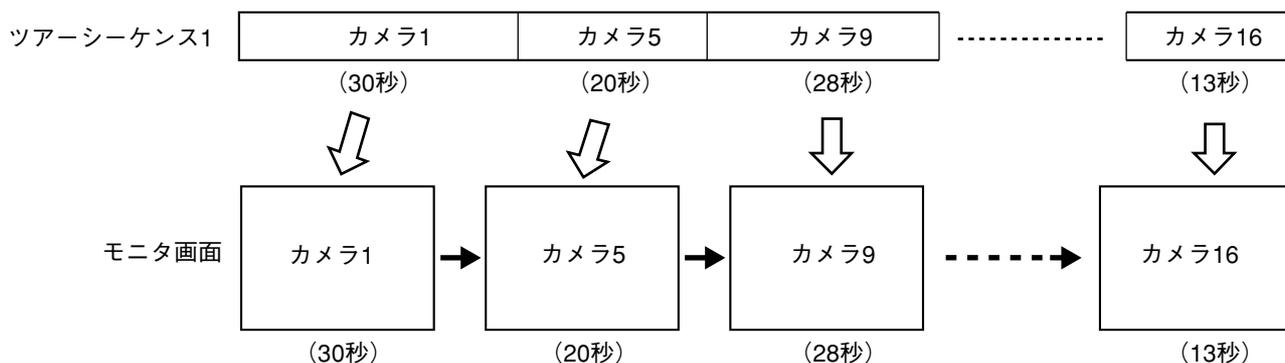
あらかじめ32のシーケンスパターンを設定しておくことができます。この設定されたシーケンスパターンをツアーシーケンスと呼びます。

1つのシーケンスパターンには最大16オーダーまでの設定ができます。オーダーにはカメラ番号を設定できます。オーダーごとに時間設定ができます。（0～30秒、1秒間隔、0秒と設定されたものはスキップ）

[ツアーシーケンスの設定例]



[ツアーシーケンスによるモニタ表示の例]



通常動作機能

本機の電源を入れたとき、各モニタの映像は、メニュー画面（シーケンス設定の「通常動作」の項目）で設定された映像を表示します。前面キーから映像切り替えをした後にスケジュールキーを押すと、通常動作に戻すことができます。

また、通常動作への復帰時間を設定しておく、前面キーで操作した後、設定した時間を過ぎれば、自動的に通常動作の状態に戻ります。

通常動作の設定がされていないときは、テストシーケンスが動作します。

モニタごとに、ツアーシーケンスまたはカメラを割り当てます。

[通常動作の設定例]

モニタ1	モニタ2	モニタ3	モニタ4
ツアーシーケンス1	カメラ6	ツアーシーケンス2	カメラ8

[モニタ1の電源投入時とカメラ操作時の動作例]



スケジュール機能 (C-WN168を使用するときのみ)

■ スケジュール

別売の機能拡張ソフトC-WN168を使用して設定した場合は、「通常動作」の代わりにスケジュールで設定した動作をします。スケジュールでは、曜日、時間により異なる動作パターンを設定することができます。

電源を入れたときは、その曜日、時間に該当する動作をします。

前面キーからの映像切り替えをした後にスケジュールキーを押すと、その曜日、時間に該当する動作をします。

ご注意

スケジュール機能は、本機の内蔵時計により動作を行います。本機の内蔵時計の精度は月差±80秒（25℃時）です。スケジュール機能をより正確な時間で運用する必要があるときは、本機の時刻設定画面で都度、時刻を補正する、または本機の時刻合わせ端子をタイマ機器などと接続する（P. 39）ことにより自動的に修正できるようにしてください。

■ スケジュールの設定

● 通常パターンと指定時間帯による動作パターン

各曜日と特定日グループ（5種類）の計12種類に、それぞれ通常パターンと指定時間帯による動作パターンを設定することができます。

通常パターン、指定時間帯による動作パターンともに、モニタごとにツアーシーケンスまたはカメラを割り当てます。

1日あたり設定できる指定時間帯は最大16で、指定時間帯以外の時間は通常パターンの動作となります。

【ご注意】

別売の機能拡張ソフトC-WN168で設定した指定時間帯においては、重複する部分が生じ、設定動作に矛盾があっても、C-WN168では判断していません。そのままデータが本機に送信され、本機側で後優先として処理します。

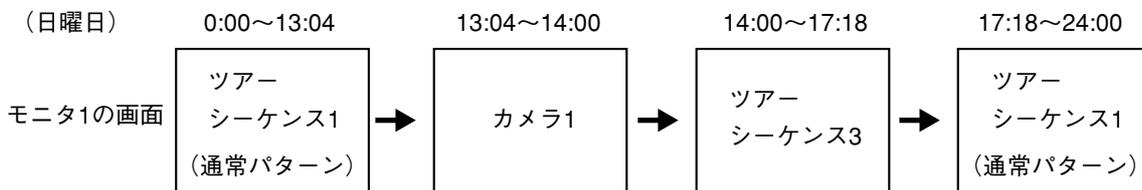
[スケジュールの設定例]

日曜日 *1				
	モニタ1	モニタ2	モニタ3	モニタ4
通常パターン	ツアーシーケンス1	カメラ6	ツアーシーケンス2	カメラ8
*2 { 13:04~15:00	カメラ1	ツアーシーケンス5	ツアーシーケンス6	カメラ16
14:00~17:18	ツアーシーケンス3	カメラ8	カメラ10	ツアーシーケンス8

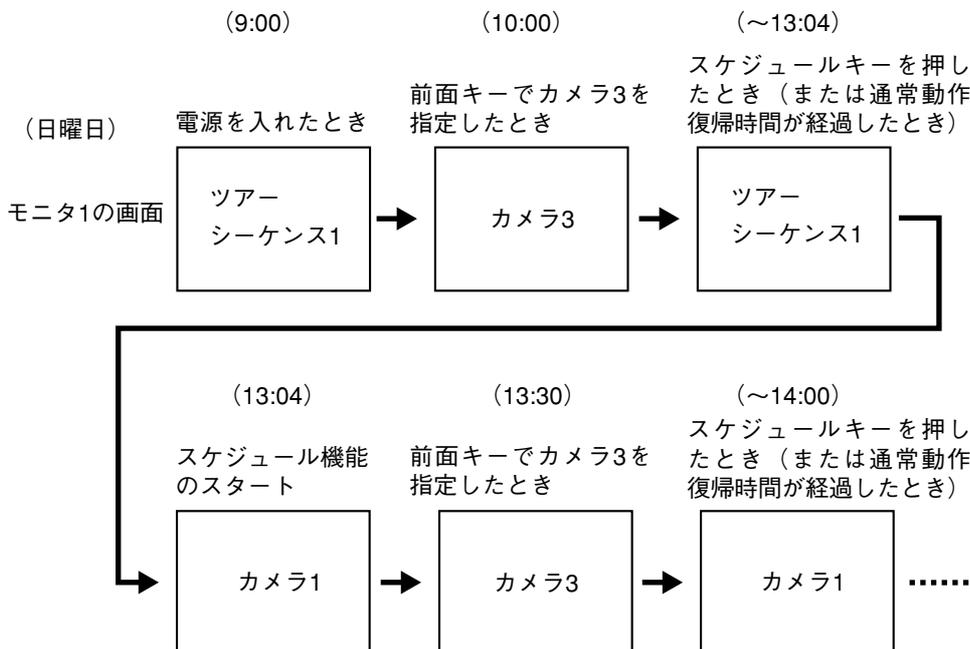
*1 日曜日～土曜日、特定日1～特定日5の12種類にそれぞれ同様に設定することができます。

*2 最大16まで設定できます。

[モニタ1の日曜日の動作例]



[モニタ1の日曜日の電源投入時とカメラ操作時の動作例]



● 特定日の設定

特定日を1～5の5つのグループに分けて設定できます。1つのグループにつき、30日の特定日を指定することができます。特定日パターンは、カレンダーで指定した日に加え、毎年・毎月・毎日などのワイルドカードと、毎週あるいは第何週の指定曜日のような週と曜日の指定もできます。

特定日の設定動作は各曜日の設定動作よりも優先度が高く、同じ日が複数の特定日パターンに設定されているときは、数字の小さいグループほど優先度が高くなります。

[特定日の設定例]

	特定日1	特定日2	
最大30パターン 設定できます。	2001年3月24日	2002年5月	*1 2001年5月の毎日を指定しています。
	2001年5月 *1	2001年3月25日	*2 2001年4月の毎週月曜日を指定しています。
	2001年4月毎週月曜日 *2	毎週水曜日	*3 毎年各月の第2週の火曜日を指定しています。
	第2週火曜日 *3	2003年 *4	*4 2003年の毎日を指定しています。
	⋮	2002年4月毎週火曜日	

※ この例では、特定日1には第2週の火曜日、特定日2には2002年4月毎週火曜日が設定されており、2002年の第2火曜日が両方に登録されています。このときは、特定日1に設定された動作をします。

一斉に映像を切り替える

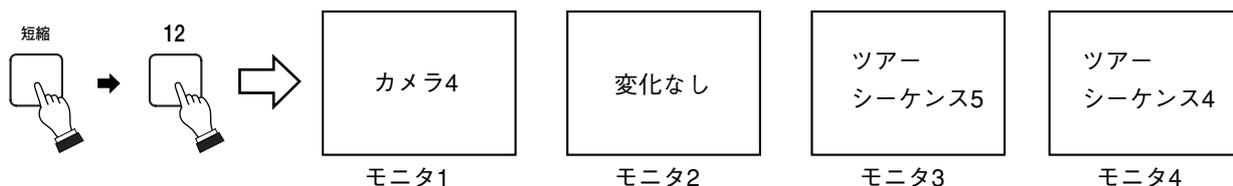
1～16の番号にあらかじめカメラ番号またはツアーシーケンス番号を登録しておくこと、短縮番号の指定で、登録された内容の動作をします。

1～16の選択キーを利用して、複数のモニタの映像を同時に切り替えることができます。

[短縮番号の設定例]

	モニタ1	モニタ2	モニタ3	モニタ4
短縮番号12	カメラ4	—	ツアー シーケンス5	ツアー シーケンス4

[短縮番号12の動作例]



アラーム入力による動作

■ アラーム入力

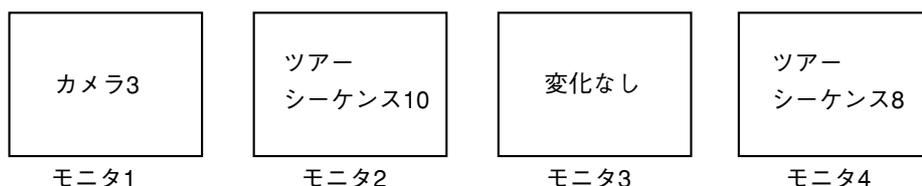
本機は32のアラーム入力を装備しています。(接続について P. 36)

このアラーム入力を外部機器の接点出力と接続することにより、外部機器の状態と連動して本機を制御することができます。アラーム入力ごとに、各モニタの動作を設定することができます。

[アラーム入力の設定例]

入力	タイトル	モード	タイプ	モニタ1	モニタ2	モニタ3	モニタ4
1	アラーム1	非常AL	レベル	カメラ3	ツアー シーケンス10	—	ツアー シーケンス8
2	チカ1F	通常AL	エッジ	—	カメラ12	カメラ4	—
...
32	オクジョウ	通常AL	エッジ	ツアー シーケンス12	カメラ1	—	ツアー シーケンス4

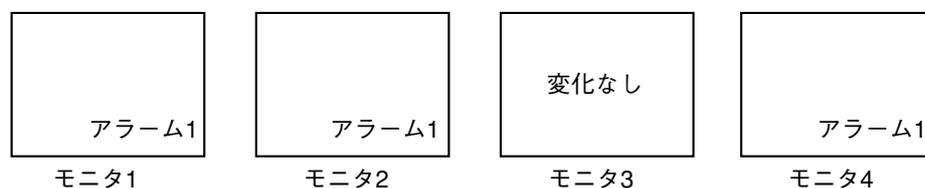
[入力1にアラーム信号が入力されたときの例]



● アラームタイトル

アラーム入力ごとにそのタイトルを設定することができます。設定されたタイトルは、そのアラーム入力によりアラーム動作となるモニタすべてに表示されます。

[前項の設定例の場合に、入力1にアラーム信号が入力されたときの例]



● アラームモード

各アラーム入力には「非常AL」（非常アラーム）、「通常AL」（通常アラーム）、「リモート」のアラームモードが設定できます。

[非常AL]

非常アラームに設定された接点からアラームが入力されると、各モニタの動作状態にかかわらず（アラーム保留状態でも）、すべてのモニタが設定されたアラーム動作に移行します。

アラーム動作に移行後、画面切り替え操作など通常の手動での操作を行うことができます。

アラーム動作中に手動で操作をすると、そのモニタはアラーム保留状態（ P. 20）となり、この状態でアラーム保留キーを押すと、元のアラーム動作に戻すことができます。

アラーム動作中にアラーム保留キーを押すと、「通常動作」またはスケジュール動作が起動されます。この状態で再度、アラーム保留キーを押すと、元のアラーム動作に戻すことができます。

なお、アラーム動作中は、スケジュールキーは無効となります。

[通常アラーム]

通常アラームに設定された接点からアラームが入力されると、「通常動作」（スケジュール動作）を行っているモニタのみが、設定されたアラームの状態に移行します。

「通常動作」（スケジュール動作）をしていないモニタ（例えば、映像を手動で切り替えて見ているとき、旋回台操作をしているときなど）は設定されたアラーム動作に移行せず、現在の状態を維持し、アラーム保留状態となります。この状態でアラーム保留キーを操作すると、アラーム動作に移行します。

アラーム動作に移行後、画面切り替え操作など通常の手動での操作を行うことができます。アラーム動作中に手動で操作をすると、そのモニタはアラーム保留状態となり、この状態でアラーム保留キーを押すと、元のアラーム動作に戻すことができます。

アラーム動作中にアラーム保留キーを押すと、「通常動作」、あるいはスケジュール動作が起動されます。

この状態で再度、アラーム保留キーを押すと、元のアラーム動作に戻すことができます。

なお、アラーム動作中は、スケジュールキーは無効となります。

[リモート]

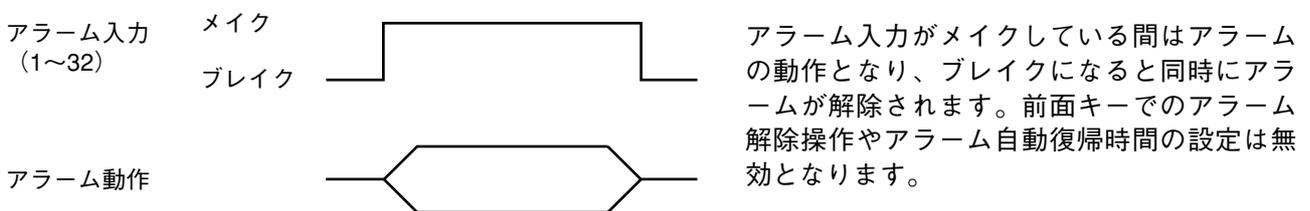
リモートは短縮番号（ P. 15）と同等の操作となり、アラーム状態とはなりません。アラーム出力は出力されません。

ただし、設定したアラームタイトルは表示されます。

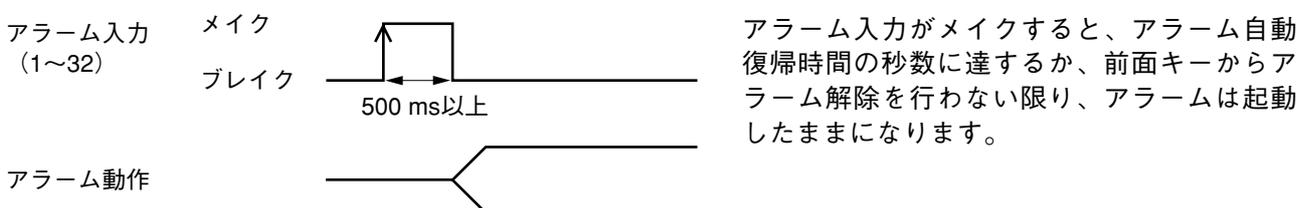
● アラームタイプ

アラーム入力の起動信号には、「レベル」と「エッジ」の2つのタイプがあります。

[レベル型入力]



[エッジ型入力]



■ アラーム出力

各アラーム入力が入ったときに、アラーム出力1～8のそれぞれについて出力するか（メイクする）、出力しないかを設定することができます。

アラーム出力 モニタ1～4については、それぞれモニタ1～4のアラーム状態に連動して自動的に出力されます。

入力	出力1	出力2	出力3	出力8
1	○		○	○
2		○	○	
3	○			
32	○			○

この例では、アラーム入力1が入力されると、アラーム出力1、3、8がメイクし、同時に、アラーム入力に設定されたモニタに相当するアラーム出力 モニタ1～4がメイクします。

前述の「アラーム入力の設定例」では、モニタ1、2、4がアラーム状態になるので、それに相当するアラーム出力 モニタ1、アラーム出力 モニタ2、アラーム出力 モニタ4がメイクします。（詳細 次項「アラーム入出力の関係」）

■ アラーム入出力の関係

P. 16のアラーム入力の設定表と前項のアラーム出力の設定表を例に、アラーム入力1にアラーム信号が入力されたときのアラーム出力の状態を説明します。

アラーム入力1が起動 → アラーム出力1、3、8がメイクする。（前項のアラーム出力の表）

↳ モニタ1、2、4がアラーム状態になり、設定された動作をする。

（P. 16のアラーム入力の表） → アラーム出力 モニタ1、アラーム出力 モニタ2、アラーム出力 モニタ4がメイクする。（モニタ番号に対応するアラーム出力*がメイクする。）

結果として、アラーム出力1、3、8、モニタ1、モニタ2、モニタ4がメイクする。

* モニタがアラーム状態になったとき、下表のように対応するアラーム出力が起動します。この設定は固定であり、変更することはできません。

アラーム状態のモニタ	起動するアラーム出力
モニタ1	アラーム出力 モニタ1
モニタ2	アラーム出力 モニタ2
モニタ3	アラーム出力 モニタ3
モニタ4	アラーム出力 モニタ4

■ 複数アラームの動作

1 モニタに複数のアラームが発生したときの動作をアラームモードごとに、後優先またはアラームシーケンスに設定できます。

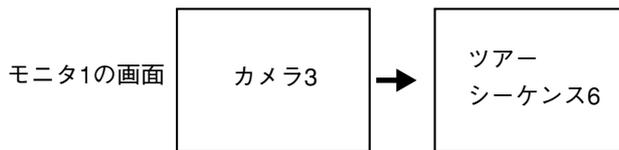
● 後優先

順次アラームが発生すると、時間的に最後に発生したアラームが優先され、そのアラームに設定されている動作に切り替わります。ただし、同じ優先度（アラームモード）を持ったアラーム入力間でのみ有効で、非常AL発生中に通常ALが受け付けられることはありません。また通常AL中に非常ALが発生すると、通常ALはすべて止まります。

[アラーム入力の設定例]

入力	モード	タイプ	モニタ1
1	通常AL	エッジ	カメラ3
2	通常AL	エッジ	—
3	通常AL	エッジ	ツアーシーケンス6

[アラーム入力1、2、3が順次入力されたときの例]



※ 画面表示は、アラーム入力3が入ると同時に切り替えられます。（この例では、アラーム入力2が入ったときに、モニタ表示は変化しません。）

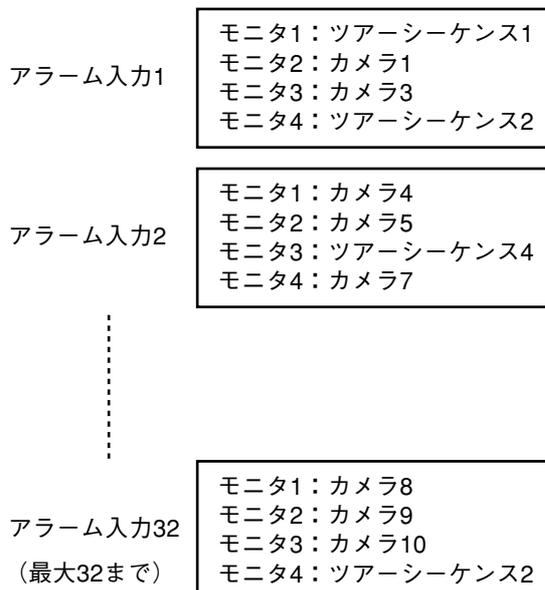
● アラームシーケンス

現在発生しているすべてのアラーム状態をモニタごとに蓄積していき、「アラーム動作」（ 下記の例）で設定された映像をシーケンス動作でモニタに表示する機能です。

「アラーム動作」はアラーム入力番号ごとに、そのアラームが入力されたとき、各モニタにどのような映像を表示させるかを設定することができます。

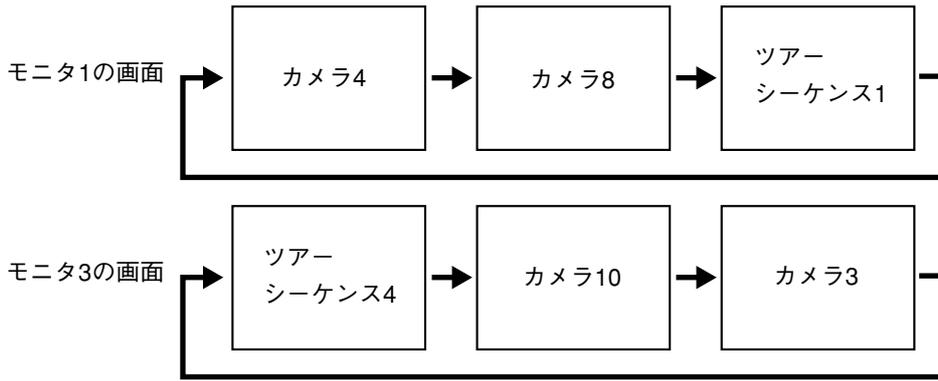
1 モニタ内で最大32オーダーまで、シーケンス動作でモニタに表示させることができ、これを超えるときは、後から入ったアラームが優先（後優先）になります。

[アラーム動作の設定例]



[アラーム入力時のモニタ画面表示例]

アラーム入力の検出：アラーム入力2、アラーム入力32、アラーム入力1



■ アラーム保留

アラーム保留状態とは、アラーム入力があっても、直ちにはアラーム動作に移行せず、現在の状態を維持している状態のことです。この状態のときにはモニタに「アラーム保留」と表示され、そのモニタを操作しているアラーム保留キーが点滅します。

アラーム保留キーを押すと、保留されているアラームの状態に移行します。

また、通常アラームに設定した端子からの入力があったとき、「通常動作」をしているモニタだけはアラーム動作に移行しますが、前もってアラーム保留キーを押しておけば、「通常動作」を維持してアラーム保留状態となります。

■ アラームマニュアル機能

アラーム動作中でも、前面キーから画面切り替え操作をすることができます。アラーム動作中のモニタの映像切り替えを行うと、自動的にアラーム保留状態となり、モニタ画面に「アラーム保留」の文字が表示されます。アラーム保留キーを押すと、元のアラーム状態に戻ります。

■ アラームの追加機能 (C-WN168を使用するときのみ)

機能拡張ソフトC-WN168を使用すると、以下の機能が追加されます。

● 3つのアラームパターン

別売の機能拡張ソフトC-WN168を使用すると、アラーム信号が入力されたときの動作を3パターン設定することができます。(C-WN168を使用しないときは1パターンのみ)

1つのパターンには、32のアラーム入力に対し、連動するアラーム出力(各アラーム入力が入ったときにアラーム出力1～8の内どれを出力するか)と、各モニタの動作(ツアーシーケンス、カメラ選択など)を設定します。

● アラームのスケジュール機能

アラームの動作パターンを複数持つことにより、時間帯によりパターンを変えるスケジュール動作が可能になります。

ツアーシーケンスのスケジュール(P. 13)と同様に、各曜日と特定日グループ(5種類)の計12種類に、それぞれ指定時間帯による動作パターンを設定することができます。特定日グループは、ツアーシーケンスと共通で使用します。

● モニタのグルーピング機能

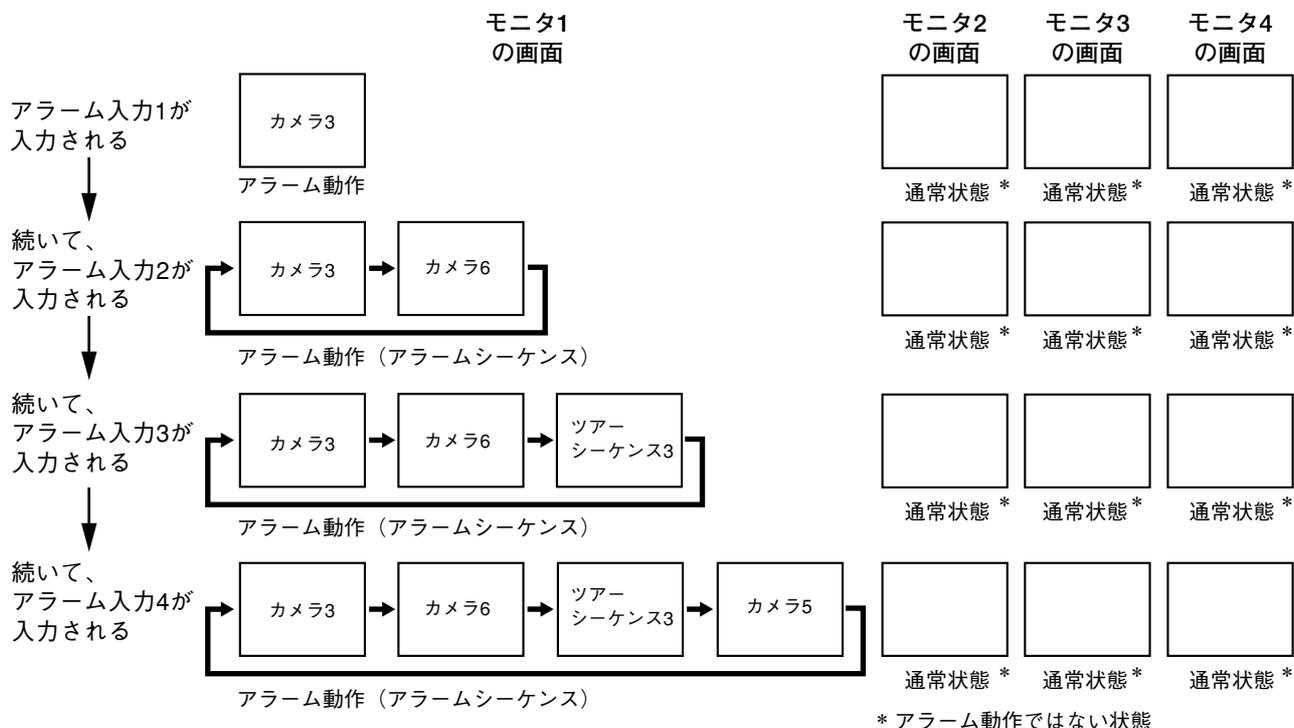
複数アラーム時の動作がアラームシーケンスに設定されているときに、アラーム入力が複数入ると、アラームシーケンス(複数のアラームの映像をモニタに切り替えて表示する)状態になります。

モニタをグループ化しておけば、このようなとき、後から入ったアラームの画面を同一のグループでアラーム状態ではないモニタに振り分けて映すことができ、通常は1つのモニタで映す複数の映像を、複数のモニタで同時に見ることができるようになります。(次ページ)

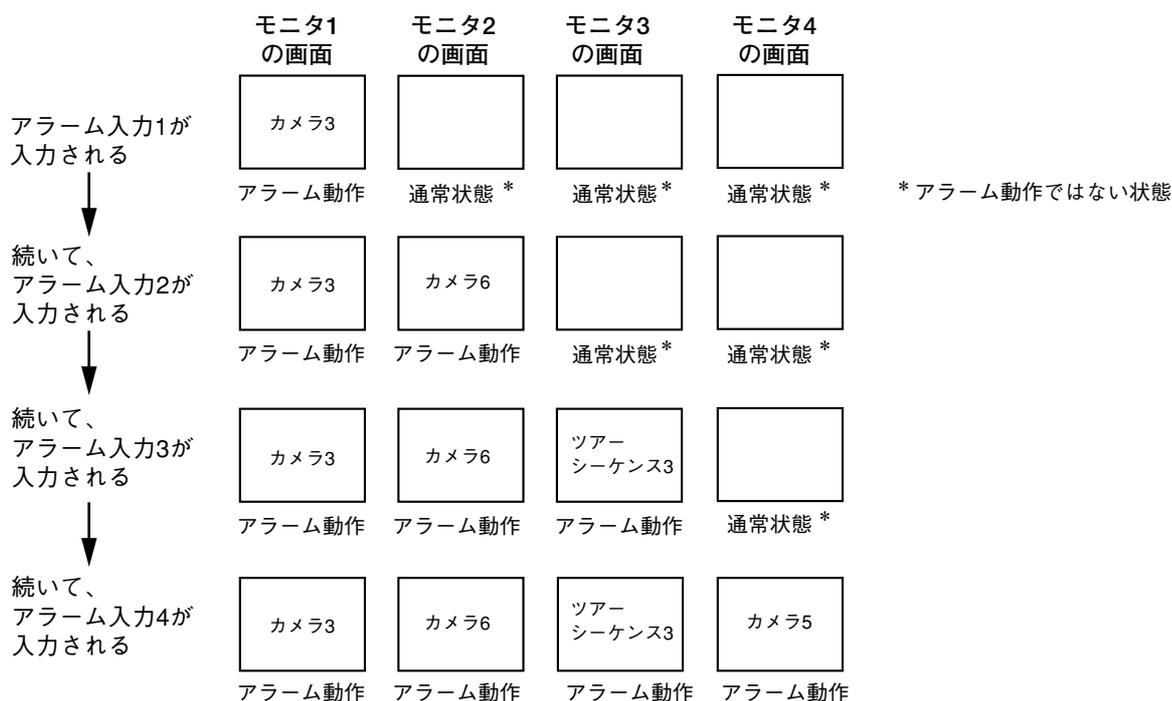
[例]

アラーム入力	モニタ1	モニタ2	モニタ3	モニタ4
1	カメラ3	—	—	—
2	カメラ6	—	—	—
3	ツアーシーケンス3	—	—	—
4	カメラ5	—	—	—

- 複数アラーム時の動作がシーケンスに設定されているとき、アラーム入力1、2、3、4が順次入ると、通常はモニタ1～4には次のような映像が表示されます。



- モニタ1～4を同一グループにグルーピングしておくとき、複数アラーム時の動作がシーケンスに設定されているとき、アラーム入力1、2、3、4が順次入ると、2つめ以降のアラーム入力が入ったときに、同一グループの中で開いている（アラーム状態でない）モニタを探して、アラーム動作を行います。



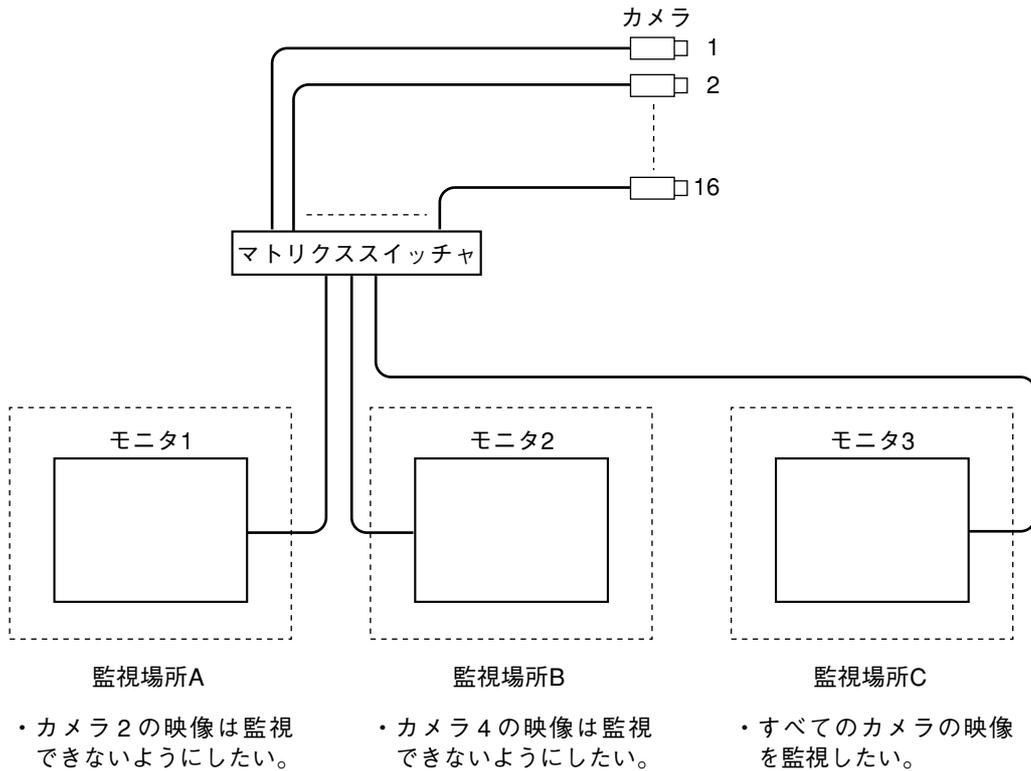
操作制限機能

操作制限機能とは、モニターごとに、映像表示をできないカメラを設定することができる機能です。「モニター・カメラ間の制限」の操作制限機能を設定することができます。この設定は本機のメニュー画面（または機能拡張ソフト）で行います。

■ モニター・カメラ間の制限

モニターごとに、そのモニターで映像表示をさせないカメラを指定することができます。

[例]

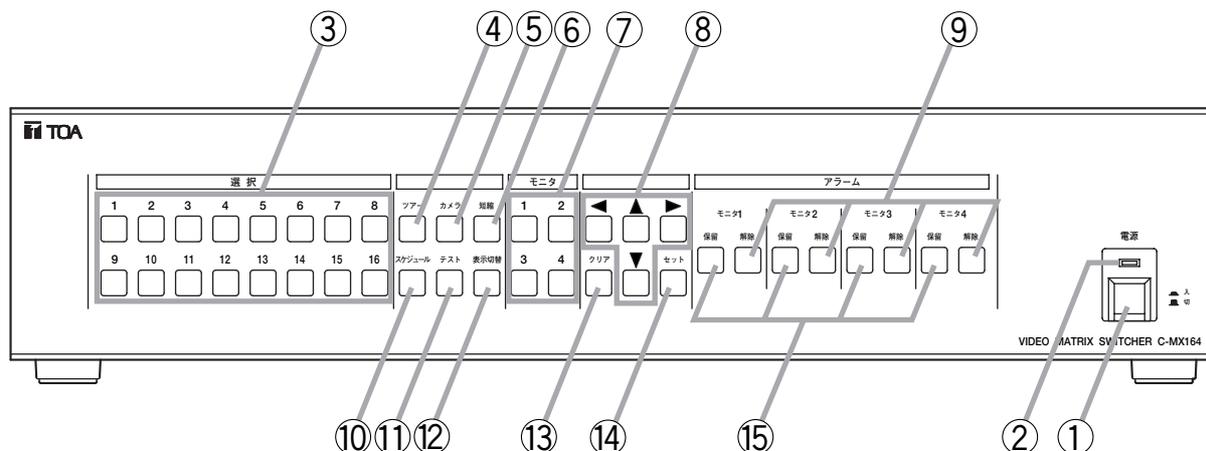


このようなときは、メニュー画面（「モニター・カメラ制限」の項目）で以下のように設定してください。（詳しくは P. 55）

	カメラ																									
	1 1 1 1 1 1 1																									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6										
モニター1	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
モニター2	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
モニター3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										

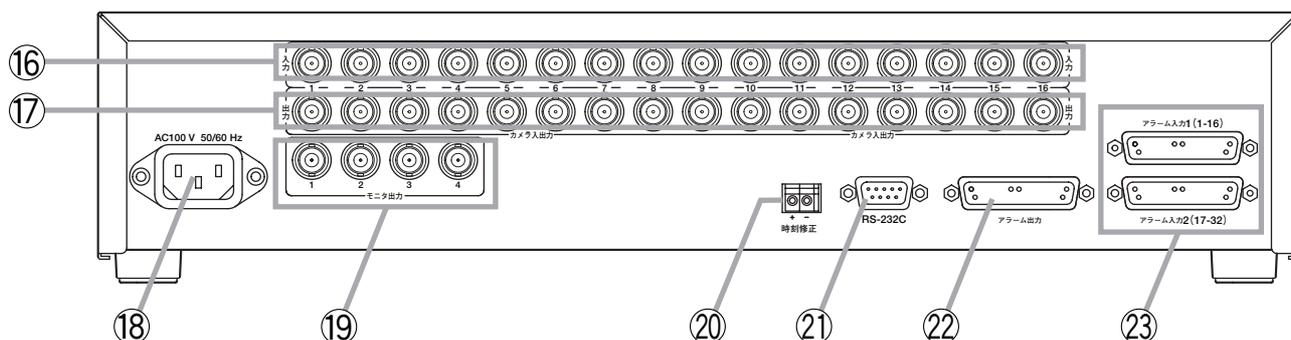
各部の名称とはたらき

[前面]



- ① 電源スイッチ
押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。
- ② 電源表示灯
電源を入れると点灯します。
- ③ 選択キー
操作時には、ツアーキー、カメラキー、短縮キーと組み合わせて、動作指定を行います。選択されているキーが点灯します。
設定時には、「1」～「10」までのキーを数字入力用の「テンキー」として使用します。0を入力するときは「10」のキーを使用します。
- ④ ツアーキー
ツアーシーケンスを起動させるときに使用します。ツアーシーケンス中はキーが点灯します。
- ⑤ カメラキー
カメラを選択するときに使用します。カメラ選択中はキーが点灯します。
- ⑥ 短縮キー
短縮番号を指定するときに使用します。指定中はキーが点灯します。
- ⑦ モニタキー
操作するモニタを選択します。選択されているモニタ番号のキーが点灯します。
- ⑧ シフトキー [▲、▼、◀、▶]
メニュー画面で設定するときに使用します。
- ⑨ アラーム解除キー
アラームを解除します。アラーム信号が入力されると、キーが点滅します。
- ⑩ スケジュールキー
マニュアル操作を解除します。あらかじめ設定されたスケジュールに従ったカメラ選択やツアーシーケンスを起動させることができます。
- ⑪ テストキー
テストシーケンスを起動させるときに使用します。テストシーケンス中はキーが点灯します。
- ⑫ 表示切替キー
モニタに表示する文字の内容（通常、ショート、OFF）を切り替えます。
- ⑬ クリアキー
メニュー画面で設定するときと、メニュー画面を終了させるときに使用します。
- ⑭ セットキー
メニュー画面に入るとき、メニュー画面で確定するときに使用します。
- ⑮ アラーム保留キー
アラーム保留状態になるとキーが点灯します。アラーム保留中にアラームが入るとキーが点滅します。

[後面]



①⑥ カメラ入力端子 (1～16ch)
カメラからの映像信号を入力する端子です。

①⑦ カメラ出力端子 (1～16ch)
カメラ端子に接続された映像を出力するスルー出力端子です。

ご注意

この出力には文字表示機能はありません。

①⑧ AC インレット端子
付属の電源コードを接続します。

①⑨ モニタ出力端子 (1～4ch)
カメラ入力端子に接続されたカメラの映像を切り替えたり (シーケンシャル機能)、また選択したカメラ映像を固定して (スポット機能) 表示する映像出力端子です。4つのそれぞれ独立した出力端子があります。また、上記以外にも下記の機能を持っています。

- 文字表示機能に対応
- 本機の設定用のメニュー画面表示

②⑩ 時刻合わせ端子
タイマ機器と接続することで、その信号から本機の持つ時計の時刻を自動的に調節します。(P. 39)

②⑪ RS-232C 端子
パソコンに実装する機能拡張ソフト C-WN168 を使って本機の設定を行う場合に使用します。(P. 38)

②⑫ アラーム出力端子
12接点のアラーム出力があります。アラーム入力により各接点の状態を設定することができます。(P. 37)

②⑬ アラーム入力端子
32接点の入力にセンサなどを使って外部からアラーム動作を起動させるときに使用します。(P. 36)

操作の前に

■ 電源を入れたときの状態

電源を入れると、モニタ出力1～4の映像は、あらかじめ設定された通常動作（P. 13）またはスケジュール動作（P. 13）の状態になります。ただし、何も設定されていないときはテストシーケンス（P. 12）の状態になります。

このとき、モニタキー「1」が点灯し、モニタ番号1が選択された状態になっています。

■ マニュアル操作にあたって

ツアーシーケンス、カメラ選択、スケジュール、テストシーケンス、表示切替のマニュアル操作は、選択されているモニタ（その番号のモニタキーが点灯）に対してのみ有効です。操作したいモニタを選択してから各キーでの操作を行ってください。

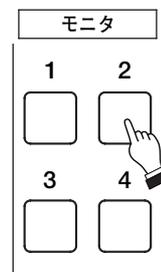
■ スイッチ操作は確実に

各スイッチ操作は必ず確実に1つずつ操作してください。複数のスイッチを同時に押すようなことは絶対にしないでください。

モニタを選択する

選択したいモニタ番号のモニタキーを押す。

選択したモニタキーが点灯します。

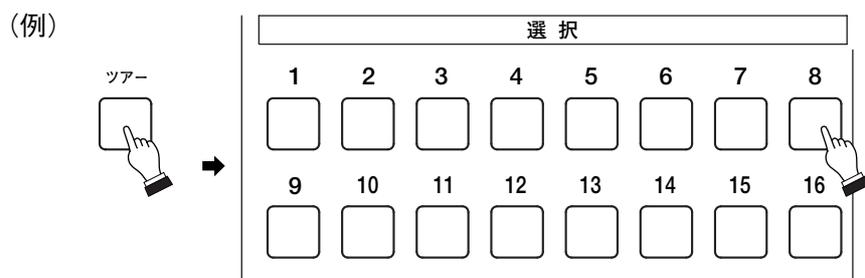


ツアーシーケンスを動作させる

接続されているカメラの映像を、あらかじめ設定された順序と表示時間で次々とモニタに表示させる機能をツアーシーケンスと呼びます。ツアーシーケンスの動作は、1～32の32パターン設定することができます。(設定のしかた P.69) 前面キーで操作できるのは、その内1～16の16パターンです。

ツアーキーを押した後、選択したいツアーシーケンス番号に相当する選択キーを押す。

ツアーキーと選択した番号の選択キーが点灯し、選択しているモニタに、選択したツアーシーケンス番号に登録されている映像が表示されます。



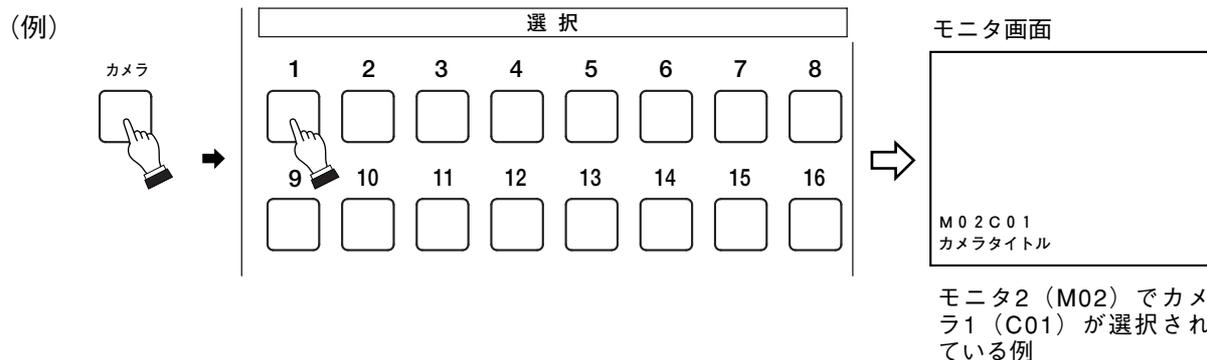
メモ

ツアーキーを押した後、選択キーを押すまで、ツアーキーは点滅しています。選択キーを押すと点滅が点灯に変わります。ツアーキーが点灯しているときは、選択キーを押すだけでツアーシーケンス番号を変更することができます。

カメラを選択する

カメラキーを押した後、選択したいカメラ番号の選択キーを押す。

カメラキーと選択した番号の選択キーが点灯し、選択しているモニタに、選択したカメラの映像が表示されます。



メモ

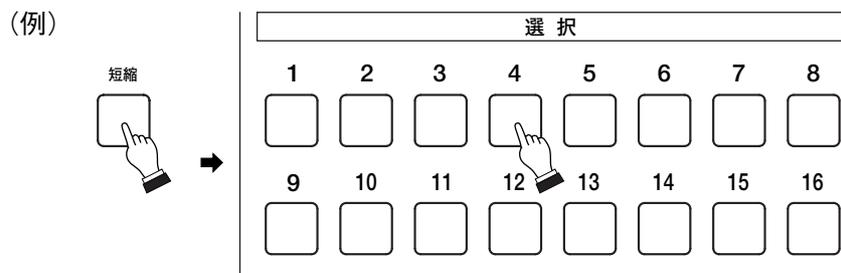
カメラキーを押した後、選択キーを押すまで、カメラキーは点滅しています。選択キーを押すと点滅が点灯に変わります。カメラキーが点灯しているときは、選択キーを押すだけでカメラの映像を切り替えることができます。

短縮登録を利用して選択する

各モニタに対応する、カメラ番号またはツアーシーケンス番号（P. 12）をあらかじめ登録（P. 78）しておく、複数のモニタの映像を同時に切り替えることができます。短縮番号は、1～16の最大16個を設定できます。

短縮キーを押した後、選択したい短縮番号に相当する選択キーを押す。

短縮キーと選択した番号の選択キーが点灯し、登録されたモニタの映像が、それぞれ登録されたカメラまたはツアーシーケンスに、一斉に切り替えられます。



メモ

短縮キーを押した後、選択キーを押すまで、短縮キーは点滅しています。選択キーを押すと点滅が点灯に変わります。短縮キーが点灯しているときは、選択キーを押すだけで短縮番号を変更することができます。

スケジュールに従った動作に戻す

マニュアル操作を解除してスケジュール*に従った動作に戻すときにスケジュールキーを使用します。シーケンス設定で「通常動作」に設定されたツアーシーケンスまたはカメラ選択を動作させることができます。別売の機能拡張ソフトで「スケジュール」を組んでいるときは、そのスケジュールに従ったツアーシーケンスまたはカメラ選択を動作させることができます。ただし、アラーム入力中のマニュアル操作の後にスケジュールキーを押すと、アラームマニュアル解除（P. 32）となり、アラーム動作に戻ります。

ご注意

アラーム動作中にスケジュールキーを押しても、そのキー操作は無効となり、スケジュールに従った動作には戻りません。

* 通常時（アラーム信号が入力されておらず、カメラ選択、ツアーシーケンス指定などのマニュアル操作もされていない状態）の動作内容を設定することができます。

別売の機能拡張ソフトC-WN168で設定するときは、ツアーシーケンススケジュール設定で、通常パターンと指定時間帯による動作パターンを、各曜日と特定日グループ（5種類）に分けて、「スケジュール」を組むことができます。

スケジュールキーを押す。

選択しているモニタのマニュアル操作が解除されて、通常動作（または別売の機能拡張ソフトによるスケジュール）に戻ります。

スケジュール



テストシーケンスを動作させる

接続されているカメラの映像を、カメラ番号の小さい順番に1秒ごとに切り替えてモニタに表示させる機能をテストシーケンスと呼びます。

テストキーを押す。

テストキーが点灯し、選択しているモニタに、カメラ番号の小さい順に、1秒ごとに映像が切り替えられます。(接続していない、またはビデオロストしているカメラ番号の映像はスキップします。)同時に、カメラ番号に対応する選択キーが順に点灯していきます。

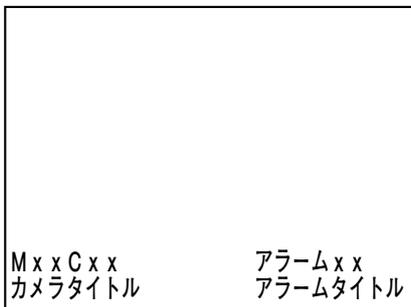


表示を切り替える

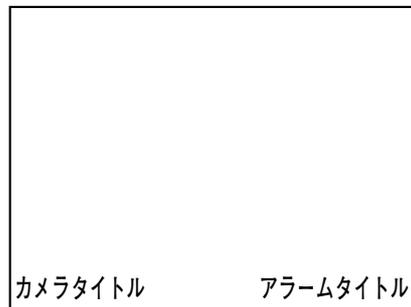
選択しているモニタの画面に、モニタ・カメラ番号、カメラタイトル、アラーム入力番号、およびアラームタイトルをすべて表示させるか、カメラタイトルとアラームタイトルのみを表示させるか、何も表示させないか、切り替えることができます。「通常」「ショート」「OFF」から選択します。(工場出荷時は「通常」に設定されています。)

それぞれの設定による表示は下記のようになります。(表示位置が「左下」のときの例)

「通常」(工場出荷時)



「ショート」

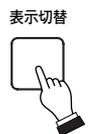


「OFF」



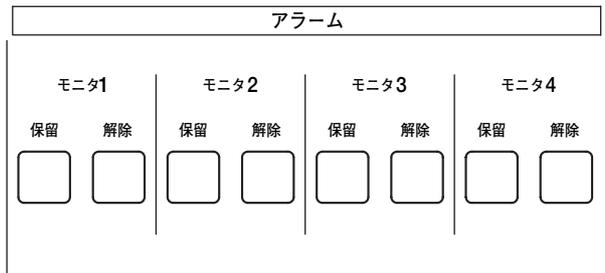
表示切替キーを押す。

表示切替キーを押すごとに、「通常」→「ショート」→「OFF」の順に切り替わります。



アラームの解除と保留

モニタごとに、アラーム解除キーとアラーム保留キーを備えています。



■ アラームを解除する

モニタにアラーム信号が入力されると、そのモニタのアラーム解除キーが点滅します。

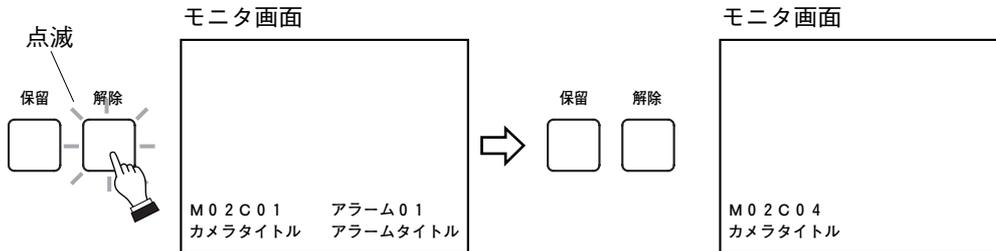
ご注意

アラーム入力のタイプを「レベル」と設定されたアラームは、アラーム解除キーの操作では解除できません。

アラーム解除キーが点滅しているときに、アラーム解除キーを押す。

そのモニタに表示されているアラームが解除され、「通常動作」（または別売の機能拡張ソフトのスケジュール）で設定された状態に戻ります。

(例)

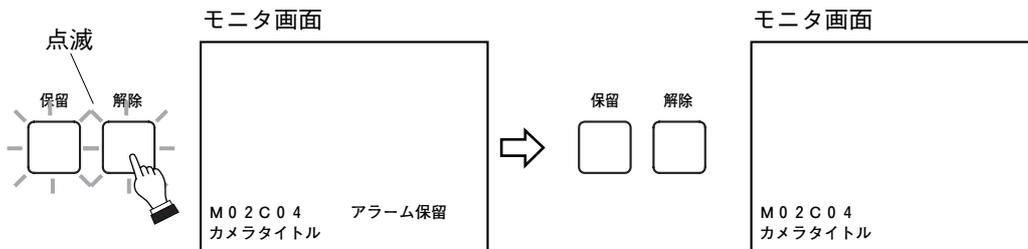


メモ

アラーム保留中でもアラームを解除することができます。

アラームが保留されているときは、アラーム信号が入力されると、アラーム解除キーとアラーム保留キーが点滅します。このときにアラーム解除キーを押すと、保留されているアラームが解除され、アラーム状態になりません。（アラーム保留状態も解除されます。）

(例)



■ アラームを保留する

モニタが通常動作中に「通常AL」モードのアラーム信号が入力されてもアラーム映像に切り替えたくないときに、アラームの信号を保留することができます。

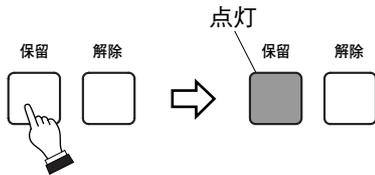
ご注意

- アラーム保留中に「非常AL」モードのアラーム信号が入力されると、強制的にアラーム保留が解除されます。
- ただし、アラーム動作中にアラーム保留キーを操作したときは、「通常AL」、「非常AL」ともに保留され、モニタは通常動作（またはスケジュール動作）をします。

アラーム保留キーが消灯しているときに、アラーム保留キーを押す。

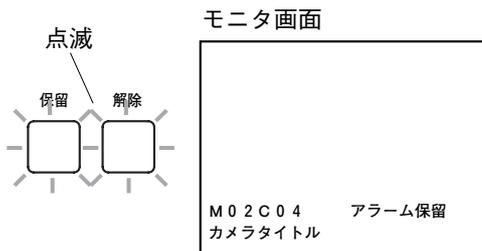
[通常動作中にキーを押した場合]

アラーム保留キーが点灯します。



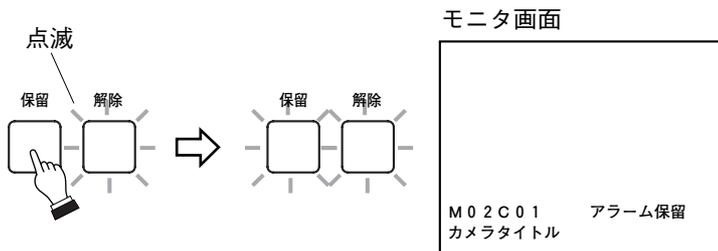
メモ

保留中に「通常AL」モードのアラーム信号が新たに入力されると、アラーム解除キーとアラーム保留キーが点滅するとともに、現在のモニタに「アラーム保留」の文字が表示されます。



[アラーム入力中にキーを押した場合]

アラーム保留キーが点滅します。現在のモニタがアラーム状態から通常動作の画面に変わり、「アラーム保留」の文字が表示されます。



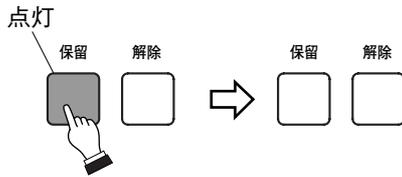
メモ

- 保留しているアラームが「非常AL」のときに、「非常AL」モードに設定されたアラーム信号が新たに入力されると、アラーム保留は解除され、アラーム設定の複数アラームで設定された動作になります。「通常AL」モードに設定されたアラーム信号が新たに入力されても、「非常AL」より優先度が低いので、反映されません。
- 保留しているアラームが「通常AL」のときに、「非常AL」モードに設定されたアラーム信号が新たに入力されると、アラーム保留は解除され、「非常AL」のアラーム動作に変わります。

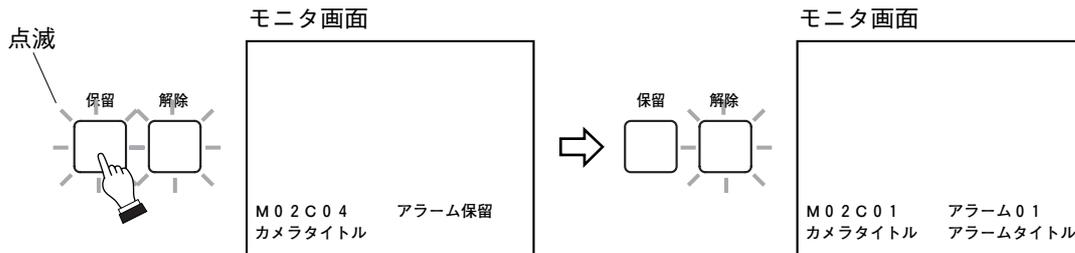
■ アラーム保留を解除する

アラーム保留中に、アラーム保留キーを押す。

アラーム保留が解除され、アラーム保留キーが消灯します。



保留されているアラームがあるときは、アラーム保留が解除されると、保留されていたアラームの映像がモニタに表示されます。

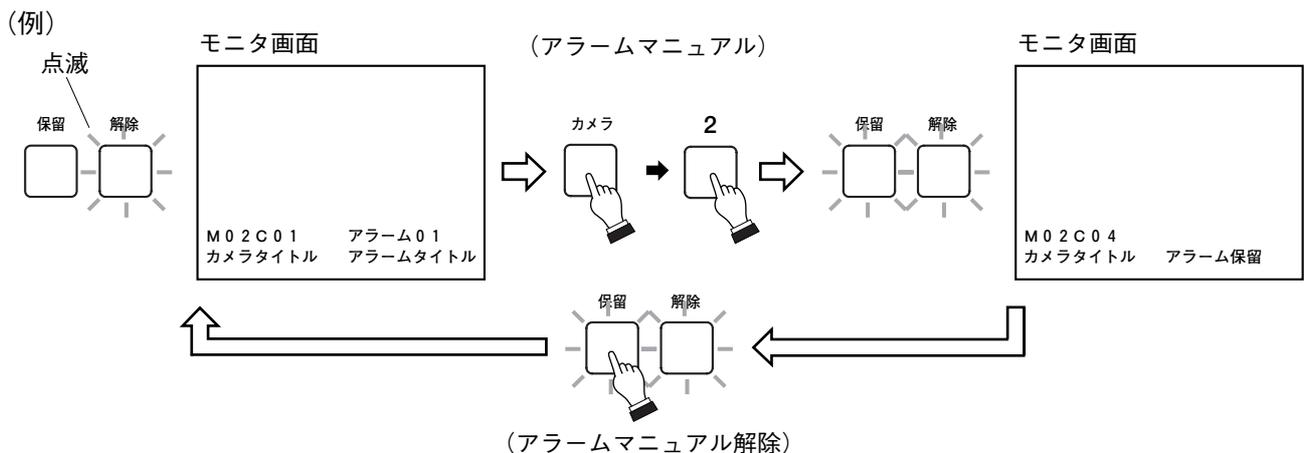


■ アラーム入力中のマニュアル操作

アラーム入力中でも、モニタ・カメラ選択、ツアーシーケンス指定などのマニュアル操作をすることができます。これをアラームマニュアルと呼びます。

アラームマニュアルに入った時点で、自動的にアラーム保留となり、アラーム保留キーが点滅します。その後、アラーム保留キーを押すことにより、その状態をアラーム状態（現在のアラームの状態）に戻すことができます。

アラームマニュアル中に新たなアラーム信号（モードが「通常AL」と設定されたアラーム）が入力されたときは、そのアラームは保留され、アラームマニュアルが解除されたときに新しいアラームが反映されます。アラームマニュアル中でもアラームが入力されている間は、アラーム解除キーは点滅します。



ご注意

アラーム入力のモードを「非常AL」と設定されたアラーム信号が入力されているときもマニュアル操作はできませんが、マニュアル操作中に「非常AL」に設定されたアラーム信号が入力されると、アラーム保留中であっても強制的にアラーム状態に移行します。

メ モ

アラームマニュアルは、スケジュールキーを押すことでもアラーム状態に戻せます。(P. 28)

接続と設定の手順

システムの全体構成を決め、機器を接続する (P. 34)

マトリクススイッチャの機能を設定する (P. 41)

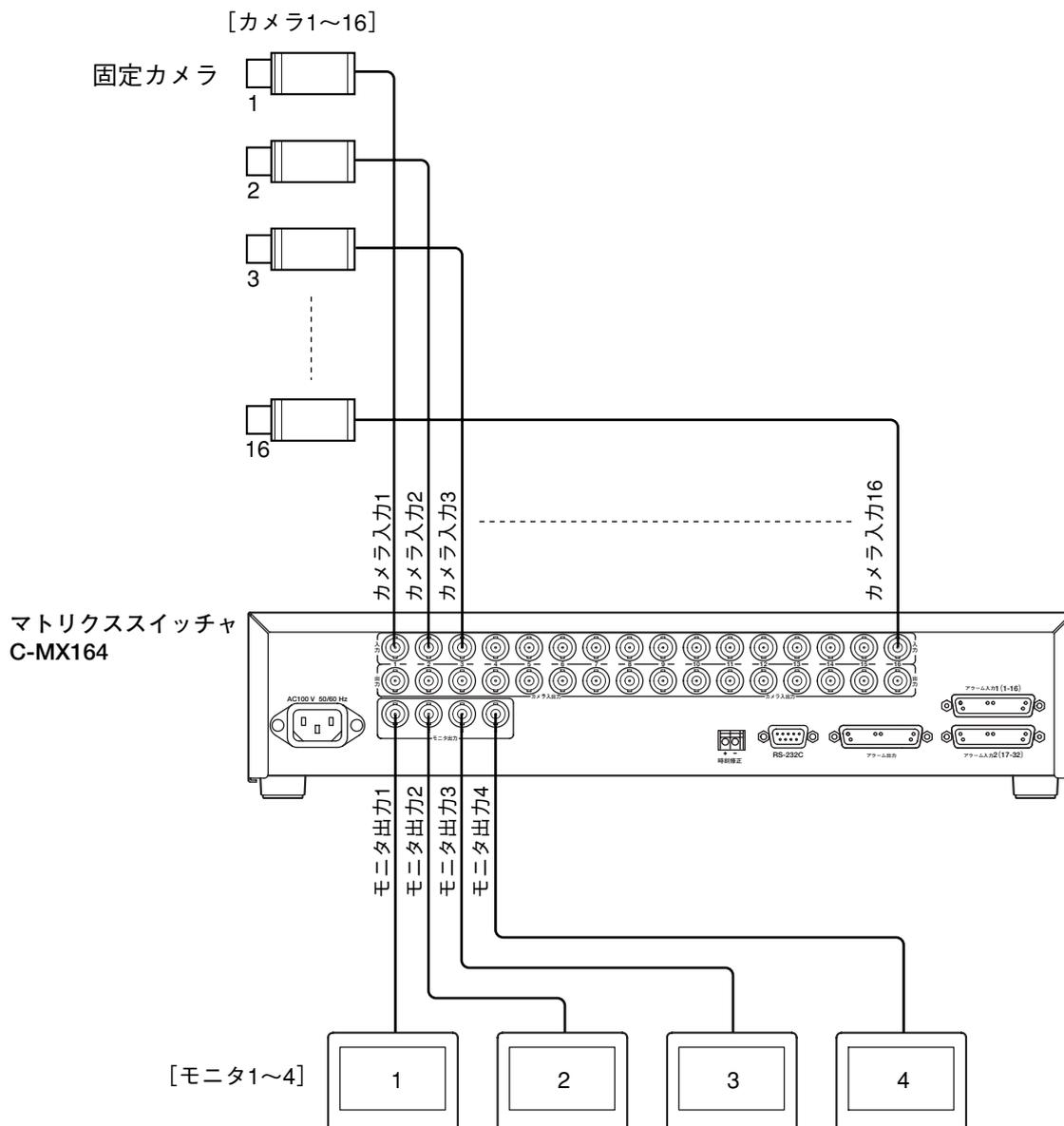
※ この設定は、本機の前面キーまたはパソコン（別売の機能拡張ソフト C-WN168 が必要）から行います。
(P. 43 または別売ソフトのヘルプファイルにある「機能拡張ソフト リファレンスマニュアル」)

設定する機能は、タイトル表示、接続カメラ、モニタ、シーケンス、アラームなどです。
機能拡張ソフト C-WN168 をインストールしたパソコンからは、スケジュール、アラームスケジュールなど、より詳細に機能を設定することができます。

システムの動作を確認する

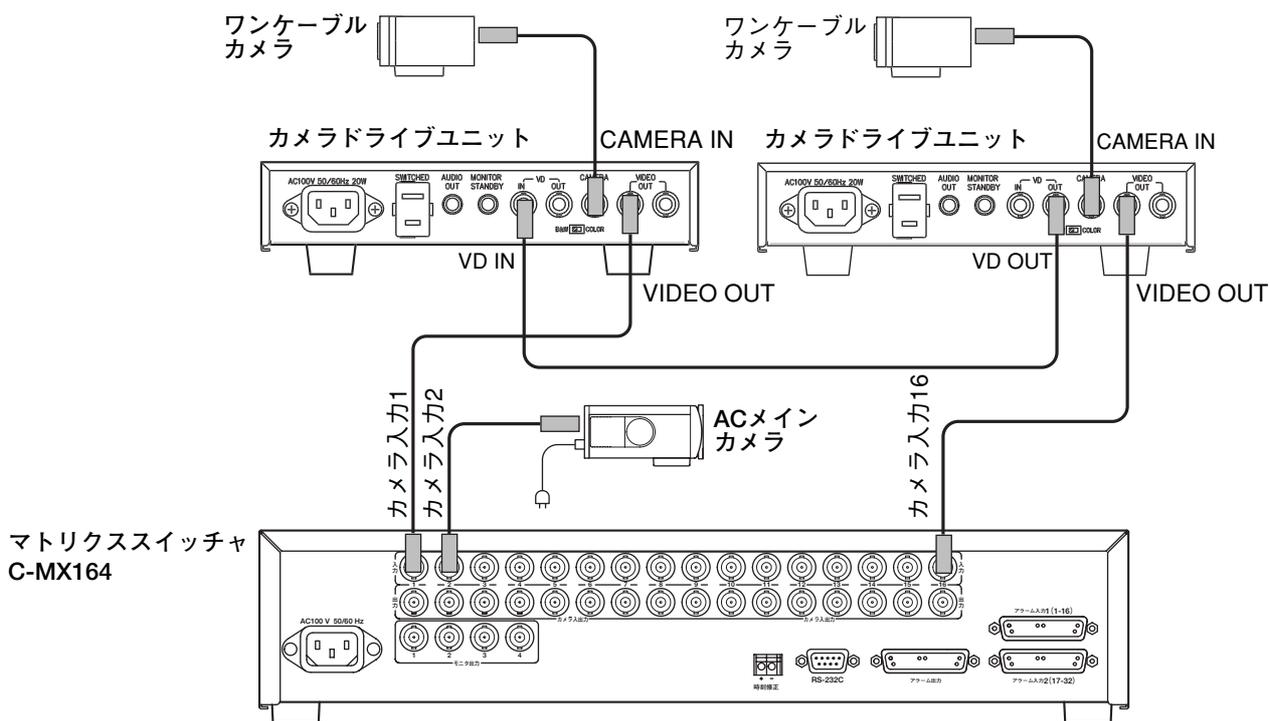
接続のしかた

■ システム接続図



■ カメラの接続

● 接続例



● 映像信号の同期について

本機にはカメラの同期をかける機能はありません。

そのため本機に、同期がかかっていないカメラを接続すると、画面の切り替えのときに画面の乱れが起こることがあります。

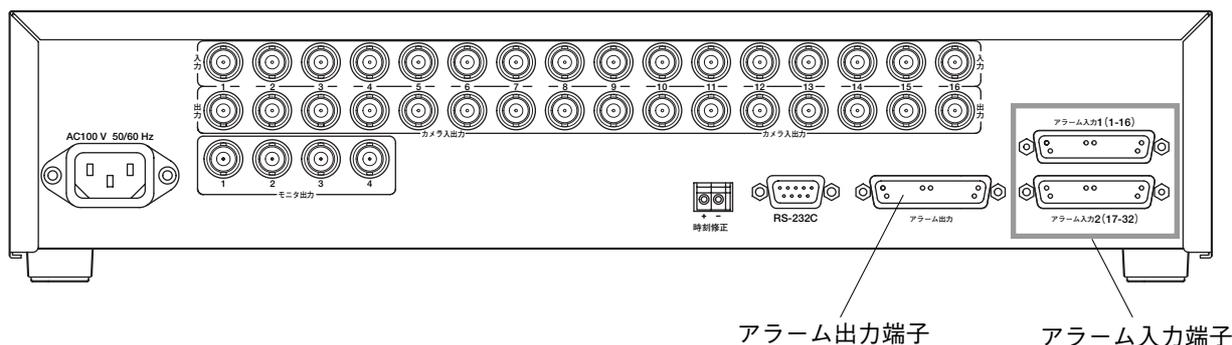
これを防ぐために、カメラを接続する機器どうしでVD IN端子とVD OUT端子を接続してください。各機器に接続されたカメラ間の同期を合わせることができます。

● TOA ワンケーブルカメラの接続

カメラドライブユニットを使用することで、ワンケーブルカメラを本機と接続することができます。

■ アラーム入出力端子の接続

マトリクススイッチャC-MX164



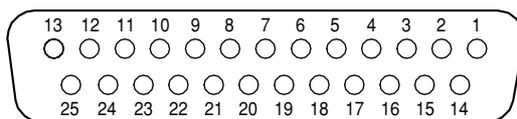
アラーム出力端子

アラーム入力端子

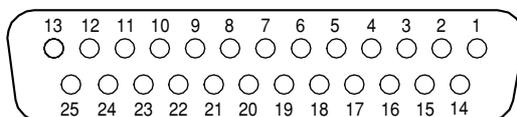
● アラーム入力端子

- 32入力あり、各入力ごとに4モニタに表示されるカメラ、ツアーシーケンスを設定することができます。
- 各入力端子をGND端子と500ms以上短絡すると起動します。(メイク接点入力)
- 開放時にはDC5Vの電圧が出力され、短絡時には最大5mAの電流が流れます。

アラーム入力1 (1~16)



アラーム入力2 (17~32)



アラーム入力1 (1~16)

ピン番号	機能	ピン番号	機能
1	GND 端子	14	アラーム入力9
2	アラーム入力1	15	アラーム入力10
3	アラーム入力2	16	アラーム入力11
4	アラーム入力3	17	アラーム入力12
5	アラーム入力4	18	GND 端子
6	GND 端子	19	GND 端子
7	GND 端子	20	アラーム入力13
8	アラーム入力5	21	アラーム入力14
9	アラーム入力6	22	アラーム入力15
10	アラーム入力7	23	アラーム入力16
11	アラーム入力8	24	GND 端子
12	GND 端子	25	GND 端子
13	GND 端子		

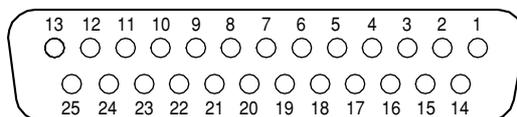
アラーム入力2 (17～32)

ピン番号	機能	ピン番号	機能
1	GND 端子	14	アラーム入力 25
2	アラーム入力 17	15	アラーム入力 26
3	アラーム入力 18	16	アラーム入力 27
4	アラーム入力 19	17	アラーム入力 28
5	アラーム入力 20	18	GND 端子
6	GND 端子	19	GND 端子
7	GND 端子	20	アラーム入力 29
8	アラーム入力 21	21	アラーム入力 30
9	アラーム入力 22	22	アラーム入力 31
10	アラーム入力 23	23	アラーム入力 32
11	アラーム入力 24	24	GND 端子
12	GND 端子	25	GND 端子
13	GND 端子		

● アラーム出力端子

- ・ 12出力あります。アラーム出力1～8はアラーム入力に応じた動作を設定することができます。
- ・ アラーム出力 モニタ1～モニタ4は、該当するモニタに表示されている映像がアラーム状態のときにGNDに短絡されます。
- ・ NPN オープンコレクタ出力でアラーム出力状態になると、その出力ピンはGND端子と短絡されます。本端子にはDC30 V以上の電圧をかけないようにしてください。また、DC20 mA以上の電流を流さないようにしてください。

アラーム出力



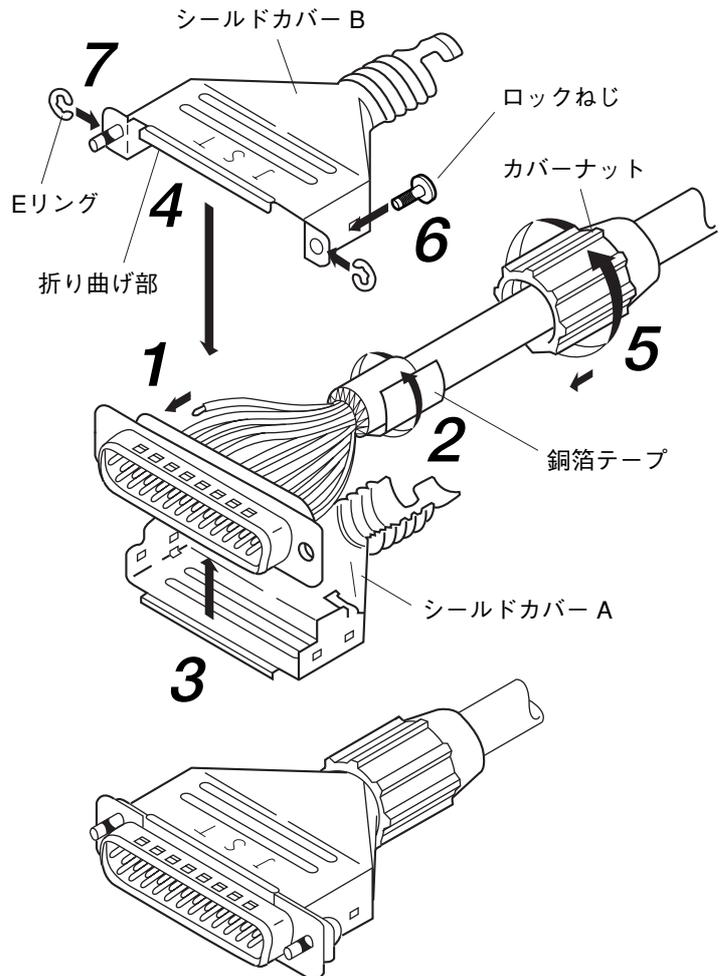
アラーム出力

ピン番号	機能	ピン番号	機能
1	GND 端子	14	アラーム出力 モニタ 1
2	アラーム出力 1	15	アラーム出力 モニタ 2
3	アラーム出力 2	16	アラーム出力 モニタ 3
4	アラーム出力 3	17	アラーム出力 モニタ 4
5	アラーム出力 4	18	GND 端子
6	GND 端子	19	GND 端子
7	GND 端子	20	空き
8	アラーム出力 5	21	空き
9	アラーム出力 6	22	空き
10	アラーム出力 7	23	空き
11	アラーム出力 8	24	GND 端子
12	GND 端子	25	GND 端子
13	GND 端子		

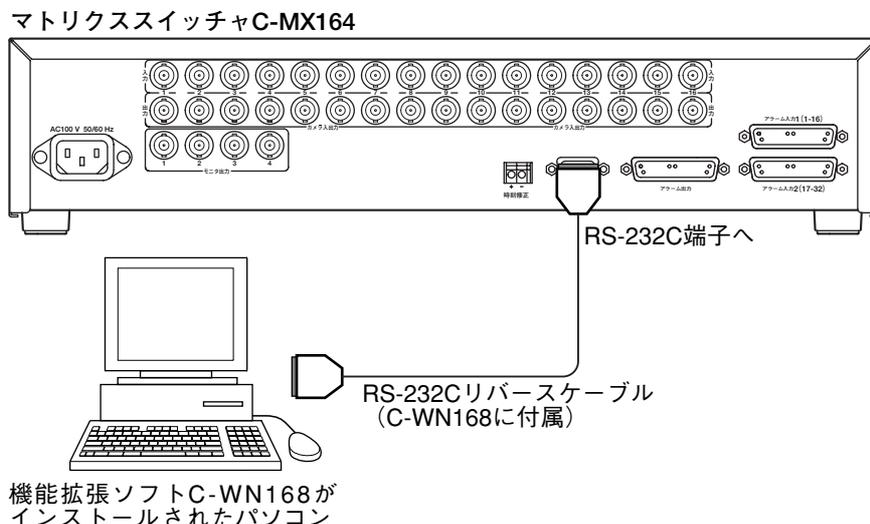
● D-sub コネクタ付きケーブルの組み立てかた

付属の D-sub コネクタ（オス）を使って作成します。

- 1 コネクタ本体の使用するピンに電線をはんだ付けする。
- 2 シールド編み線を外被に折り返し、その上に銅箔テープを巻く。
- 3 コネクタ本体にシールドカバー A をかぶせる。
- 4 シールドカバー B をシールドカバー A に沿って合わせ、カバーの折り曲げ部がかかるまで押し込む。
- 5 カバーナットを締め付ける。
- 6 ロックねじを取り付ける。
- 7 Eリングをねじに取り付ける。

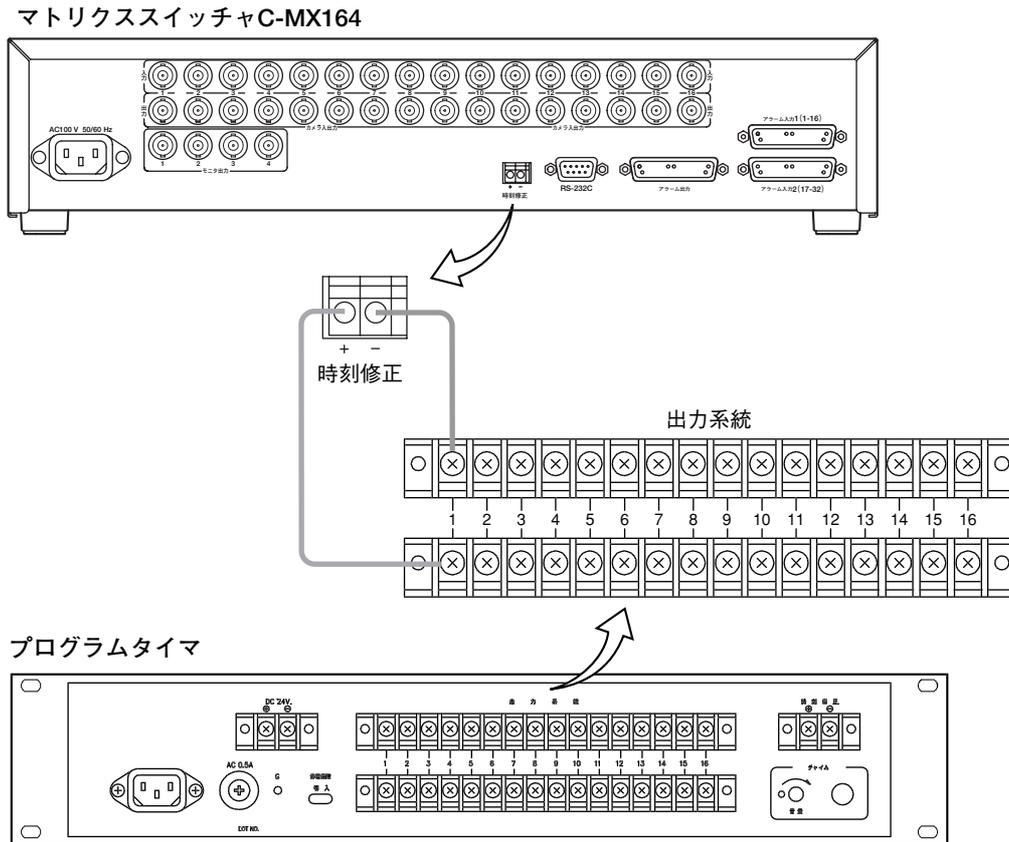


■ パソコンの接続 (パソコンから設定データをダウンロードするとき)



C-WN168 に付属の RS-232C ケーブルを使用してください。
または、市販の 9P メス - 9P メスの D-sub リバースケーブルを用意してください。

■ 時刻合わせ端子の接続



- この端子は、本機に内蔵している時計を補正する端子です。
- 内蔵時計の精度は月差±80秒（25℃時）です。
- 端子の十と一が短絡されると、
 - ・ 内蔵時計が0～30秒のとき : 0秒に補正します。
 - ・ 内蔵時計が31秒～59秒のとき : 1分進めます。桁上げをして0秒に補正します。
- （例）13時35分15秒のとき→13時35分00秒に補正
13時35分36秒のとき→13時36分00秒に補正
- この端子を起動するには、100ms以上短絡する必要があります。
- この端子は、開放時にDC5Vの電圧が出力され、短絡時には最大5mAの電流が流れます。
- 内蔵時計のバックアップ用電池寿命は、15年（連続非通電）です。（通電時にはこの電池は消耗しません。）
- 時刻修正の親時計として、プログラムタイマの代わりにNHK時報校正器などをお使いいただくと、より正確に時刻を補正することができます。
- モニタに日付／時刻を表示する場合は、次ページの「■ モニタに日付／時刻を表示する」をお読みください。

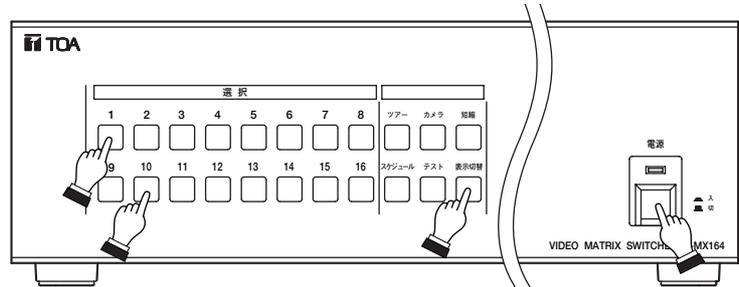
■ モニタに日付／時刻を表示する

本機は、モニタ1に日付／時刻を表示する機能を持っています。モニタに日付／時刻を表示した状態で、現在時刻や時刻合わせ端子の動作確認などを行うことができます。

日付／時刻表示はモニタ1にのみ表示可能です。他のモニタに表示させることはできません。通常は、日付／時刻表示なしでお使いください。

[日付／時刻を表示する場合]

選択キーの「1」と「10」と表示切替キーを押しながら、電源を投入してください。モニタ1に日付／時刻が表示されます。

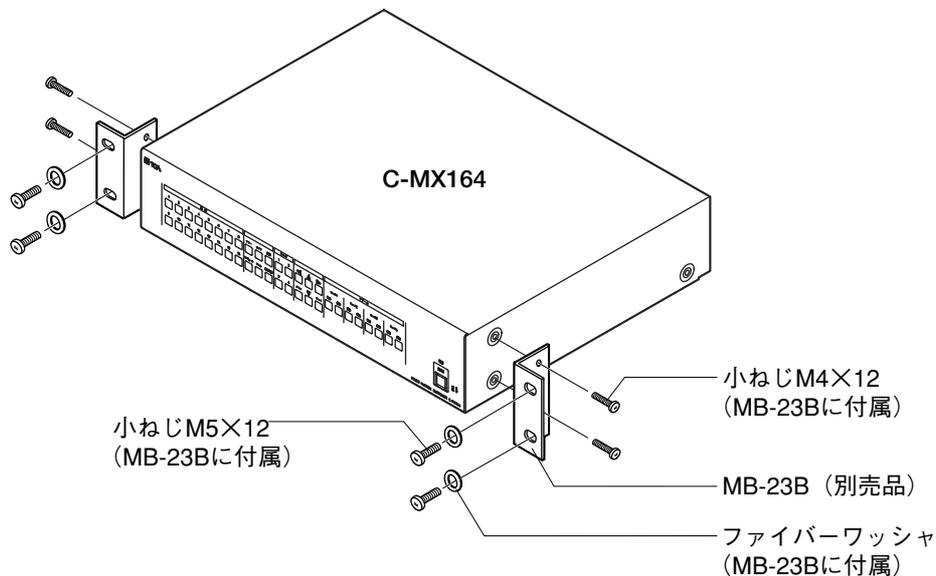


[日付／時刻の表示を消す場合]

通常どおり、電源を投入してください。モニタ1の日付／時刻表示が消えます。

ラックマウントのしかた

ラックに取り付けて使用にするときは、別売のラックマウント金具 MB-23B を使用してください。底面のプラスチック足（4個）を外してください。



設定項目の一覧

メニュー画面は、以下の設定項目を表示する画面により構成されます。

メニュー画面

メインメニュー (P. 43)

設定項目

- タイトル表示設定 (P. 44) カメラ・アラームのタイトル表示についての設定
 - タイトル表示位置 (P. 44) タイトル表示位置の設定
 - 表示内容 (P. 45) モニタ・カメラ番号、カメラタイトル、アラーム入力番号、およびアラームタイトルの表示、非表示についての設定
 - カメラタイトル (P. 46) カメラタイトル設定
 - アラームタイトル (P. 48) アラームタイトル設定
- 接続カメラ設定 (P. 54) 接続するカメラの種類の設定
- モニタ・カメラ設定 (P. 55) モニタ、カメラ間のアクセス制限の設定
- アラーム設定 (P. 57) アラーム時の動作内容の設定
 - 複数アラーム (P. 57) 複数アラーム検出時の動作の設定
 - アラーム入力 (P. 59) アラーム入力のモードとタイプの設定
 - アラーム出力 (P. 62) アラーム出力の設定
 - アラーム動作 (P. 64) アラーム入力時にどのモニタにどう表示させるかの設定
 - アラーム保留初期状態 (P. 66) 電源を入れたときのアラーム保留状態の設定
 - アラーム自動復帰時間 (P. 68) アラーム継続時間の設定
- シーケンス設定 (P. 69) シーケンスに関する動作の設定
 - ツアーシーケンス (P. 69) ツアーシーケンス時の動作の設定
 - 通常動作 (P. 72) 通常時の各モニタの動作の設定
 - 通常動作復帰時間 (P. 74) シーケンス時のカメラの動作の設定
- 時刻設定 (P. 75) 時刻の設定
- 短縮設定 (P. 78) 短縮番号の登録
- 動作履歴確認 (P. 81) 動作履歴の確認

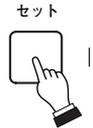
設定の前に

■ 設定の前に必要な作業

- カメラ、モニターテレビなど、使用するすべての機器を接続してください。(接続のしかた  P. 34)
- 本機および接続されているすべての機器の電源を「入 (ON)」にしてください。

■ メニュー画面に入るには

設定は、前面パネルのキーを操作して行います。
前面のセットキーを1秒以上押すと、メニュー画面に入ることができます。



■ メニュー画面の見かた

メニュー画面を起動させると、モニター1を選択した状態となり、モニター1にメニュー画面が表示されます。以降の設定は、モニター1の画面表示を見ながら行ってください。下図はメニュー画面の表示例です。

ご注意
メニュー画面を表示するモニターは、モニター1に固定されています。他のモニターに切り替えることはできません。モニター1以外の画面には、「セッテイ中」と表示されます。

■ 設定に使用するキー

設定には、前面パネルにある以下のキーを使用します。

テンキー (選択キー)
数字を入力するときには「10」を使用します。

シフトキー
◀：カーソルを左へ移動します。
▲：カーソルを上へ移動します。
▶：カーソルを右へ移動します。
▼：カーソルを下へ移動します。

セットキー
設定項目や内容を確定するときには使用します。

ご注意 選択キーの「11」～「16」は数字入力時に操作しても機能しません。

クリアキー
前画面または1つ前の状態に戻るときには使用します。誤入力時など、テンキーで入力した数字を確定前に消去するときにも使用します。

■ 設定時のご注意

メニュー画面起動中は、カメラの切り替えなどの動作すべてを完全に停止し、アラームも無視されます。メインメニュー画面でクリアキーを押してメニュー画面を終了させると、カメラの切り替えなどの動作を再開します。

メインメニューで設定項目を選択する

メニュー画面に入ると、メインメニュー画面が表示されます。

1 シフトキー（▲または▼）で、設定したい項目を点滅させる。

2 セットキーを押す。

選択した項目の設定画面が表示されます。

各設定画面での操作は、指定のページをお読みください。

「タイトルヒョウジ セッテイ」.....	P. 44
「接続カメラ セッテイ」	P. 54
「モニタ・カメラ セッテイ」.....	P. 55
「アラーム セッテイ」	P. 57
「シーケンス セッテイ」	P. 69
「ジコク セッテイ」.....	P. 75
「タンシュク セッテイ」	P. 78
「動作リレキ 確認」.....	P. 81

メインメニュー
タイトルヒョウジ セッテイ
接続カメラ セッテイ
モニタ・カメラ セッテイ
アラーム セッテイ
シーケンス セッテイ
ジコク セッテイ
タンシュク セッテイ
動作リレキ 確認

メインメニュー画面

メ モ

- メニューを起動したときは、「タイトルヒョウジ セッテイ」の項目が点滅しています。クリアキーで他の設定画面から戻ってきたときは前回選択されていた項目が点滅します。
- メインメニュー画面を表示しているときにクリアキーを押すと、メニュー画面が終了します。

タイトル表示の設定をする

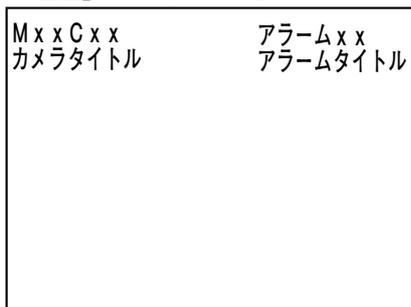
メインメニュー画面で「タイトルヒョウジ セッテイ」を選択すると、タイトル表示設定画面が表示されます。

■ タイトル表示位置を設定する

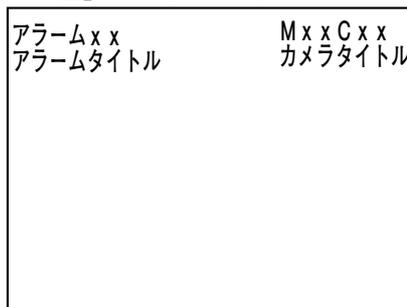
モニタ・カメラ番号、カメラタイトル、アラーム入力番号、およびアラームタイトルをモニタ画面のどの位置に表示させるかを設定します。「左下」「左上」「右下」「右上」から選択します。（工場出荷時は「左下」に設定されています。）

それぞれの設定による表示位置は下記ようになります。

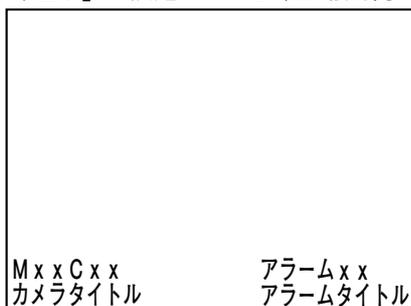
「左上」に設定したとき



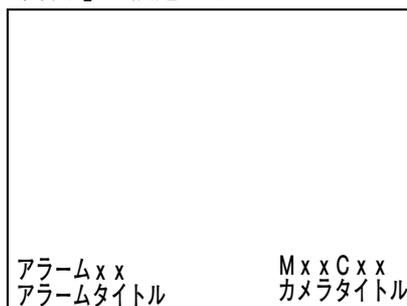
「右上」に設定したとき



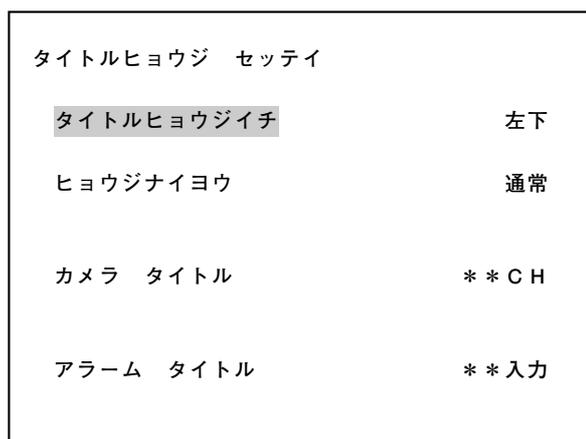
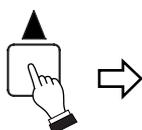
「左下」に設定したとき（工場出荷時）



「右下」に設定したとき



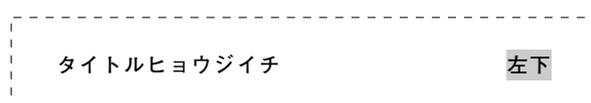
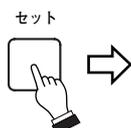
- 1 タイトル表示設定画面で、シフトキー（▲または▼）を押して、「タイトルヒョウジイチ」を点滅させる。



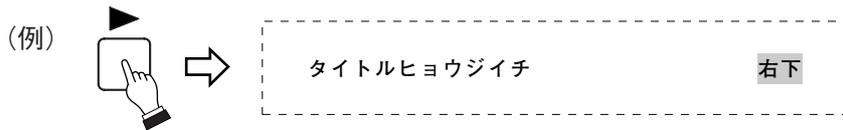
タイトル表示設定画面

- 2 セットキーを押す。

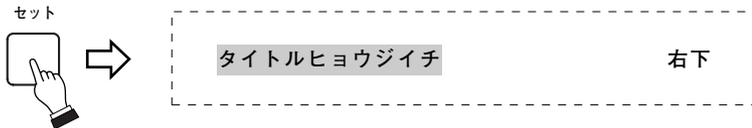
タイトル表示位置の設定内容（工場出荷時は「左下」）に点滅が移ります。



3 シフトキー（◀または▶）を押して、「左下」「左上」「右下」「右上」の中から選択したい内容を点滅表示させる。



4 セットキーを押す。
 選択した内容が確定し、「タイトルヒョウジイチ」に点滅が移ります。



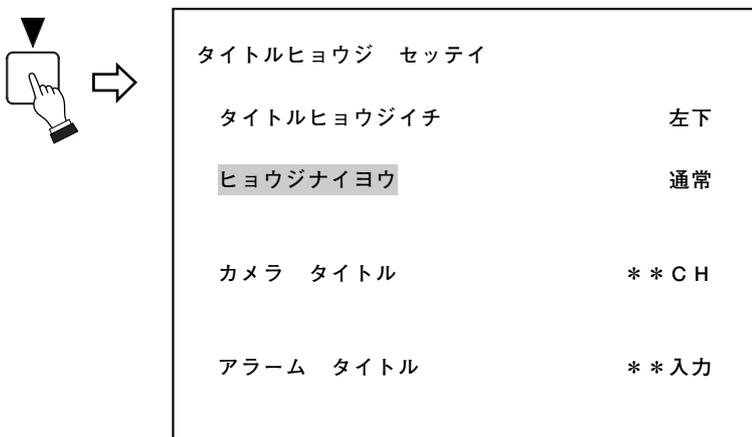
5 メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを押す。
 設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

■ 表示内容を設定する

モニタ・カメラ番号、カメラタイトル、アラーム入力番号、およびアラームタイトルをすべて表示させるか、カメラタイトルとアラームタイトルのみを表示させるか、何も表示させないかを設定します。「通常」「ショート」「OFF」から選択します。（工場出荷時は「通常」に設定されています。）
 それぞれの設定による表示は下記ようになります。（表示位置が「左下」のときの例）

「通常」に設定したとき(工場出荷時)	「ショート」に設定したとき	「OFF」に設定したとき
M x x C x x カメラタイトル	カメラタイトル	
アラーム x x アラームタイトル	アラームタイトル	

1 タイトル表示設定画面で、シフトキー（▲または▼）を押して、「ヒョウジナイヨウ」を点滅させる。



タイトル表示設定画面

- 2** セットキーを押す。
表示内容の設定内容（工場出荷時は「通常」）が点滅します。



- 3** シフトキー（◀または▶）を押して、「通常」「ショート」「OFF」から選択したい内容を点滅表示させる。



- 4** セットキーを押す。
選択した内容が確定し、「ヒョウジナイヨウ」に点滅が移ります。



- 5** メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを押す。
設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

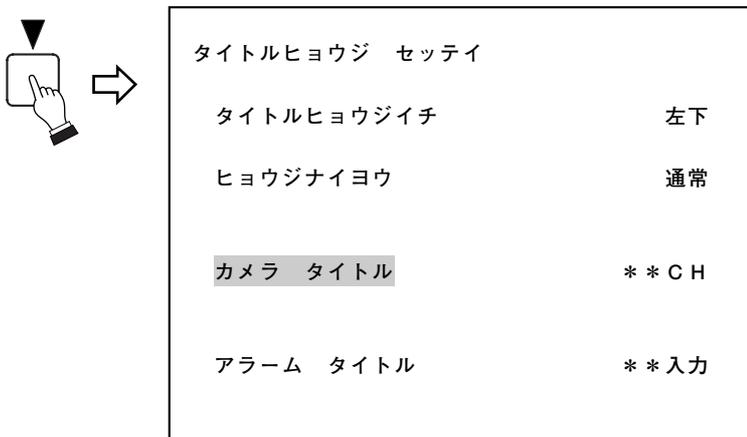
■ カメラタイトルを設定する

※ 工場出荷時は、各カメラのタイトルは「CAMERAx」(xxはカメラ番号)と設定されています。

メモ

接続カメラ設定（P. 54）に関係なく、カメラタイトルを設定することができます。

- 1** タイトル表示設定画面で、シフトキー（▲または▼）を押して、「カメラ タイトル」を点滅させる。

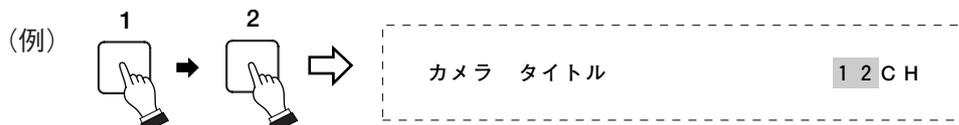


タイトル表示設定画面

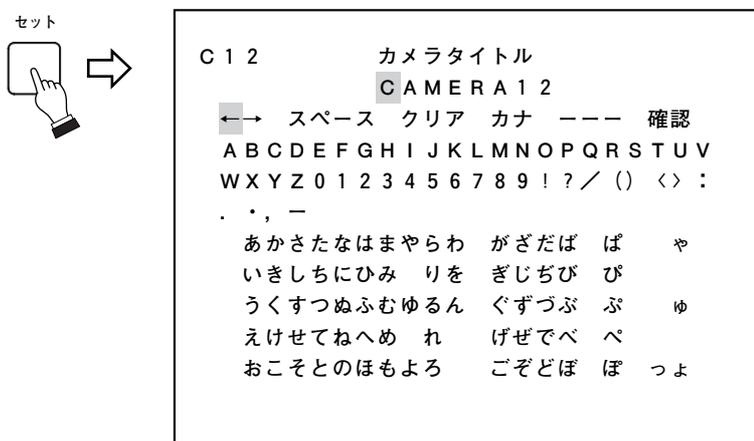
- 2** セットキーを押す。
カメラ番号を入力する位置（「**」部分）に点滅が移ります。



- 3** テンキーでタイトルを設定したいカメラのカメラ番号を入力する。
入力したカメラ番号が「**」の位置に右から順にシフトして表示されます。



- 4** セットキーを押す。
カメラタイトル設定画面が表示され、選択したカメラ番号が画面左上に「Cxx」と表示されます。同時に、メニュー画面の背景がブルーバックから選択されたカメラ映像に切り替わります。



カメラタイトル設定画面（ひらがな）

メモ

工場出荷時は、タイトル入力位置に「CAMERAxx」（xxはカメラ番号）と表示されています。

- 5** タイトル文字を入力する。
（入力のしかた Ⅱ P. 49）
タイトルが確定すると、カタカナ表示画面が3秒間表示された後、カメラ番号入力状態に戻ります。

- 6** 手順3～5を繰り返して、すべてのカメラ番号のタイトルを設定する。

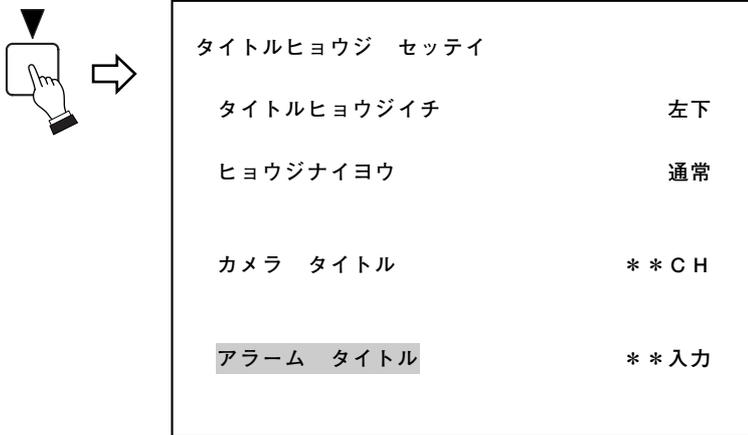
- 7** 前画面（または1つ前の状態）に戻るときは、クリアキーを押す。
メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを何度か押す。
設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

■ アラームタイトルを設定する

メ モ

工場出荷時は「ALARMxx *」（xxはアラーム入力番号）に設定されています。

1 タイトル表示設定画面で、シフトキー（▲または▼）を押して、「アラーム タイトル」を点滅させる。



タイトル表示設定画面

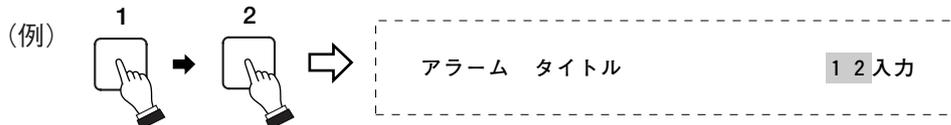
2 セットキーを押す。

アラーム番号を入力する位置（「**」部分）に点滅が移ります。



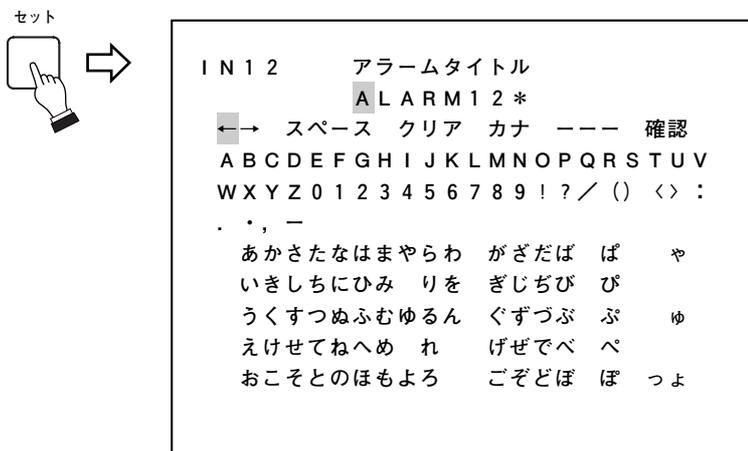
3 テンキーでタイトルを設定したいアラーム入力の番号を入力する。

入力した数字が「**」の位置に右からシフトして表示されます。



4 セットキーを押す。

アラームタイトル設定画面が表示され、選択したアラーム番号が画面左上に「INxx」（xxはアラーム入力番号）と表示されます。



アラームタイトル設定画面（ひらがな）

メ モ

工場出荷時はタイトル入力位置に「ALARMxx *」と表示されています。（xxはアラーム入力番号）

ご注意

- 入力できるアラーム入力の番号は1～32までです。それ以外は無効となります。
- アラーム入力のモードを「リモート」と設定されたアラームは、タイトルを設定しても、アラーム信号入力時にタイトルが画面に表示されません。

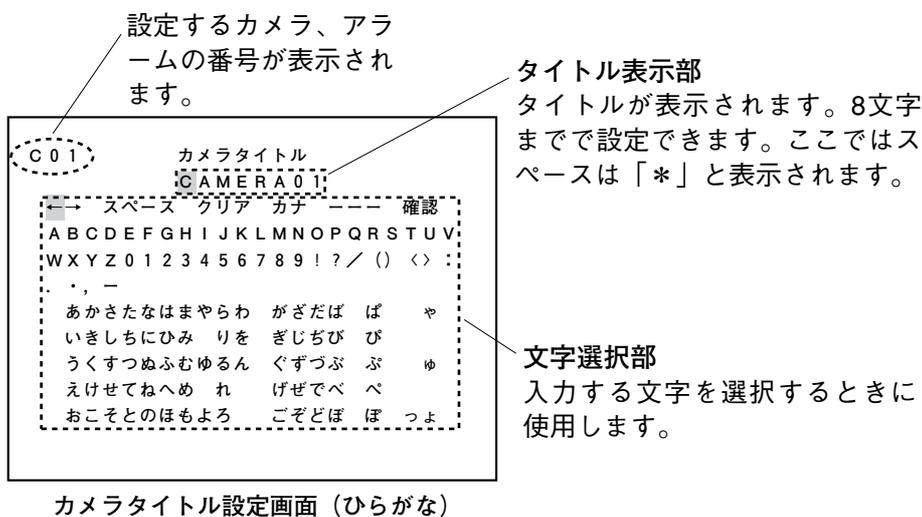
5 タイトル文字を入力する。
 (入力のしかた 次項)
 タイトルが確定すると、カタカナ表示画面が3秒間表示された後、アラーム入力番号入力状態に戻ります。

6 手順3～5を繰り返して、すべてのアラーム入力番号のタイトルを設定する。

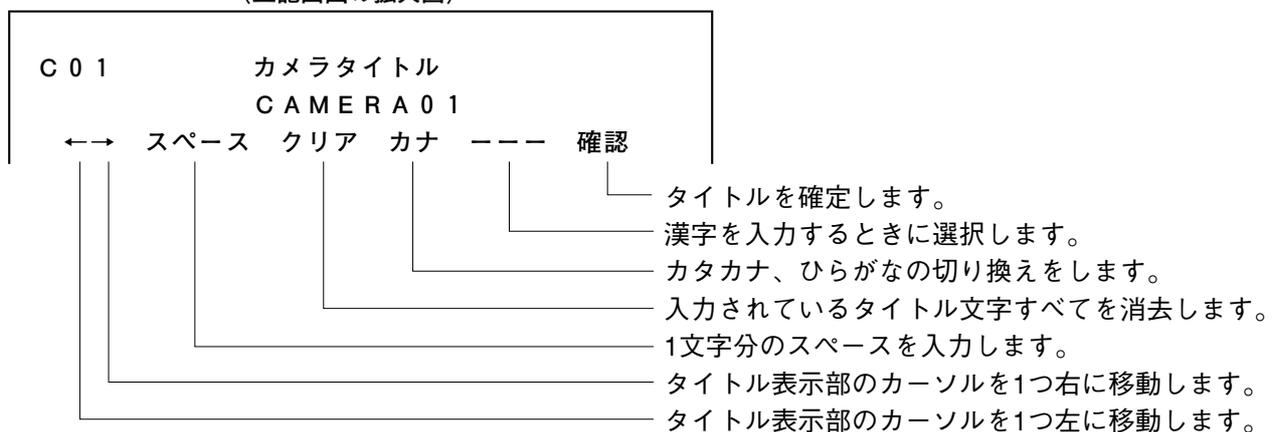
7 前画面（または1つ前の状態）に戻るときは、クリアキーを押す。
 メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを何度か押す。
 設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

■ タイトル文字を入力する

● タイトル設定画面の見かた



(上記画面の拡大図)



● シフトキーの操作とカーソルの動き

- ・タイトル設定画面では、タイトル表示部、文字選択部それぞれにカーソルがあり、カーソル位置が点滅しています。シフトキーを押すと、文字選択部のカーソルが移動します。
- ・シフトキーは4種類（▲：上、▼：下、◀：左、▶：右の4方向）あります。
- ・シフトキーによるカーソルの移動は、最初の1秒間は1コマ、それ以降は1秒間に3コマのスピードで移動します。画面表示の空白欄はその1コマがないものとして、次に移動します。
- ・タイトル表示部のカーソルは、文字選択部の文字などを点滅させてセットキーを押すと、1つ右に移動します。カーソルだけ移動させたいときは、「←」を選択してセットキーを押せば1つ左に、「→」を選択してセットキーを押せば1つ右に移動します。

● 入力できる文字

- ・カメラタイトル、アラームタイトルともに、最大8文字入力できます。
- ・ひらがな、カタカナ、英数字、一部の漢字を入力できます。

● 文字入力の基本操作

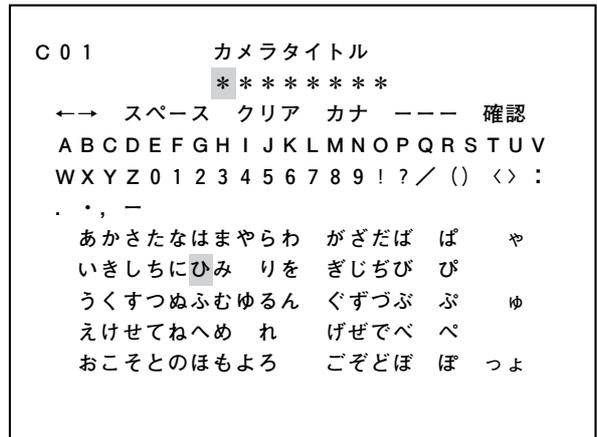
※ 以下の手順の画面表示は、カメラタイトルを「ひろば」に設定するときの例ですが、カメラタイトル、アラームタイトルともに、入力のしかたは同じです。

1 タイトル設定画面で、シフトキー（▲、▼、◀、または▶）を押して、入力したい文字を点滅させる。

メ モ

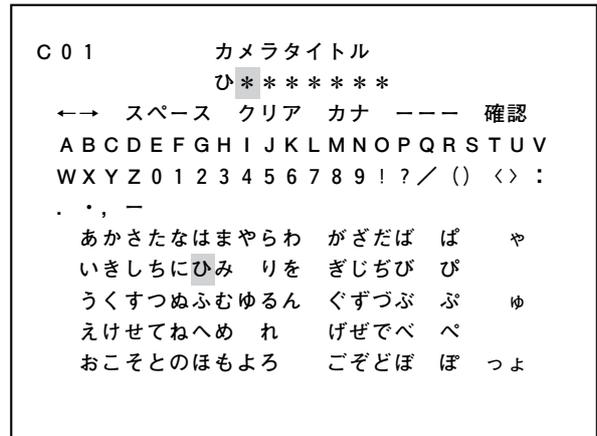
シフトキーによる文字選択部のカーソルの移動は4方向（▲：上、▼：下、◀：左、▶：右）です。

※ タイトルにカタカナを入力したいときの手順は P. 51 を、漢字を入力したいときの手順は P. 52 をお読みください。



2 セットキーを押す。

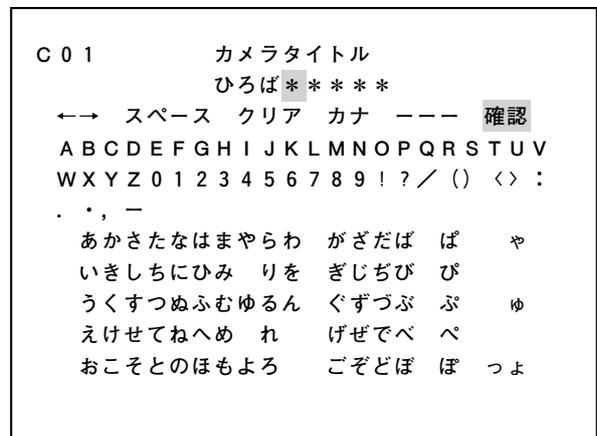
タイトル表示部のカーソル位置に、選択した文字が表示され、カーソルが1つ右に移動します。すでにその位置にタイトル文字が入力されていたときは、上書きされ、選択した文字に変わります。



3 手順1と2を繰り返して、タイトルを入力する。

4 タイトルを入力し終わったら、シフトキー（▲、▼、◀、または▶）を押して、文字選択部のカーソルを「確認」の位置に移動させ、セットキーを押す。

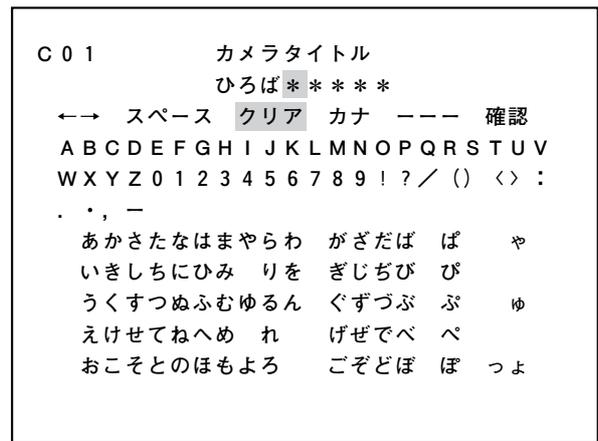
タイトルが確定します。



● 文字を修正するとき

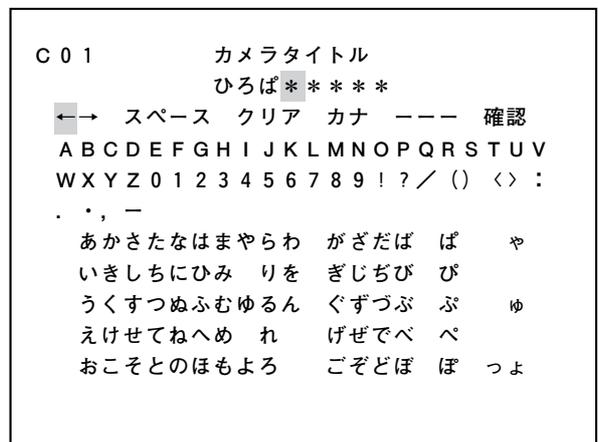
[すべての文字を消去して修正するとき]

- 1 タイトル設定画面で、シフトキー（▲、▼、◀、または▶）を押して、「クリア」を点滅させる。
- 2 セットキーを押す。
タイトル表示部の文字がすべて消去され、「*****」と表示されます。
- 3 前ページの文字入力の基本操作に従って文字を入力する。



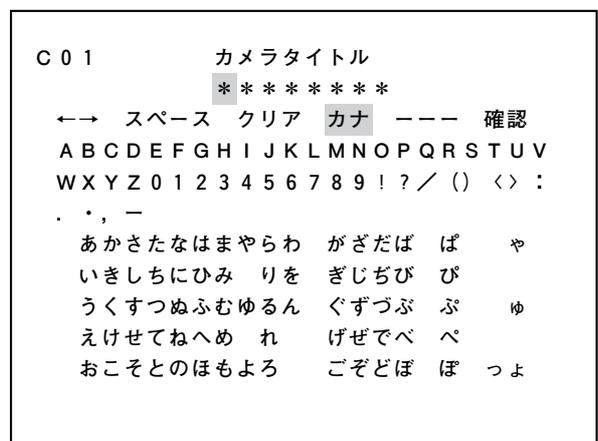
[修正したい文字だけを消去して修正するとき]

- 1 タイトル設定画面で、シフトキー（▲、▼、◀、または▶）を押して、「←」または「→」を点滅させる。
- 2 セットキーを押す。
タイトル表示部のカーソルが矢印の方向に1つ移動します。
- 3 手順1と2を繰り返して、タイトル表示部のカーソルを、修正したい文字の位置に移動させる。
- 4 前ページの文字入力の基本操作に従って文字を入力する。



● タイトルにカタカナを入力するとき

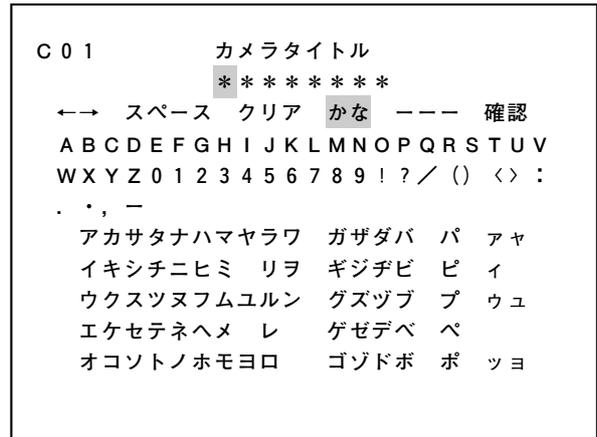
- 1 タイトル設定画面で、シフトキー（▲、▼、◀、または▶）を押して、「カナ」を点滅させる。



2 セットキーを押す。
タイトル設定画面の文字選択部がカタカナ表示に変わります。

3 ひらがなを入力するときと同様の手順でカタカナを入力する。

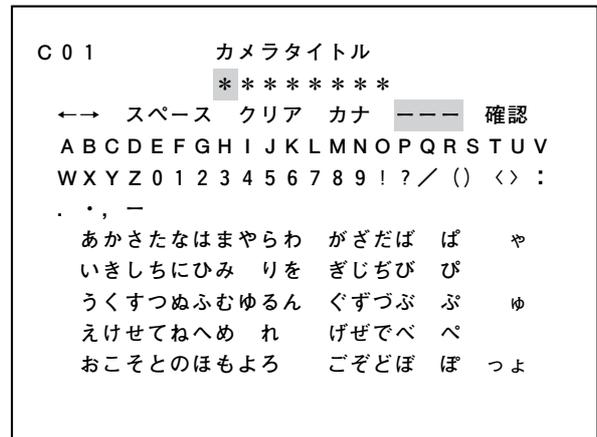
4 ひらがな表示の画面に戻すときは、「かな」を点滅させてセットキーを押す。



カメラタイトル設定画面 (カタカナ)

● タイトルに漢字を入力するとき

1 タイトル設定画面で、シフトキー (▲、▼、◀、または▶) を押して、「——」を点滅させる。

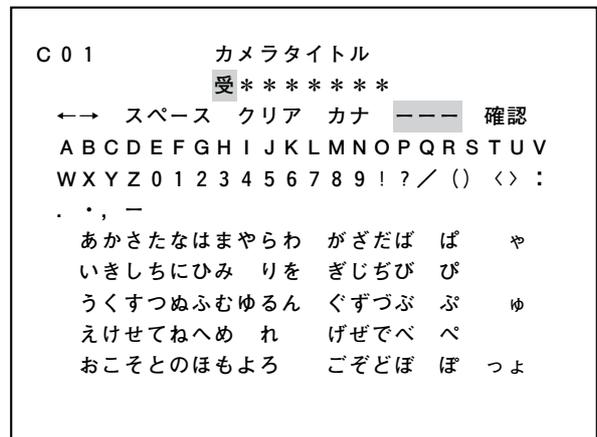


2 テンキーで漢字コードを入力する。
「——」部に、入力した数字が表示されます。
※ 265種類の漢字を入力できます。次ページの「漢字コード表」を参照してください。

3 セットキーを押す。
「——」部の数字が消えると同時に、入力した漢字コードに該当する漢字がタイトル表示部のカーソル位置に表示され、カーソルが1つ右に移動します。

メ モ

「漢字コード表」にない数字を入力したときは、「——」部の数字は消えますが、タイトル設定画面は変化しません。



● 漢字コード表

あ		い								う							え															
朝	案	異	井	医	家	育	院	員	上	受	後	内	器	裏	売	衛	映	煙														
040	209	063	110	258	147	257	102	195	009	144	006	017	014	012	085	096	219	051														
あさ	あん	い	い	いえ	いく	いん	いん	うえ	うけ	うしろ	うち	うつわ	うら	うり	えい	えい	えん															
え		お				か																										
宴	園	御	央	音	表	火	科	画	械	階	会	替	角	確	学	楽	壁	川														
105	265	218	022	172	011	136	180	126	030	072	106	037	029	159	116	123	111	048														
えん	えん	お	おう	おと	おもて	か	か	が	かい	かい	かい	かえ	かく	かく	がく	がく	かべ	かわ														
か						き																										
側	間	館	監	換	管	気	機	来	議	北	客	旧	究	共	教	局	近	金														
016	034	084	107	153	207	045	169	177	191	004	262	114	201	242	259	174	024	139														
がわ	かん	かん	かん	かん	かん	き	き	き	ぎ	きた	ぎゃく	ぎゅう	ぎゅう	ぎょう	ぎょう	ぎょく	ぎん	ぎん														
き		く							け																							
禁	銀	区	空	薬	口	国	車	郡	警	景	計	券	検	軒	研	験	県	元														
211	252	228	074	173	054	179	076	226	097	150	161	056	088	113	200	204	225	049														
ぎん	ぎん	く	くう	くすり	くち	くに	くるま	ぐん	けい	けい	けい	けん	けん	けん	けん	けん	けん	げん														
け				こ																												
玄	言	源	現	庫	故	子	午	娛	向	溝	工	校	公	交	高	行	号	合														
070	193	198	250	119	215	239	039	243	028	093	109	117	148	152	170	253	083	224														
げん	げん	げん	げん	こ	こ	こ	ご	ご	こう	ごう	ごう																					
さ							し																									
査	作	佐	災	再	察	皿	視	施	止	使	市	支	事	時	磁	自	式	下														
089	182	235	050	127	176	058	108	129	166	185	230	232	115	157	202	222	241	010														
さ	さ	さ	さい	さい	さつ	さら	し	し	し	し	し	し	じ	じ	じ	じ	しき	した														
し																																
室	実	島	舎	社	守	主	周	修	宿	出	準	所	書	小	商	消	障	照														
090	203	047	066	121	095	141	019	214	065	168	175	100	255	062	067	163	216	246														
しつ	じつ	しま	しゃ	しゃ	しゅ	しゅ	しゅ	しゅ	しゅく	しゅつ	じゅん	しょ	しょ	しょう	しょう	しょう	しょう	しょう														
し						す			せ																							
常	錠	食	新	診	す	水	数	正	生	静	制	関	席	設	接	栓	洗	専														
053	131	103	132	237	254	137	158	023	128	205	217	071	194	130	212	055	155	249														
じょう	じょう	しょく	しん	しん	ず	すい	すう	せい	せい	せい	せい	せき	せき	せつ	せつ	せん	せん	せん														
そ							た							ち																		
倉	操	総	像	続	外	村	待	体	大	台	第	棚	玉	短	段	地	治	中														
118	181	210	220	213	018	229	178	256	061	263	264	068	154	033	073	043	187	021														
そう	そう	そう	ぞう	ぞく	そと	そん	たい	たい	だい	だい	だい	たな	たま	たん	だん	ち	ち	ちゅう														
ち				つ				て				と																				
駐	長	庁	直	通	月	付	詰	手	停	天	電	土	灯	棟	当	凍	堂	動														
075	032	231	026	080	134	145	099	221	165	042	197	140	059	082	199	245	104	223														
ちゅう	ちゅう	ちゅう	ちよく	つう	つき	つけ	つめ	て	てい	てん	でん	ど	とう	とう	とう	とう	どう	どう														
と		な		に		西		入		庭		認		ね		は		ひ														
特	扉	供	波	荷	西	入	庭	認	年	場	灰	発	払	販	搬	番	非	日														
027	122	240	171	233	002	167	120	160	133	086	041	192	251	164	236	149	052	135														
とく	とびら	とも	なみ	に	にし	にゅう	にわ	にん	ねん	ば	はい	はつ	はらう	はん	はん	ばん	ひ	ひ														
ひ				ふ				へ				ほ																				
備	控	東	左	人	病	昼	広	品	便	部	副	分	別	辺	舗	保	放	方														
098	146	001	007	190	101	036	025	151	248	091	142	038	184	020	124	206	064	183														
び	ひかえ	ひがし	ひだり	ひと	びょう	ひる	ひろい	ひん	びん	ぶ	ふく	ふん	べつ	へん	ほ	ほ	ほう	ほう														
ほ			ま			み			む			め			も			や			ゆ											
防	本	前	町	窓	右	店	道	南	務	明	面	木	物	門	屋	役	油	郵														
057	238	005	227	094	008	087	092	003	143	188	015	138	234	069	112	196	060	247														
ぼう	ほん	まえ	まち	まど	みぎ	みせ	みち	みなみ	む	めい	めん	もく	もの	もん	や	やく	ゆ	ゆう														
よ			り			留			療			両			量			料			輪			れ			ろ			わ		
用	横	夜	理	立	流	留	療	両	量	料	輪	冷	路	廊	老	録	粹															
186	031	035	079	261	046	208	044	156	189	260	077	244	081	078	162	125	013															
よう	よこ	よる	り	りつ	りゅう	りゅう	りょう	りょう	りょう	りょう	りん	れい	ろ	ろう	ろう	ろく	わく															

接続するカメラの種類を設定する

メインメニュー画面で「接続カメラ セッテイ」を選択すると、接続カメラ設定画面が表示されます。各カメラ入力に、カメラを接続しないのか、または固定カメラを接続するのかを設定します。「カメラナシ」「コテイカメラ」から選択します。（工場出荷時は「コテイカメラ」に設定されています。）「カメラナシ」に設定すると、その番号のカメラを選択しても、その操作は無効になり、モニタ画面の表示は変化しません。

1 接続カメラ設定画面で、シフトキー（▲または▼）を押して、設定したいカメラの番号を点滅させる。

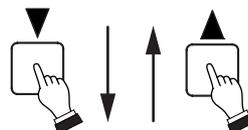
メモ

- 工場出荷時はカメラ番号1が点滅しています。
- カメラ番号8でシフトキー（▼）を押すと、カメラ番号9～16の設定画面に切り替わります。
- カメラ番号9でシフトキー（▲）を押すと、カメラ番号1～8の設定画面に切り替わります。

接続カメラ セッテイ

カメラNo	接続カメラ
0 1	コテイカメラ
0 2	コテイカメラ
0 3	コテイカメラ
0 4	コテイカメラ
0 5	カメラナシ
0 6	カメラナシ
0 7	カメラナシ
0 8	カメラナシ

接続カメラ設定画面（カメラ番号1～8）



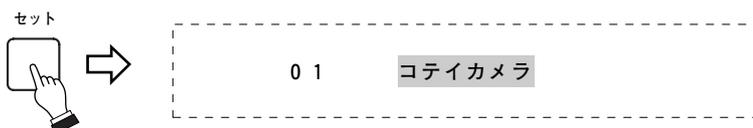
接続カメラ セッテイ

カメラNo	接続カメラ
0 9	コテイカメラ
1 0	コテイカメラ
1 1	コテイカメラ
1 2	コテイカメラ
1 3	コテイカメラ
1 4	コテイカメラ
1 5	コテイカメラ
1 6	コテイカメラ

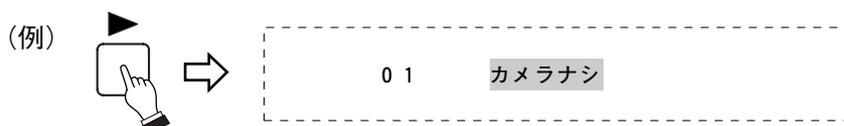
接続カメラ設定画面（カメラ番号9～16）

2 セットキーを押す。

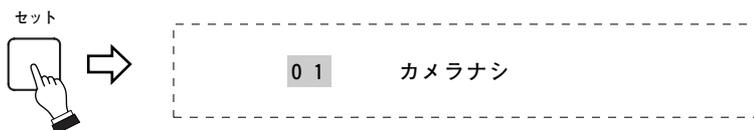
選択したカメラ番号の設定内容（工場出荷時はすべて「コテイカメラ」）に点滅が移ります。



3 シフトキー（◀または▶）を押して、「カメラナシ」「コテイカメラ」から選択したい内容を点滅表示させる。



- 4** セットキーを押す。
 選択した内容が確定し、カメラ番号に点滅が移ります。



- 5** 手順1～4を繰り返す。

- 6** メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを押す。
 設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

モニタ、カメラ間の制限を設定する

メインメニュー画面で「モニタ・カメラ セッテイ」を選択すると、モニタ・カメラ制限設定画面が表示されます。

各モニタに表示可能なカメラを設定します。

選択したモニタにおいて、各カメラの映像を表示できないようにするか、映像を表示できるようにするかを設定します。「○」「×」から選択します。（工場出荷時はすべて「○」に設定されています。）

「○」（通常）：そのカメラの映像をモニタに映すことができます。

「×」（映像禁止）：そのカメラの映像はそのモニタに表示できません。

- 1** モニタ・カメラ制限設定画面で、シフトキー（▲、▼、◀、または▶）を押して、設定したいモニタとカメラの設定内容の位置を点滅させる。

メモ

工場出荷時はモニタ番号1、カメラ番号1の設定内容（「○」）が点滅しています。また、すべてのモニタのすべてのカメラが「○」に設定されています。

モニタ・カメラセイゲン	
	カメラ
	1 1 1 1 1 1 1
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6
モニタ 1	○●○○○○○○○○○○○○○○××××××
モニタ 2	○○○○○○○××××××××××××
モニタ 3	○○○○○○○○○○○○○○○○○○
モニタ 4	○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○：通常 ×：映像禁止

モニタ・カメラ制限設定画面

- 2** セットキーを押す。
 カーソル位置が確定し、点灯に変わります。

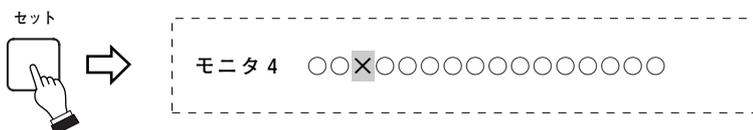


3 シフトキー（◀、または▶）を押して、「○」「×」から選択したい内容を表示させる。



4 セットキーを押す。

設定内容が確定し、再びカーソル位置が点滅して、カーソル位置を設定する状態となります。



5 手順1～4を繰り返す。

6 メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを押す。

設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

アラーム時の動作内容を設定する

メインメニュー画面で「アラーム セッテイ」を選択すると、アラーム設定画面が表示されます。

■ 複数アラーム時の動作を設定する

複数アラームを検出したときの動作を設定します。

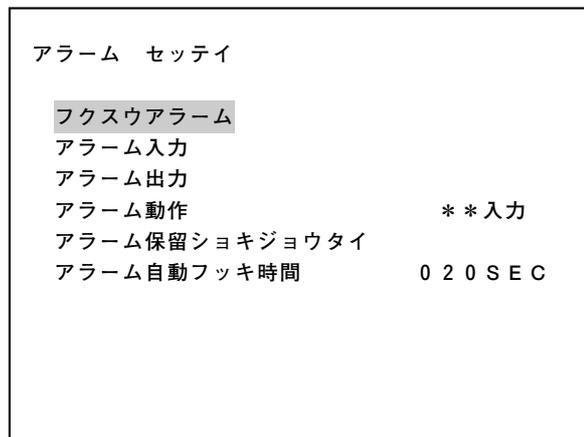
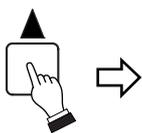
アラーム入力モード「非常AL」、「通常AL」に対し、優先方法、アラームシーケンスをする際のシーケンス時間を設定します。(アラーム入力モードについて P. 59)

優先方法は後優先か、シーケンスかを選択します。シーケンスを選択したときは、シーケンス時間を設定します。シーケンス時間は1～30秒の範囲で、1秒ステップで設定できます。(工場出荷時は非常AL、通常ALともに「後ユウセン」に設定されています。)

「後ユウセン」：後から検出されたアラームの映像が優先され、モニタに表示されます。「後ユウセン」に設定すると、シーケンス時間の選択はできません。

「シーケンス」：検出したアラームの映像すべてをシーケンス表示します。

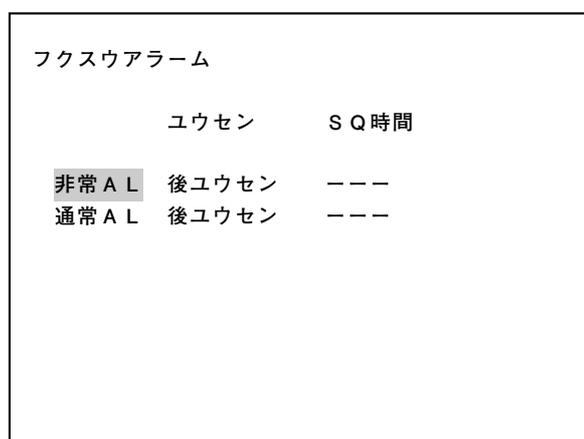
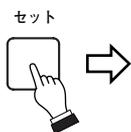
1 アラーム設定画面で、シフトキー（▲または▼）を押して、「フクスウアラーム」を点滅させる。



アラーム設定画面

2 セットキーを押す。

複数アラーム設定画面が表示されます。

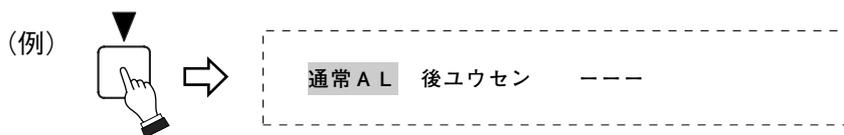


複数アラーム設定画面

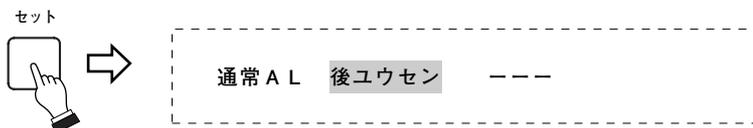
メモ

- 工場出荷時は「非常AL」が点滅しています。
- 「ユウセン」は優先方法を、「SQ時間」はシーケンス時間を表します。

3 シフトキー（▲または▼）を押して、設定したいモード（「非常AL」または「通常AL」）を点滅させる。



4 セットキーを押す。
選択したモードの優先方法の設定内容に点滅が移動します。



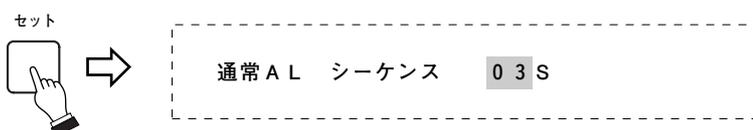
メモ

工場出荷時は非常AL、通常ALともに「後ユウセン」（シーケンス時間は「----」）に設定されています。

5 シフトキー（◀、または▶）を押して、「後ユウセン」「シーケンス」から選択したい内容を点滅表示させる。



6 セットキーを押す。
「後ユウセン」を選択したときはシーケンス時間は自動的に「----」表示となり、その項目の先頭（「非常AL」または「通常AL」）に点滅が移ります。手順8に進んでください。
「シーケンス」を選択したときは「SQ時間」の設定内容（工場出荷時は「03S」）の数字部分に点滅が移りますので、手順7に進んでください。



7 テンキーで時間を入力した後、セットキーを押す。
入力した数字が点滅部に右から順にシフトされて表示された後、確定するとその項目の先頭（「非常AL」または「通常AL」）に点滅が移ります。



メモ

入力できる範囲は0～30秒で、1秒ステップです。

8 前画面（または1つ前の状態）に戻るときは、クリアキーを押す。
メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを何度か押す。
設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

■ アラーム入力の設定をする

アラーム入力のモードとタイプを設定します。

モードは「非常AL」、「通常AL」、「リモート」があり、優先度を表します。タイプは「レベル」と「エッジ」があります。（工場出荷時はモード「通常AL」、タイプ「レベル」に設定されています。）

「非常AL」：最も重要度の高いアラームに対して適用します。通常AL以下のアラーム信号が入力されていても、後から非常ALに設定されたアラーム信号が入力されると、非常ALの映像が最優先で表示されます。このアラームは、あらかじめ保留することはできません。

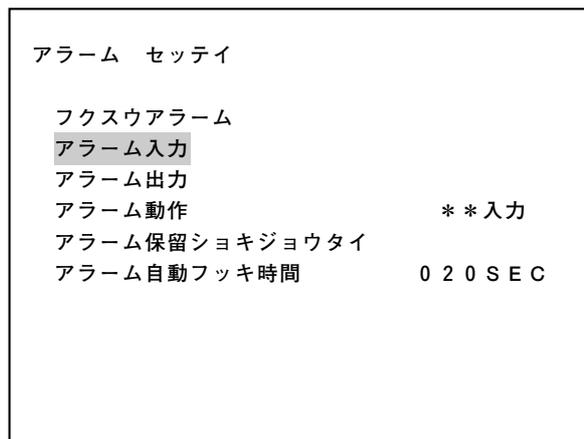
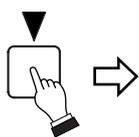
「通常AL」：非常ALより優先度の低いアラームとしての設定です。このアラームは、アラーム保留初期状態の設定やアラーム保留キーの操作により、あらかじめ保留することができます。

「リモート」：後優先処理として画面の切り替えのみを行います。非常ALまたは通常ALのアラーム信号がすでに入力されているときにリモートが入ると、リモートの映像に切り替わり、すでに入力されていたアラームは保留状態となります。

「レベル」：アラーム入力メイクしている間はアラームの動作となり、ブレイクになると同時にアラームが解除されます。アラーム解除キーの操作やアラーム自動復帰時間の設定は無効となります。

「エッジ」：アラーム入力メイクすると、アラーム自動復帰時間の秒数に達するか、アラーム解除キーの操作を行わない限り、アラームは起動したままになります。

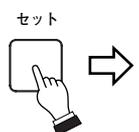
1 アラーム設定画面で、シフトキー（▲または▼）を押して、「アラーム入力」を点滅させる。



アラーム設定画面

2 セットキーを押す。

アラーム入力設定画面が表示されます。



アラーム入力		
IN	MODE	TYP
0 1	非常AL	レベル
0 2	非常AL	レベル
0 3	非常AL	エッジ
0 4	非常AL	エッジ
0 5	通常AL	エッジ
0 6	通常AL	レベル
0 7	リモート	レベル
0 8	リモート	エッジ

アラーム入力設定画面（入力番号1～8）

メ モ

- 工場出荷時は「IN」の「01」が点滅しています。
- 「IN」はアラーム入力番号を、「MODE」はモードを、「TYP」はタイプを表します。

3 シフトキー（▲または▼）を押して、設定したい入力番号を点滅させる。

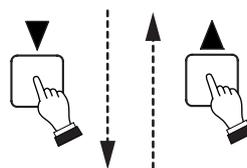
メモ

- 入力番号8でシフトキー（▼）を押すと、入力番号9～16の設定画面に切り替わり、入力番号9の位置が点滅します。
- 入力番号16でシフトキー（▼）を押すと入力番号17～24の設定画面に、シフトキー（▼）を押すと入力番号25～32の設定画面に切り替わります。
- 入力番号25でシフトキー（▲）を押すと入力番号17～24の設定画面に、入力番号17でシフトキー（▲）を押すと入力番号9～16の設定画面に、入力番号9でシフトキー（▲）を押すと入力番号1～8の設定画面に切り替わります。

アラーム入力

IN	MODE	TYP
01	非常AL	レベル
02	非常AL	レベル
03	非常AL	エッジ
04	非常AL	エッジ
05	通常AL	エッジ
06	通常AL	レベル
07	リモート	レベル
08	リモート	エッジ

アラーム入力設定画面（入力番号1～8）



アラーム入力

IN	MODE	TYP
25	非常AL	レベル
26	非常AL	レベル
27	非常AL	エッジ
28	非常AL	エッジ
29	通常AL	エッジ
30	通常AL	レベル
31	リモート	レベル
32	リモート	エッジ

アラーム入力設定画面（入力番号25～32）

4 セットキーを押す。

選択した入力番号のモードの設定内容に点滅が移動します。



メモ

工場出荷時はすべて「通常AL」に設定されています。

5 シフトキー（◀、または▶）を押して、「通常AL」「非常AL」「リモート」から選択したい内容を点滅表示させる。



- 6** セットキーを押す。
選択した入力番号のタイプの設定内容に点滅が移動します。



メモ

工場出荷時はすべて「レベル」に設定されています。

- 7** シフトキー（◀、または▶）を押して、「レベル」「エッジ」から選択したい内容を点滅表示させる。



- 8** セットキーを押す。
選択した入力番号の位置に点滅が戻ります。



- 9** 手順3～8を繰り返す。

- 10** 前画面（または1つ前の状態）に戻るときは、クリアキーを押す。
メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを何度か押す。
設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

■ アラーム出力の設定をする

アラーム信号が入力されたときに、どのアラーム出力端子に出力させるかを設定します。「×」「○」から選択します。(工場出荷時はすべて「×」に設定されています。)

「×」：アラーム出力端子に出力しない。

「○」：アラーム出力端子に出力する。

なお、アラーム入力のモードを「非常AL」または「通常AL」と設定されたアラームの場合は、指定されたモニタがアラーム状態になったときに、下記のとおり、アラーム出力 モニタ1～4に自動的に出力されます。

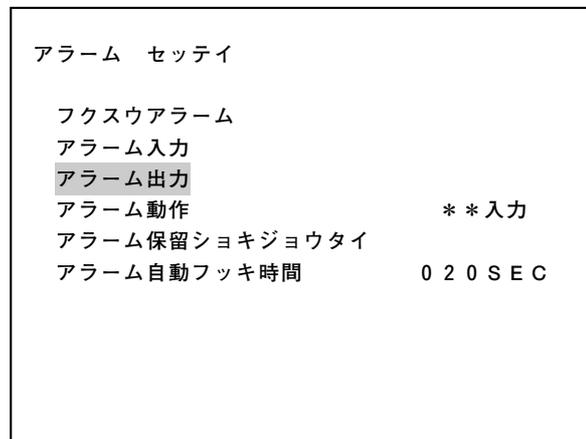
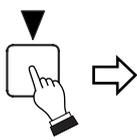
モニタ1 → アラーム出力 モニタ1 (ピン番号14)

モニタ2 → アラーム出力 モニタ2 (ピン番号15)

モニタ3 → アラーム出力 モニタ3 (ピン番号16)

モニタ4 → アラーム出力 モニタ4 (ピン番号17)

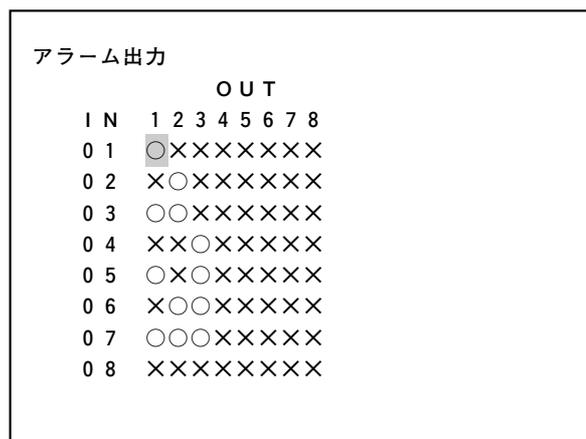
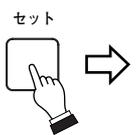
1 アラーム設定画面で、シフトキー (▲または▼) を押して、「アラーム出力」を点滅させる。



アラーム設定画面

2 セットキーを押す。

アラーム出力設定画面が表示されます。



アラーム出力設定画面 (入力番号1～8)

× モ

- 工場出荷時はアラーム入力番号01、アラーム出力番号1の設定内容 (工場出荷時は「×」) が点滅しています。
- 「IN」はアラーム入力番号を、「OUT」はアラーム出力番号を表します。

3 シフトキー（▲、▼、◀、または▶）を押して、設定したいアラーム入力とアラーム出力の設定内容を点滅させる。

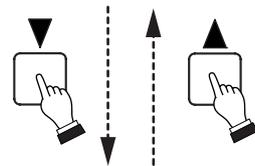
メ モ

- アラーム入力番号8のときにシフトキー（▼）を押すと、アラーム入力番号9～16の設定画面に切り替わります。
- アラーム入力番号16のときにシフトキー（▼）を押すとアラーム入力番号17～24の設定画面に、アラーム入力番号24のときにシフトキー（▼）を押すとアラーム入力番号25～32の設定画面に切り替わります。
- アラーム入力番号25のときにシフトキー（▲）を押すとアラーム入力番号17～24の設定画面に、アラーム入力番号17のときにシフトキー（▲）を押すとアラーム入力番号9～16の設定画面に、アラーム入力番号9のときにシフトキー（▲）を押すとアラーム入力番号1～8の設定画面に切り替わります。

アラーム出力

	OUT							
IN	1	2	3	4	5	6	7	8
01	●	×	×	×	×	×	×	×
02	×	○	×	×	×	×	×	×
03	○	○	×	×	×	×	×	×
04	×	×	○	×	×	×	×	×
05	○	×	○	×	×	×	×	×
06	×	○	○	×	×	×	×	×
07	○	○	○	×	×	×	×	×
08	×	×	×	×	×	×	×	×

アラーム出力設定画面（入力番号1～8）



アラーム出力

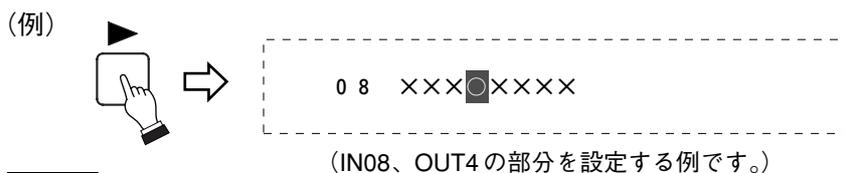
	OUT							
IN	1	2	3	4	5	6	7	8
25	●	×	×	×	×	×	×	×
26	×	○	×	×	×	×	×	×
27	○	○	×	×	×	×	×	×
28	×	×	○	×	×	×	×	×
29	○	×	○	×	×	×	×	×
30	×	○	○	×	×	×	×	×
31	○	○	○	×	×	×	×	×
32	×	×	×	○	×	×	×	×

アラーム出力設定画面（入力番号25～32）

4 セットキーを押す。
カーソル位置が確定し、点灯に変わります。



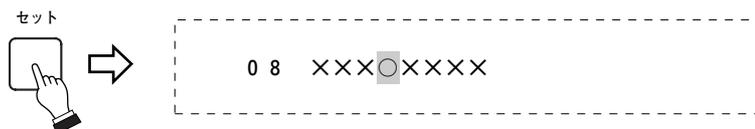
5 シフトキー（◀、または▶）を押して、「X」「O」から選択したい内容を表示させる。



メ モ

工場出荷時はすべて「X」に設定されています。

- 6** セットキーを押す。
設定内容が確定し、再びカーソル位置が点滅して、カーソル位置を設定する状態になります。



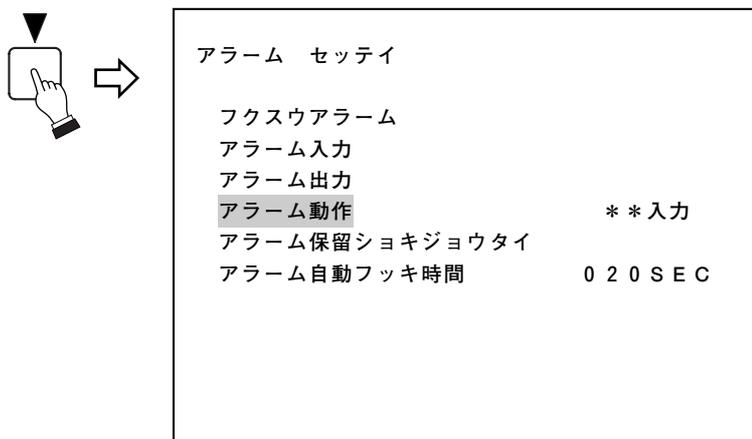
- 7** 手順3～6を繰り返す。

- 8** 前画面（または1つ前の状態）に戻るときは、クリアキーを押す。
メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを何度か押す。
設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

■ アラーム動作の設定をする

アラーム信号が入力されたときに、どのモニタにどのように表示させるかを設定します。
ツアーシーケンスに設定する、またはカメラを選択することができます。（工場出荷時は何も設定されていません。何も設定されていないときはテストシーケンスになります。）

- 1** アラーム設定画面で、シフトキー（▲または▼）を押して、「アラーム動作」を点滅させる。



アラーム設定画面

- 2** セットキーを押す。
「**入力」の「**」の部分に点滅が移ります。



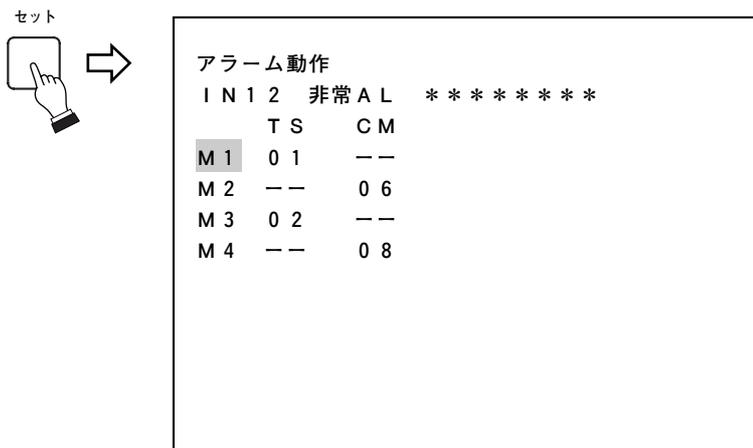
- 3** 設定したいアラーム入力番号をテンキーで入力する。
 入力した数字が「**」部に右から順にシフトされて表示されます。



ご注意

入力できるアラーム入力の番号は1～32までです。それ以外は無効となります。

- 4** セットキーを押す。
 設定したいアラーム入力番号のアラーム動作設定画面が表示されます。



アラーム動作設定画面

メ モ

- 画面2行目の「INxx」はアラーム入力番号を表します。その右に設定されているモード、アラームタイトルが表示されます。
- 「Mx」はモニタ番号、「TS」はツアーシーケンス番号、「CM」はカメラ番号を表します。
- 工場出荷時は、「M1」が点滅しています。
- 工場出荷時はすべて「--」となっており、何も設定されていません。

- 5** シフトキー（▲または▼）を押して、設定したいモニタ番号を点滅させる。

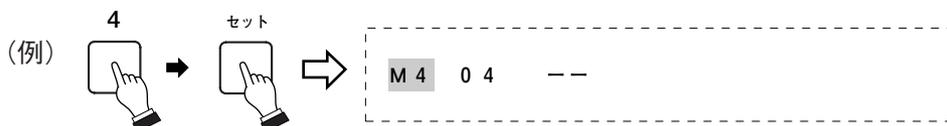


- 6** セットキーを押す。
 「TS」の設定内容が点滅します。

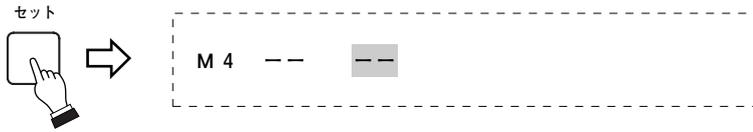


- 7** ツアーシーケンス番号を設定する。

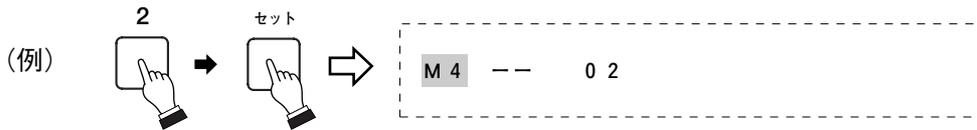
- 7-1** ツアーシーケンスに設定する場合は、テンキーでツアーシーケンス番号を入力し、セットキーを押す。
 入力した数字が「TS」の「--」部に右から順にシフトされて表示され、確定すると「CM」の項目は自動的に「--」となり、モニタ番号の位置に点滅が移ります。
 設定を続けるときは、手順5以降を繰り返してください。



7-2 カメラを選択する場合、「TS」の項目が「ー」のときは、セットキーを押す。すでにツアーシーケンス番号が割り当てられているときは、テンキー「10」(0)を入力した後、セットキーを押す。「TS」の項目が「ー」に確定し、「CM」の設定内容に点滅が移ります。手順8に進んでください。



8 カメラ番号をテンキーで入力した後、セットキーを押す。入力した数字が「CM」の「ー」部に右から順にシフトされて表示された後、確定するとモニタ番号の位置に点滅が移ります。設定を続けるときは、手順5以降を繰り返してください。



ご注意

入力できるカメラ番号は1～16までです。それ以外は無効となります。

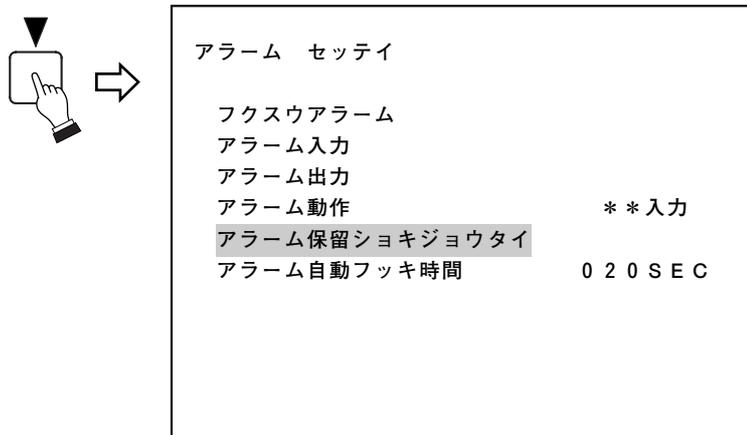
9 前画面（または1つ前の状態）に戻るときは、クリアキーを押す。メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを何度か押す。設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

■ アラーム保留初期状態を設定する

本機の電源を入れたときのアラーム保留状態をモニタごとに設定することができます。「アラーム」「保留」から選択します。（工場出荷時はすべて「アラーム」に設定されています。）

- 「アラーム」：アラーム信号が入力されると、アラーム動作に切り替わります。
- 「保留」：モードを通常ALと設定されたアラーム信号が入力されたときに、アラーム動作に切り替わらず、アラーム保留状態になります。アラーム保留状態になると、モニタには「アラーム保留」と表示されます。モードを非常ALと設定されたアラーム信号が入力されたときは、アラーム動作に切り替わります。

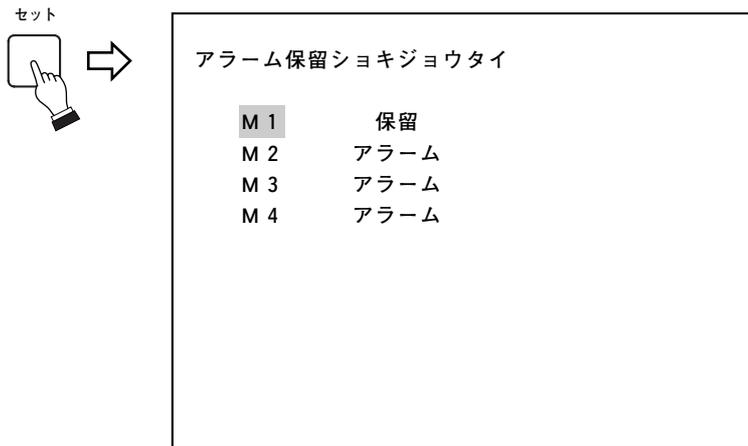
1 アラーム設定画面で、シフトキー（▲または▼）を押して、「アラーム保留シヨキジョウタイ」を点滅させる。



アラーム設定画面

2 セットキーを押す。

アラーム保留初期状態設定画面が表示されます。

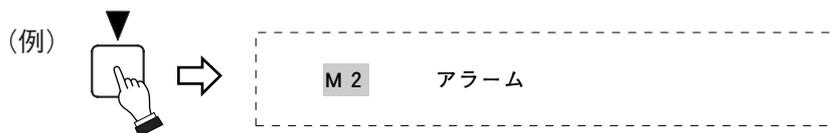


アラーム保留初期状態設定画面

メモ

- 「Mx」はモニタ番号を表します。
- 工場出荷時は、「M1」が点滅しています。

3 シフトキー（▲または▼）を押して、設定したいモニタ番号を点滅させる。



4 セットキーを押す。 設定内容が点滅します。



メモ

工場出荷時はすべて「アラーム」に設定されています。

5 シフトキー（◀、または▶）を押して、「アラーム」「保留」から選択したい内容を点滅表示させる。



6 セットキーを押す。 設定内容が確定し、モニタ番号の位置に点滅が移ります。



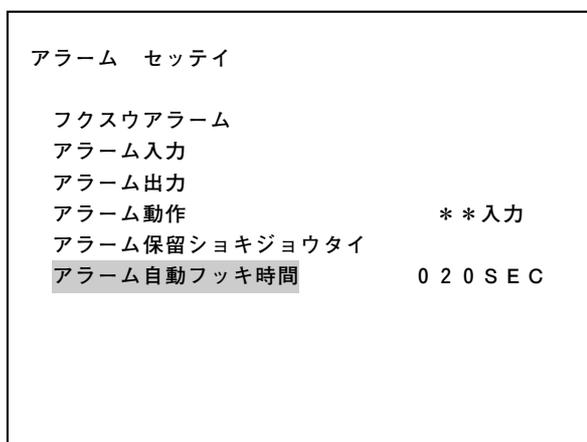
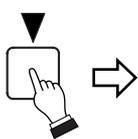
7 手順3～6を繰り返す。

8 前画面（または1つ前の状態）に戻るときは、クリアキーを押す。
メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを何度か押す。
設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

■ アラーム自動復帰時間を設定する

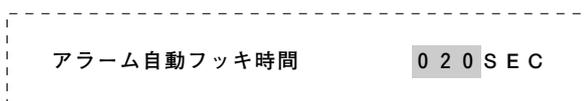
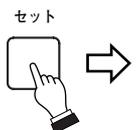
タイプがエッジに設定されているアラーム入力のアラーム継続時間を設定します。（工場出荷時は20秒に設定されています。）

1 アラーム設定画面で、シフトキー（▲または▼）を押して、「アラーム自動フッキ時間」を点滅させる。



アラーム設定画面

2 セットキーを押す。
「SEC」の前の数字に点滅が移ります。

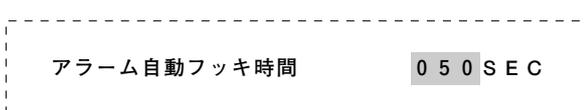
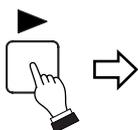


メモ

工場出荷時は20秒に設定されています。

3 シフトキー（◀、または▶）を押して、設定したい時間を表示させます。

（例）

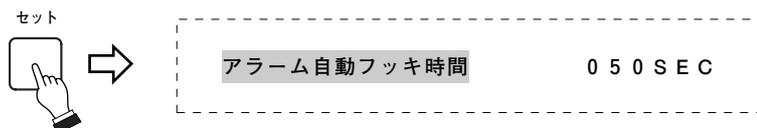


メモ

シフトキー（▶）を押すと10秒単位で時間が増えていき、シフトキー（◀）を押すと、10秒単位で減っていきます。設定範囲は、10～300秒とOFFです。300の次がOFFになります。

4 セットキーを押す。

設定内容が確定し、「アラーム自動フッキ時間」に点滅が移ります。



5 メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを押す。

設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

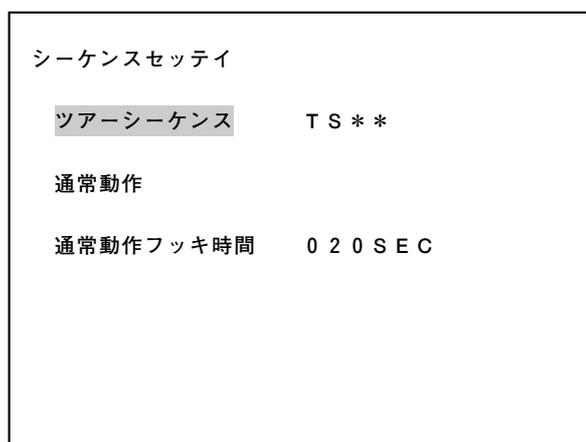
シーケンスの設定をする

メインメニュー画面で「シーケンス セットイ」を選択すると、シーケンス設定画面が表示されます。

■ ツアーシーケンスの設定をする

ツアーシーケンスは、複数のカメラ映像を指定秒数間隔で連続的に切り替える機能です。指定する単位は1オーダーで、1オーダーの要素は、カメラ番号と表示秒数です。1つのツアーシーケンスに16オーダーまで指定でき、全部で32通りのツアーシーケンスのパターンを設定することができます。（工場出荷時は何も設定されていません。）

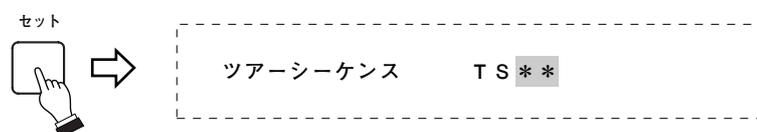
1 シーケンス設定画面で、シフトキー（▲または▼）を押して、「ツアーシーケンス」を点滅させる。



シーケンス設定画面

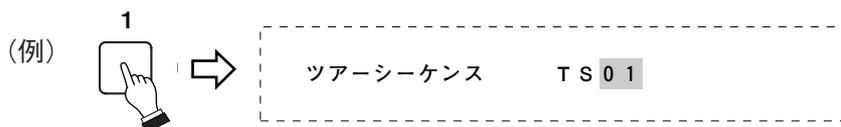
2 セットキーを押す。

「TS**」の「**」に点滅が移ります。



3 設定したいツアーシーケンス番号をテンキーで入力する。

入力した数字が「**」部に右から順にシフトして表示されます。

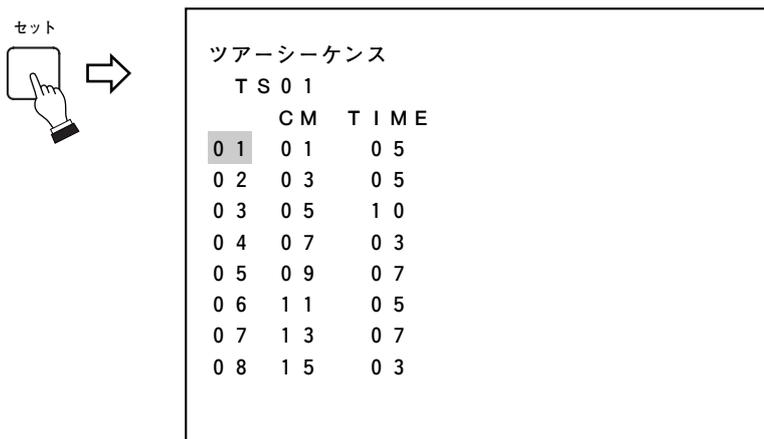


ご注意

入力できるツアーシーケンスの番号は1～32までです。それ以外は無効となります。

4 セットキーを押す。

選択したツアーシーケンス番号のツアーシーケンス設定画面が表示されます。



ツアーシーケンス設定画面（オーダー番号1～8）

メモ

- 「TSxx」は設定するツアーシーケンス番号、画面左端の数字はオーダー番号、「CM」はカメラ番号、「TIME」は表示秒数を表します。
- 工場出荷時は「01」が点滅しています。
- 工場出荷時はすべて「—」となっており、何も設定されていません。

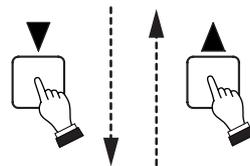
5 シフトキー（▲または▼）を押して、設定したいオーダー番号を点滅させる。

メモ

- オーダー番号8でシフトキー（▼）を押すと、オーダー番号9～16の設定画面に切り替わります。
- オーダー番号9でシフトキー（▲）を押すと、オーダー番号1～8の設定画面に切り替わります。

ツアーシーケンス		
T S 0 1		
	CM	T I M E
0 1	0 1	0 5
0 2	0 3	0 5
0 3	0 5	1 0
0 4	0 7	0 3
0 5	0 9	0 7
0 6	1 1	0 5
0 7	1 3	0 7
0 8	1 5	0 3

ツアーシーケンス設定画面（オーダー番号1～8）

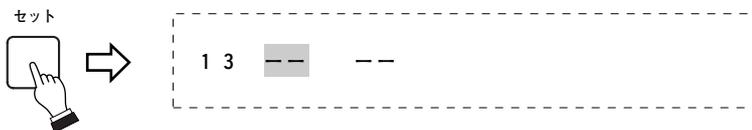


ツアーシーケンス		
T S 0 1		
	CM	T I M E
0 9	0 2	0 5
1 0	0 4	0 5
1 1	0 6	0 4
1 2	0 7	0 6
1 3	--	--
1 4	--	--
1 5	--	--
1 6	--	--

ツアーシーケンス設定画面（オーダー番号9～16）

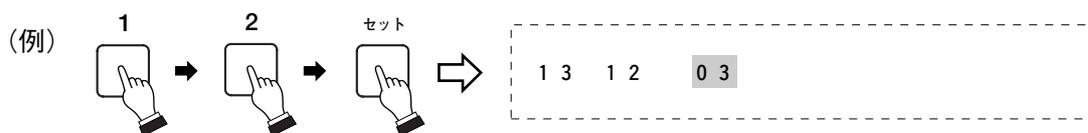
6 セットキーを押す。

設定するオーダー番号が確定し、「CM」の設定内容に点滅が移ります。



7 テンキーでカメラ番号を入力した後セットキーを押す。

入力した数字が右から順にシフトして「--」部に表示された後、確定すると「TIME」の設定内容に点滅が移ります。このとき、「TIME」の設定内容は「--」から「03」（工場出荷時）に変わります。



ご注意

- 入力できるカメラ番号は1～16までです。
- 「0」に設定すると、カメラ指定なしとなり、「--」と表示されて、オーダー番号の位置に点滅が移ります。設定を続けるときは、手順5以降を繰り返してください。
- 17以上の数字を入力すると、無効となります。

- 8** テンキーでシーケンス時間を入力し、セットキーを押す。
シーケンス時間が確定し、オーダー番号の位置に点滅が移ります。



メモ

入力できる範囲は0～30秒で、1秒ステップで設定できます。「0」に設定すると、実行時にスキップされます。

- 9** 手順5以降を繰り返す。

- 10** 前画面（または1つ前の状態）に戻るときは、クリアキーを押す。

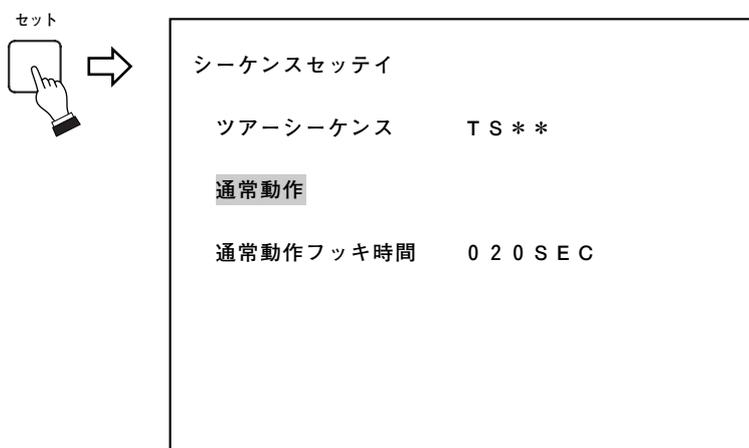
メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを何度か押す。

設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

■ 通常動作を設定する

アラーム信号が入力されておらず、前面キーでのマニュアル操作もされていない状態での、各モニタの動作を設定します。各モニタにはツアーシーケンス番号またはカメラ番号が設定できます。（工場出荷時は何も設定されていません。何も設定されていないときはテストシーケンスになります。）

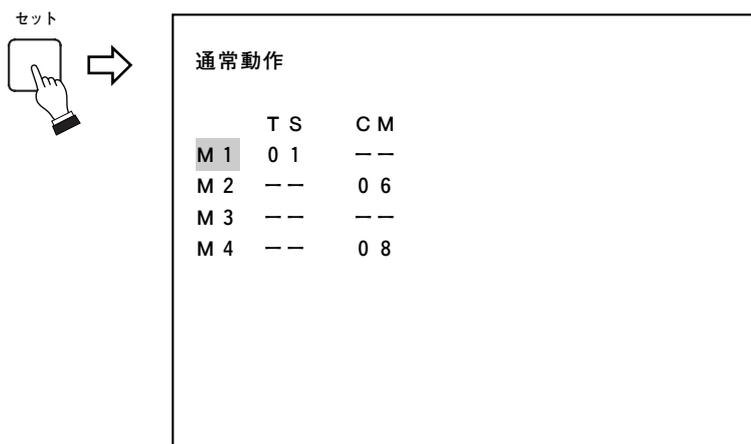
- 1** シーケンス設定画面で、シフトキー（▲または▼）を押して、「通常動作」を点滅させる。



シーケンス設定画面

2 セットキーを押す。

通常動作設定画面が表示されます。

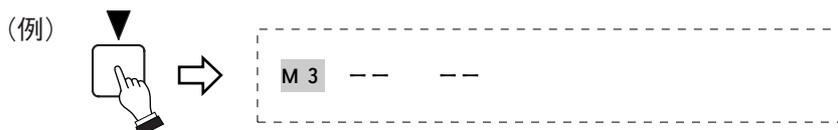


通常動作設定画面

メモ

- 「Mx」はモニタ番号、「TS」はツアーシーケンス番号、「CM」はカメラ番号を表します。
- 工場出荷時は、「M1」の位置が点滅しています。
- 工場出荷時はすべて「--」となっており、何も設定されていません。

3 シフトキー（▲または▼）を押して、設定したいモニタ番号を点滅させる。



4 セットキーを押す。

「TS」の設定内容に点滅が移ります。

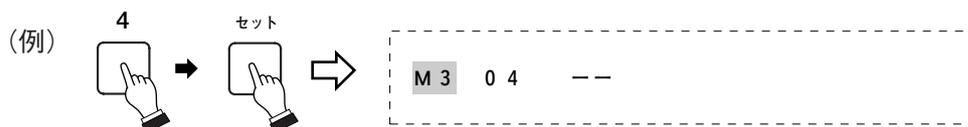


5 ツアーシーケンス番号を設定する。

5-1 ツアーシーケンスに設定する場合は、テンキーでツアーシーケンス番号を入力し、セットキーを押す。

入力した数字が「TS」の「--」部に右から順にシフトして表示され、確定すると「CM」の項目は自動的に「--」となって、モニタ番号の位置に点滅が移ります。

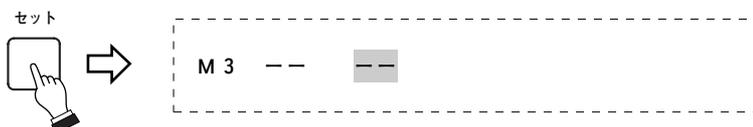
設定を続けるときは、手順3以降を繰り返してください。



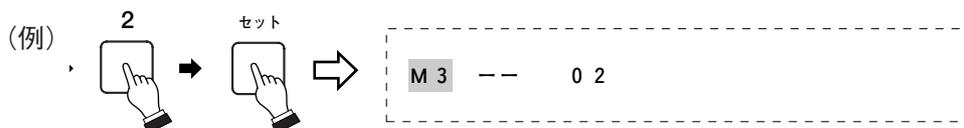
5-2 カメラを選択する場合は、「TS」の項目が「--」のときは、セットキーを押す。すでにツアーシーケンス番号が割り当てられているときは、テンキーで「10」（0）を入力した後、セットキーを押す。

「TS」の項目が「--」に確定し、「CM」の設定内容に点滅が移ります。

手順6に進んでください。



- 6** カメラ番号をテンキーで入力した後、セットキーを押す。
 入力した数字が「CM」の「--」部に右から順にシフトして表示され、確定するとモニタ番号の位置に点滅が移ります。
 設定を続けるときは、手順3以降を繰り返してください。



ご注意

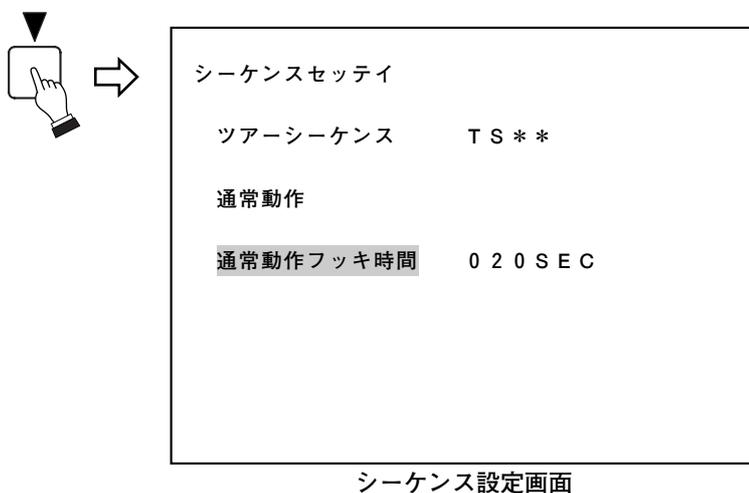
入力できるカメラ番号は1～16までです。それ以外は無効となります。

- 7** 前画面（または1つ前の状態）に戻るときは、クリアキーを押す。
 メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを何度か押す。
 設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

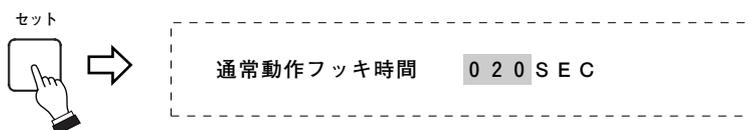
■ 通常動作復帰時間を設定する

前面キーでマニュアル操作をしたときに、通常動作（シーケンス設定の「通常動作」で設定された動作）に戻るまでの時間を設定します。（工場出荷時は20秒に設定されています。）

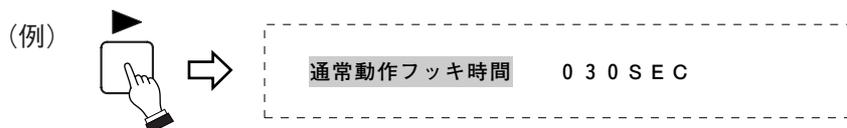
- 1** シーケンス設定画面で、シフトキー（▲または▼）を押して、「通常動作フッキ時間」を点滅させる。



- 2** セットキーを押す。
 通常動作復帰時間の秒数指定位置（工場出荷時は「020SEC」の「020」）に点滅が移ります。



- 3** シフトキー（◀、または▶）を押して設定したい時間を表示させ、セットキーを押す。
確定した時間が表示され、「通常動作フッキ時間」に点滅が移ります。



メモ

シフトキー（▶）を押すと10秒単位で時間が増えていき、シフトキー（◀）を押すと、10秒単位で減っていきます。設定範囲は、10～300秒とOFFです。300の次がOFFになります。

- 4** メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを押す。
設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

時刻の設定をする

メインメニュー画面で「ジコク セッテイ」を選択すると、時刻設定画面が表示されます。このとき、年の項目が点滅しています。

ジコクセッテイ

2 0 0 0 年	0 1 月	0 1 日
0 0 時	0 0 分	0 0 S

スタート

時刻設定画面

現在の年月日と時刻を設定します。

ご注意

カレンダー以外の日時などを入力すると、無効となります。

1 テンキーで年を入力し、セットキーを押す。

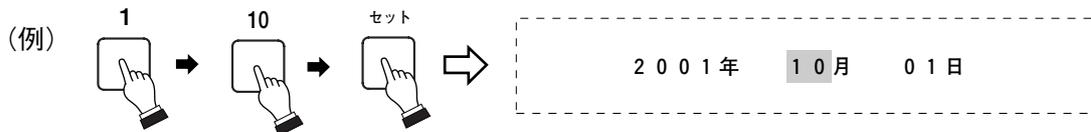


2 シフトキー (▶) を押す。

「xx月」の「xx」部分に点滅が移ります。



3 テンキーで月を入力し、セットキーを押す。



4 シフトキー (▶) を押す。

「xx日」の「xx」部分に点滅が移ります。



5 テンキーで日を入力し、セットキーを押す。

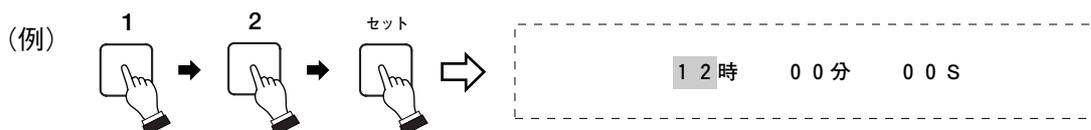


6 シフトキー (▶) を押す。

「xx時」の「xx」部分に点滅が移ります。



7 テンキーで時を入力し、セットキーを押す。



8 シフトキー (▶) を押す。
「xx分」の「xx」部分に点滅が移ります。



9 テンキーで分を入力し、セットキーを押す。



10 シフトキー (▶) を押す。
「xxS」(秒)の「xx」部分に点滅が移ります。



11 テンキーでSを入力し、セットキーを押す。



12 シフトキー (▶) を押す。
「スタート」に点滅が移ります。



13 セットキーを押す。
時刻のカウントが開始されます。

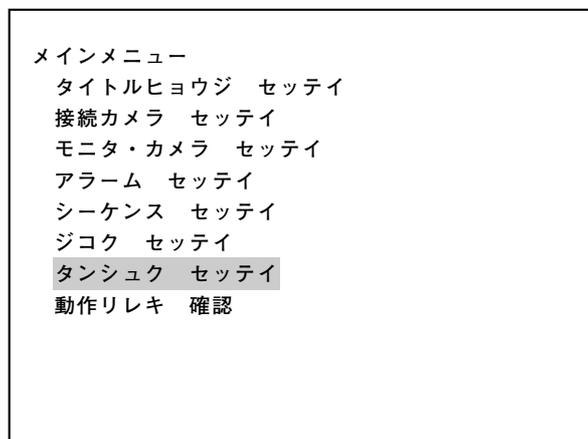
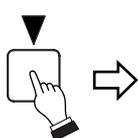


14 メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを押す。
設定を終了する (メニュー画面を終了させる) ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

短縮の設定をする

短縮番号によりツアーシーケンスまたはカメラ映像を割り当てることができます。(工場出荷時は何も設定されていません。)

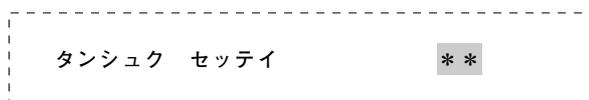
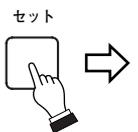
1 メインメニュー画面で、シフトキー (▲または▼) を押して、「タンシュク セッテイ」を点滅させる。



メインメニュー画面

2 セットキーを押す。

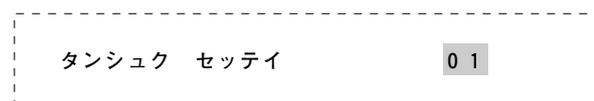
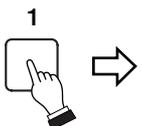
「タンシュク セッテイ」の項目の右に「**」が表示され、点滅します。



3 テンキーで短縮番号 (1～16) を入力する。

入力した数字が「**」の位置に右から順にシフトして表示されます。

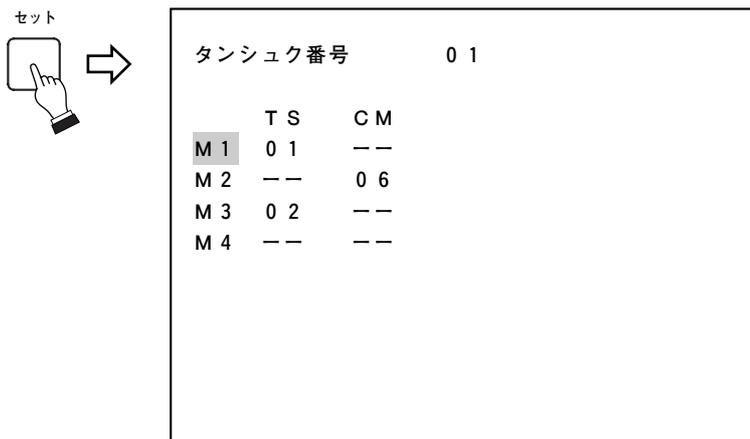
(例)



ご注意

1～16以外の数字を入力すると、無効となります。

- 4** セットキーを押す。
選択した番号の短縮設定画面が表示されます。

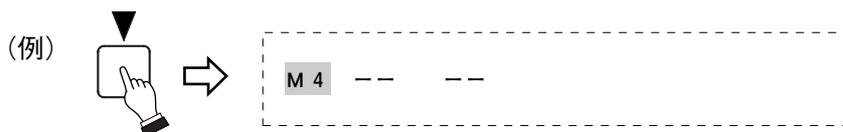


短縮設定画面

メモ

- 「Mx」はモニタ番号、「TS」はツアーシーケンス番号、「CM」はカメラ番号を表します。
- 工場出荷時は、「M1」が点滅しています。
- 工場出荷時はすべて「--」となっており、何も設定されていません。

- 5** シフトキー（▲または▼）を押して、設定したいモニタ番号を点滅させる。



- 6** セットキーを押す。
「TS」の設定内容が点滅します。

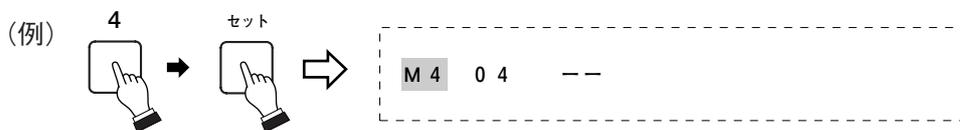


7 ツアーシーケンス番号を設定する。

7-1 ツアーシーケンスに設定する場合は、テンキーでツアーシーケンス番号を入力し、セットキーを押す。

「TS」の「ー」の位置に入力した数字が右から順にシフトして表示されるとともに、「CM」の項目は自動的に「ー」となり、モニタ番号の位置に点滅が移ります。

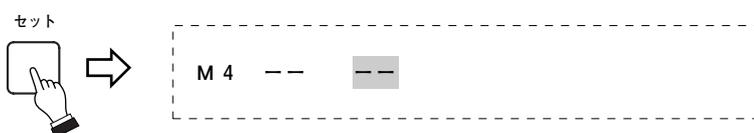
設定を続けるときは、手順4以降を繰り返してください。



7-2 カメラを選択する場合は、「TS」の項目が「ー」のままで、セットキーを押す。すでにツアーシーケンス番号が割り当てられているときは、テンキーで「10」(0)を入力した後、セットキーを押す。

「TS」の項目が「ー」に確定し、「CM」の設定内容に点滅が移ります。

手順8に進んでください。



8 カメラ番号をテンキーで入力した後、セットキーを押す。

モニタ番号の位置に点滅が移ります。

設定を続けるときは、手順4以降を繰り返してください。



ご注意

入力できるカメラ番号は1～16までです。それ以外は無効となります。

9 前画面（または1つ前の状態）に戻るときは、クリアキーを押す。

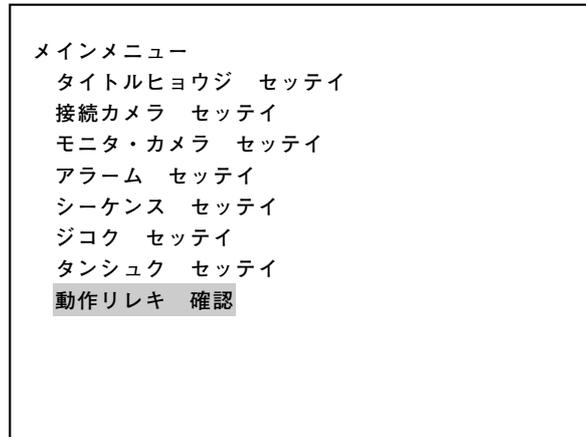
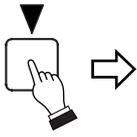
メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを何度か押す。

設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

動作履歴を確認する

アラーム履歴、ビデオロスト、通信エラーなどの動作履歴を表示させることができます。

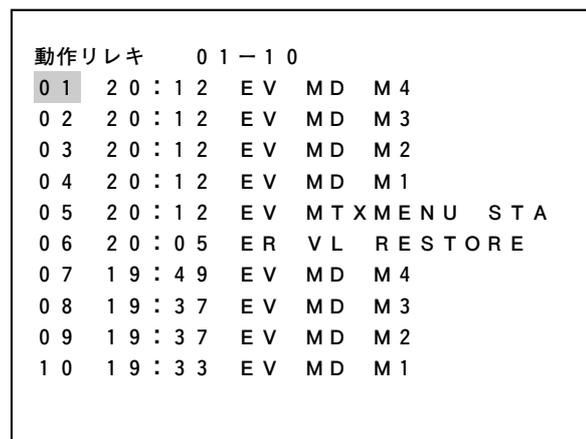
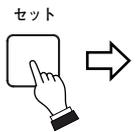
1 メインメニュー画面で、シフトキー（▲または▼）を押して、「動作リレキ 確認」を点滅させる。



メインメニュー画面

2 セットキーを押す。

動作履歴確認画面が表示されます。

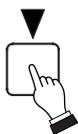


動作履歴確認画面

メモ

- 画面左端の数字が動作履歴番号です。
- 工場出荷時は「01」が点滅しています。
- 動作履歴番号が小さいほど、新しい情報です。
- 「EV」はイベント、「VL」はビデオロスト、「ER」は通信エラーを表します。
- 動作履歴は、停電時には1週間、バックアップされます。

3 シフトキー（▲または▼）を押す。 動作履歴番号の点滅が移動します。



メモ

- 動作履歴番号「10」が点滅している状態でシフトキー（▼）を押すと、次画面に動作履歴の情報があれば、動作履歴番号11～20の画面が表示されます。以下同様に99まで表示させることができます。
- 動作履歴番号「11」が点滅している状態でシフトキー（▲）を押すと、前画面が表示されます。動作履歴番号21～99の各画面でも同様の操作で前画面を表示させることができます。

4 メインメニュー画面に戻るときは、クリアキーを押す。

設定を終了する（メニュー画面を終了させる）ときは、メインメニュー画面でクリアキーを押す。

故障かな？と思ったら

症状	チェック内容
電源表示灯が点灯しない。	<ol style="list-style-type: none"> ① 電源コードが本機とコンセントに正しく接続されているかどうか確認してください。 ② 前面の電源スイッチがONになっていることを確認してください。
ある特定のカメラの映像を選択したとき、モニタに表示される文字が大きく揺れている。	カメラとの距離が長くなると映像信号のレベルが落ちて文字が大きく乱れたり、揺れたりすることがあります。ケーブル補償器を接続して距離補正を行ってください。ケーブル補償器なしで使用するとき、本機とカメラ間の最大延長距離は500 mです。
モニタに表示される文字にカラーノイズが見える。	カメラとの距離が長くなると、ケーブル補正をしてもカラーノイズが見えることがありますが、異常ではありません。
カメラ選択ができない。	<ol style="list-style-type: none"> ① メニュー画面のモニタ・カメラ設定を確認してください。映像禁止に設定したカメラは選択できません。（☞ P. 55） ② メニュー画面の接続カメラ設定を確認してください。「カメラナシ」に設定したカメラは選択できません。（☞ P. 54）
アラーム解除キーを押しても、前面のアラーム解除キーが点滅したままで、アラームが解除されない。	アラームのタイプがレベルに設定されているときはアラーム解除キーを押してもアラームは解除されません。入力側で解除してください。（☞ P.17）
モニタ画面の文字が重なって表示される。	メニュー画面を立ち上げ、設定中の状態になると、設定を行っていないモニタには「セッテイ中」の文字が表示され、それがカメラメニュー画面と重なることがあります。

症状	チェック内容
ツアーシーケンスを起動しているのに、設定したはずのカメラ番号の映像を表示しないことがある。	メニュー画面のモニタ・カメラ制限による設定で制限がかかっているカメラを選択したときはその映像を飛ばして表示します。(P. 23)
アラーム動作しない。	<p>① メニュー画面のアラーム動作設定の内容を確認してください。アラーム動作が設定されていないときは動作しません。(P. 57)</p> <p>② 別売の機能拡張ソフトでアラームスケジュールを設定している場合、現在の時刻に対応するアラームパターンがいずれのパターンに設定されているか確認してください。設定されたパターンでアラーム動作が設定されていないときは動作しません。(機能拡張ソフトC-WN168の「リファレンスマニュアル」)</p>
アラーム解除キーが点滅している。	アラームが起動している状態です。アラームがエッジに設定されている場合、アラーム時間経過後、アラームは自動で解除されます。アラーム時間がOFFに設定されているときは、アラームは自動では解除されません。
アラーム解除キーが点滅しているが、モニタの映像がアラーム状態になっていない。	モニタがアラーム保留に設定されていると、アラーム解除キーが点滅しますが、モニタの表示はアラームの状態には切り替わりません。アラーム保留キーを押して、アラーム保留状態を解除するとモニタの映像はアラーム状態になります。
モニタ画面に「セッテイ中」と表示され操作ができない。	メニュー画面を立ち上げています。その設定が終了し、メニュー画面が終了するまで、しばらくお待ちください。
アラーム動作中にマニュアル操作をしたが、元のアラームの状態に戻したい。	アラーム中にマニュアル操作をすると自動的にアラーム保留状態になるので、アラーム保留キーを押して、元のアラームの状態に戻してください。
複数アラームの設定をアラームシーケンスにしたが、複数のアラームが入ってもアラームシーケンス動作をしない。	アラーム入力のアラームモードの設定を確認してください。通常アラームが起動中に非常アラームが入ると通常アラームはすべて終了して、非常アラームが最優先で動作します。(P. 59)

※ 以下の項目は、機能拡張ソフト C-WN168 を使用されているときにのみ該当します。

症状	チェック内容
パソコンにインストールディスクを入れてもセットアップ画面が現れない。	お持ちのパソコンの CD-ROM ドライブがオートラン機能に対応していないようです。タスクバーの [スタート] ボタン - [ファイル名を指定して実行] で以下のコマンドを入力してください。 < CD の入っているドライブ > ¥Autorun.exe 《例》 e ドライブに CD を挿入している場合 e:¥Autorun.exe
パソコンが本機と通信できない。	① 後面の RS-232C コネクタとパソコンのシリアルポートが接続されていますか？ ② お使いの RS-232C ケーブルはクロス（リバース）ケーブルですか？ ③ [通信] - [ポートの選択] で選択したポートと実際に接続している COM ポート番号は合っていますか？ ④ パソコンのシリアルポートは使用できる状態ですか？（パソコンのマニュアルを参照）（BIOS やドライバの問題）
パソコンが本機と通信中、「通信に失敗しました」というメッセージが出る。	本機の設定データが書き込み中になると通信はできなくなるのでメッセージが出ます。メッセージが出たときは、[通信] - [通信ダイアログ] で開くモニタウィンドウの [Com リセット] ボタンを押し、再度送信し直してください。
タイトルを設定したのに、モニタ画面に表示されたときに文字が切れている。	本機で記憶できるタイトル文字数は最大 8 文字です。8 文字を超えた部分は自動的に切り詰められます。
タイトルを設定したのに、モニタ画面に表示されたときに途中の文字が抜けている。	本機で登録されていない漢字は送信時にスペースに変換されます。登録されている漢字を使用してください。
パソコンでの設定時、アプリケーションがマウスを受け付けなくなった。	メッセージボックスがモニタウィンドウなどで隠れていることがあります。[Enter] キーを押してみてください。
パソコン画面に、機能にない設定項目がある。	[機器タイプ] メニューで現在の設定が [C-MX168] になっていませんか？
パソコンでの設定時、スケジュールやツアークエース設定でオーダーバーが選択できない。	[コントロールパネル] - [マウス] のポインタの速度が速いと選択できないことがあります。
パソコン画面の [ヘルプ] - [リファレンスマニュアル] でヘルプファイルが表示されない。	Acrobat Reader はインストールされていますか？まだインストールされていないときは、インストールしてください。

仕 様

電 源	AC100 V、50/60 Hz
消 費 電 力	10 W
映 像 入 力	カメラ入力：16系統、VBS1.0 V(p-p)、75 Ω、BNC接栓、2：1インタレース
映 像 出 力	モニタ出力：4系統、VBS1.0 V(p-p)、75 Ω、BNC接栓 カメラ出力：16系統、VBS1.0 V(p-p)、75 Ω、BNC接栓、ループスルー出力
ア ラ ー ム 入 力	32系統、メイク接点入力、開放電圧：DC5 V、短絡電流：5 mA、 ループ抵抗：100 Ω以下、D-subコネクタ（25P、メス）
ア ラ ー ム 出 力	NPNオープンコレクタ出力、耐電圧：DC30 V、最大電流：20 mA以下、 D-subコネクタ（25P、メス） 各モニタに対応した出力：4出力 アラーム入力に対応したフルマトリクス出力：8出力
ア ラ ー ム 機 能	アラーム入力設定：リモート/非常アラーム/通常アラーム、エッジ/レベル、 アラームタイトル（各入力ごとに設定） アラーム時間の設定：10～300秒（10秒刻み）、OFF 複数アラームの優先設定：後優先/シーケンス、シーケンス切り替え時間 アラームモニタ振り替え機能* アラーム運用スケジュール*：3パターン（曜日、時刻によりアラームパターンの自動切り替え可能） アラーム保留機能
時 刻 補 正 端 子	メイク接点入力、開放電圧：DC5 V、短絡電流：5 mA、 ループ抵抗：100 Ω以下、0秒アジャスト（31秒以上は分切り上げ）
内 蔵 時 計	精度：±80秒/月（25℃時） バックアップ電池寿命：15年（連続非通電）
RS-232C 外部制御端子 表 示	1系統、D-subコネクタ（9P、オス） アラーム入力状態、アラーム保留状態、選択、ツアー、カメラ、短縮、テスト、 モニタの各LED表示
画 面 表 示 文 字	最大8文字（英数字、記号、カタカナ、ひらがな、漢字265種類） カメラタイトル：16種類（各カメラ入力に応じた表示） アラームタイトル：32種類（各アラーム入力に対応）
映 像 切 り 替 え	シーケンス（ツアーシーケンス最大32設定、テストシーケンス）、 スケジュール機能（曜日、時間による映像パターンの自動切り替え機能）*1、 シーケンスへの自動復帰機能、 一斉切り替え機能（短縮番号入力により、すべてのモニタの映像を一斉に設定された状態に切り替える）
制 限 機 能	各モニタに表示するカメラの制限
動 作 履 歴	アラーム入力情報、イベント情報、エラー情報、ほか（最大100） （C-WN168を使用すれば最大1000）
使 用 温 度 範 囲	0～+50℃
使 用 湿 度 範 囲	90%以下（ただし結露のないこと）
仕 上 げ	パネル：アルミ押し出し、黒（マンセルN1.0近似色）、3分艶 ケース：プレコート鋼板、黒（マンセルN1.0近似色）、3分艶
寸 法	420（幅）×96.6（高さ）×334.1（奥行）mm
質 量	4.2 kg

* 機能拡張ソフトC-WN168（別売）により使用できる機能です。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

電源コード（2 m） 1
D-subコネクタ（25P、オス） 3

